

令和7年度

教育委員会の事務に関する点検・評価報告書

(令和6年度実績)

令和7年10月

千歳市教育委員会



## 目次

I	千歳市教育振興基本計画の評価	1
II	教育委員会の事務に関する点検・評価の実施概要	1
1	点検・評価の趣旨	1
2	点検・評価の対象	1
3	点検・評価の方法	1
	評価の例（施策項目2 確かな学力の育成）	2
4	学識経験者の知見の活用	4
III	施策項目別点検・評価	5
	・目標指標の状況	5
	基本目標1 社会で生きる力を育む教育の推進	39
	施策項目1 認め合い、高め合う学年・学級経営の充実	39
	施策項目2 確かな学力の育成	40
	施策項目3 特別支援教育の充実	41
	施策項目4 外国語教育・国際理解教育の充実	42
	施策項目5 情報教育の充実	43
	施策項目6 キャリア教育・体験的な活動の充実	44
	施策項目7 防災・安全教育の充実	45
	基本目標2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進	46
	施策項目8 道徳教育の充実	46
	施策項目9 いじめ・不登校に対する取組の充実	47
	施策項目10 ふるさと教育の充実	48
	施策項目11 読書活動の推進	49
	施策項目12 体力・運動能力の向上	50
	施策項目13 食育の推進	51
	施策項目14 健康教育の推進	52
	基本目標3 学びを支え、つなぐ教育環境の充実	53
	施策項目15 学校運営の充実	53
	施策項目16 学校施設・設備の充実	54
	施策項目17 学びのセーフティネットの構築	55
	施策項目18 教員の研修の推進	56
	施策項目19 家庭教育支援の充実	57
	施策項目20 学校と地域の連携・協働の充実	58
	施策項目21 学校段階等間の連携・交流の充実	59
	基本目標4 市民が活躍する生涯学習によるまちづくりの推進	60
	施策項目22 多様な主体の連携による学び合いと交流の場の充実	60
	施策項目23 学習情報と市民活動交流センター機能の充実	61
	施策項目24 学びやまちづくり活動を支える人材の育成や活用の推進	62
	施策項目25 地域と学校の連携による地域の教育力を高める活動の充実	63
	施策項目26 学んだ成果を地域で生かす活動の充実	64
	基本目標5 各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実	65
	施策項目27 乳幼児期からの家庭教育を支える学びの充実	65
	施策項目28 青少年の自立と成長を育む学びの充実	66
	施策項目29 青少年非行防止への取組の推進	67
	施策項目30 成人期や高齢期を誰もが豊かに過ごす学びの充実	68
	施策項目31 ふるさと千歳の理解と地域課題に対応した学びの充実	69
	施策項目32 社会教育施設機能と読書環境の充実	70
	基本目標6 まちの魅力を高め、心を豊かにする文化芸術の振興と文化財の保護・継承	71
	施策項目33 文化芸術に親しむ環境の整備	71
	施策項目34 地域に根差した文化芸術活動への支援充実	72
	施策項目35 文化財の保存と調査・研究及び継承の支援	73
	施策項目36 文化財の活用の推進	74
	施策項目37 世界文化遺産登録と資産保護の取組	75
	基本目標7 誰もがスポーツに親しめる生涯スポーツの推進	76
	施策項目38 スポーツ活動の啓発と参加促進	76
	施策項目39 スポーツに親しめる機会の充実	77
	施策項目40 スポーツ活動を支える指導者の充実と団体の育成	78
	施策項目41 スポーツ施設の機能充実と利便性向上	79
資料		80
1	教育委員会会議の開催概要	80
2	教育行政執行方針	82



## I 千歳市教育振興基本計画の評価

千歳市教育振興基本計画（令和3～12年度）は、教育行政の基本的な方向性や具体的な施策を示す、これからの千歳市の教育が目指す姿を示したものです。

本計画に示した各施策の実施状況等を把握し、評価を行うことにより、計画の実行性を高めることを目的として、前年度に実施した「主な取組」や「目標指標」の点検・評価を実施するものです。

## II 教育委員会の事務に関する点検・評価の実施概要

### 1 点検・評価の趣旨

この点検・評価は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（平成19年6月改正、平成20年4月1日施行）第26条の規定に基づき、千歳市教育委員会が取り扱う事務について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、あわせて市民に公表するものです。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し、学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 2 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、「千歳市教育振興基本計画（令和3～12年度）」の全41施策項目を対象として、点検・評価を行いました。

### 3 点検・評価の方法

点検・評価については、施策項目ごとに定めた「主な取組」の実施状況、「目標指標」の達成状況について、点検・評価を行い、それを基に、各施策の総括と今後の方針・課題などについて、記述式で整理を行いました。

〔評価の例〕

基本目標 1 社会で生きる力を育む教育の推進				
施策項目 2 確かな学力の育成		担当課	企画総務課・学校教育課・学校指導課	
1 施策の概要				
全国学力・学習状況調査、標準学力検査等の結果分析をもとに、千歳市学力向上検討委員会で授業改善案の検討を進め、学ぶ意欲を高め、個に応じたきめ細かな学習指導と学習習慣の確立に努めます。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
授業改善の推進	千歳市学力向上検討委員会の提言に基づく取組を充実し、学力向上のための授業改善を積極的に進めます。	/	A:24校 B:3校 C:0校 D:0校	
個に応じたきめ細かな学習指導	子ども一人ひとりの学習状況に応じたきめ細かな指導を目指し、千歳市独自の学習支援員を配置して、習熟度別少人数指導など、丁寧な学習指導により学力の向上を図ります。		A:26校 B:1校 C:0校 D:0校	
公立千歳科学技術大学との連携による学習サポートやeラーニングの活用	公立千歳科学技術大学の学生による長期休業中の学習サポートの実施やeラーニングを活用した取組の推進を図ります。	B	A:9校 B:14校 C:1校 D:1校	
ICT機器の整備・活用	子どもたちの興味関心を高めるとともに、効果的な学習指導を進めて学力向上を図るために、ICT機器を整備し、その活用を促進します。	A	A:27校 B:0校 C:0校 D:0校	
3 目標指標	現状値(R1)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R7年度調査結果 (R6年度実績)	R12目標値
「授業（国語、算数・数学）の内容はよくわかる、どちらかといえばわかる」と回答した児童生徒の割合	小6 82.0% 中3 76.4%	85.0%(B) 76.2%(B)	85.7%(B) 78.3%(B)	小6 90%以上 中3 90%以上
全国学力・学習状況調査の全国平均と比較した正答率の割合	小 国語：同様 小 算数：やや低い 中 国語：低い 中 数学：低い	97.6%(B) 93.4%(B) 96.4%(B) 89.0%(B)	99.6%(B) 97.5%(B) 94.5%(B) 95.4%(B)	小 全国比同様 以上 中 全国比同様 以上
「平日、1日当たりの家庭学習時間が1時間以上」と回答した児童生徒の割合	小6 62.8% 中3 65.8%	62.5%(C) 53.0%(C)	61.9%(C) 54.1%(C)	小6 90%以上 中3 100%
4 総括				
令和6年度の実績及び今後の方針・課題（目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）				
<p>授業の改善推進及びその効果については、学力向上検討委員会を中心にモデル校での授業改善の実践検証を行い、検証の成果を「学校・家庭・教育委員会への提言」として発信して市全体での学力向上策の推進に努めた。また、教職員の資質・能力向上を図るため、ICT機器の効果的な活用（517名参加）や、国語科における読解力・記述力の向上（116名参加）をテーマとした研修会を開催した。これらの取組により、小学校では全国平均比で高い正答率が見られるなど一定の成果が確認された一方、中学校を含む全体への波及にばらつきがあり、教職員間の意識差や家庭学習の定着などに課題があるため、今後は、個別支援と家庭学習の促進を両輪とした学習環境づくりを進めるとともに、「探求型・対話型」授業と「習得型・反復型」授業を効果的に使い分ける授業改革を通じて、読解力及び記述力の向上を図る。</p> <p>個に応じたきめ細かな学習指導については、学習支援員を配置した習熟度別少人数指導により、児童生徒の学ぶ意欲を高める指導の充実を図ったほか、公立千歳科学技術大学と連携した学生による長期休業中の学習サポートやeラーニングを活用した取組などを実施した。今後も、基礎・基本の定着を図る「習得型・反復型」の授業として、学習支援員等による算数・数学科の習熟度別少人数指導を一層促進するほか、家庭学習等におけるeラーニングの活用を推進する。</p> <p>ICT機器の整備については、中学校におけるデジタル教科書及び耐用年数を超過している電子黒板の更新等を実施した。引き続き学習用コンピュータの更新など効果的な学習指導を進められる環境整備に取り組む。</p>				
5 外部評価会議委員の意見				
<p>公立千歳科学技術大学との連携を長く続けられており、千歳市の特色ある取組なので、今後も継続していただきたい。</p> <p>また、教育委員会で実施している研修について、千歳市は新卒や他管から転入される教職員の割合が多いので、非常に有効であり、必要な取組であると感じている。</p>				

【各施策項目の具体的な評価方法】

(1) 主な取組の評価結果

ア 各学校が実施した取組

学校が実施した取組の評価については、「主な取組の評価基準（※1）」により各学校が評価した結果ごとに校数内訳を示しています。

イ 市が実施した取組

市が実施した取組の評価については、「主な取組の評価基準（※1）」により各担当課で評価した結果です。

※1 主な取組の評価基準

評価	評価内容
A	着実に取り組んでいる (充実した取組を行った結果、一定の成果が出た)
B	取り組んでいる (取組を行っているが、まだ十分な成果は出ていない)
C	あまり取り組んでいない (取組を行えなかったため、成果が出ていない)
D	取り組んでいない (全く取組を行うことができなかった)

(2) 目標指標の達成状況

目標指標の結果については、現状値となる令和元年度の実績値、目標値となる計画最終年度の令和12年度の目標値と、直近2年間の達成状況を記載しています。

なお、目標指標の達成状況は、次の判定表に基づき、A～Dの判定を行っています。

表：目標指標達成状況判定表

0%～50%未満	50%以上～80%未満	80%以上～100%未満	100%以上
D	C	B	A

目標指標の達成状況の計算例

- ・表3の『「授業（国語、算数・数学）の内容はよくわかる、どちらかといえばわかる」と回答した割合【全国学力】』の目標指標の達成状況の評価の場合

<小6の実績値＝85.7、目標値：90>

$85.7 \div 90 \times 100 = 95.222$  小6の達成状況を「95.2」とします（少数第二位を四捨五入）。達成状況（割合）は、95.2%となり、「B」評価になります。

- ・表3の『「平日1日当たりの家庭学習時間が1時間以上」と解答した児童生徒の割合【全国学力】』の目標指標の達成状況の評価の場合

<小6の実績値=61.9、目標値：90>

$61.9 \div 90 \times 100 = 68.777$  小6の達成状況を「68.8」とします（少数第二位を四捨五入）。達成状況（割合）は、68.8%となり、「C」評価になります。

表3：施策項目2の場合の目標指標の達成状況の割合と達成状況の評価結果（例）

目標指標	実績値	計算式	評価
「授業（国語、算数・数学）の内容はよくわかる、どちらかといえばわかる」と回答した割合【全国学力】	小6：85.7 (90%以上)	$85.7 \div 90 \times 100 = 95.2$	B
	中3：78.3 (90%以上)	$78.3 \div 90 \times 100 = 87.0$	B
全国学力・学習状況調査の全国平均と比較した正答率の割合【全国学力】（※全国平均を100とした場合の千歳市の割合）	小(国語)：99.6 (100)	$99.6 \div 100 \times 100 = 99.6$	B
	小(算数)：97.5 (100)	$97.5 \div 100 \times 100 = 97.5$	B
	中(国語)：94.5 (100)	$94.5 \div 100 \times 100 = 94.5$	B
	中(数学)：95.4 (100)	$95.4 \div 100 \times 100 = 95.4$	B
「平日1日当たりの家庭学習時間が1時間以上」と回答した児童生徒の割合【全国学力】	小6：61.9 (90%以上)	$61.9 \div 90 \times 100 = 68.8$	C
	中3：54.1 (100%以上)	$54.1 \div 100 \times 100 = 54.1$	C

※実績値欄の上段：実績値、下段：目標値

### (3) 総括

#### ア 令和6年度の実績

令和6年度の実績内容を具体的に記載しています。

#### イ 施策の今後の方針・課題

各評価結果及び達成度を基に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載しています。

## 4 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するとともに、今後の取組に向けた活用を図るため、令和7年9月に外部評価会議を開催し、教育に関し学識経験を有する2名の委員から、各施策への意見や助言をいただきます。

#### 意見提出者

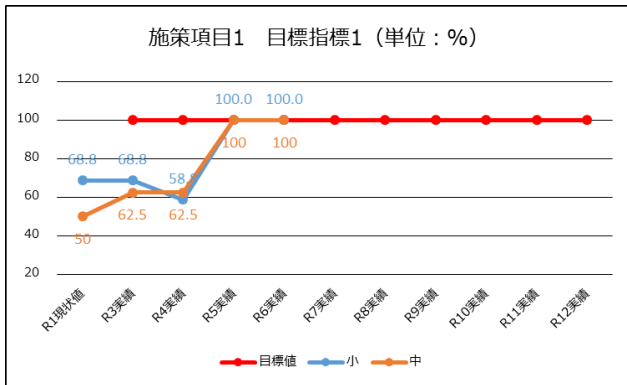
外部評価会議委員（学校教育分野） 渡辺 弘行（元 みどり台小学校長）  
 （社会教育分野） 高田 知哉（公立千歳科学技術大学教授）

### Ⅲ 施策項目別点検・評価

#### ・目標指標の状況

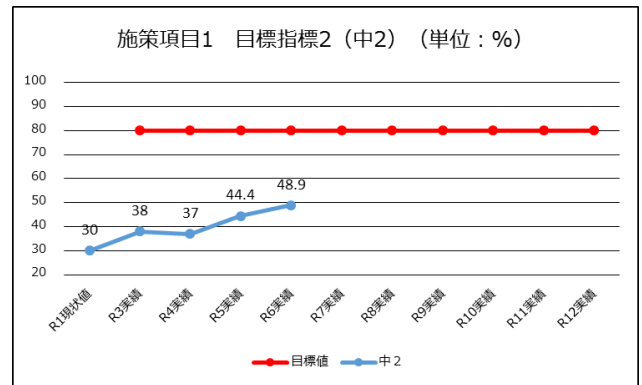
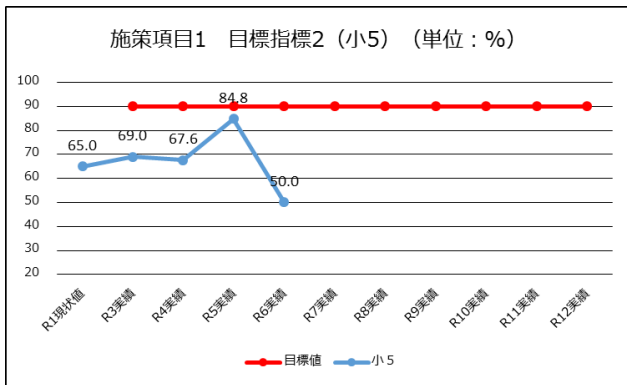
施策項目1 認め合い、高め合う学年・学級経営の充実

目標指標1 学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法などを合意形成できるような指導を行っている学校の割合【全国学力】



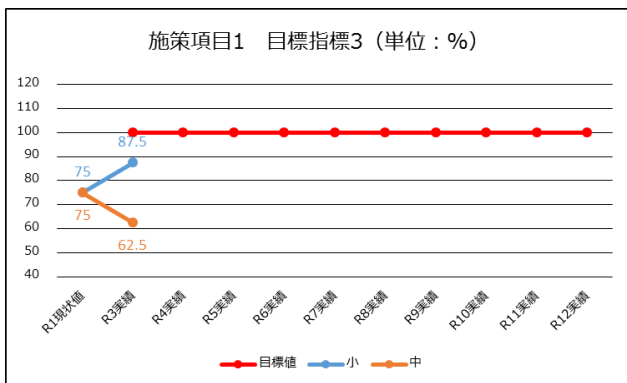
施策項目1 認め合い、高め合う学年・学級経営の充実

目標指標2 ハイパーQU検査において、「親和的な学級集団」の割合



施策項目1 認め合い、高め合う学年・学級経営の充実

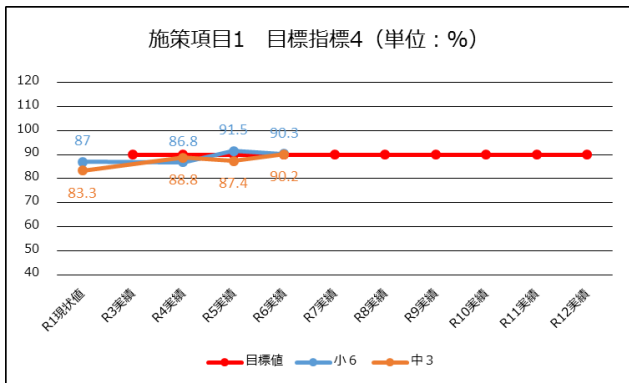
目標指標3 学習規律の維持を徹底している学校の割合【全国学力】



※令和4～6年度の全国学力・学習状況調査では、この調査項目がなかったため、指標値が存在しない。

施策項目1 認め合い、高め合う学年・学級経営の充実

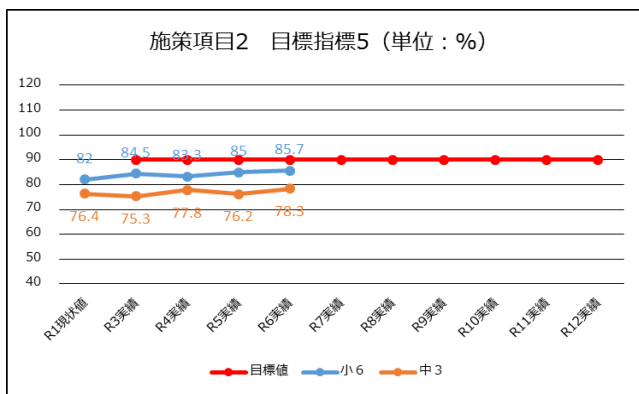
目標指標4 「先生は、あなたのよいところを認めてくれると思う、どちらかといえば思う」と回答した児童生徒の割合【全国学力】



※令和3年度の全国学力・学習状況調査では、この調査項目がなかったため、指標値が存在しない。

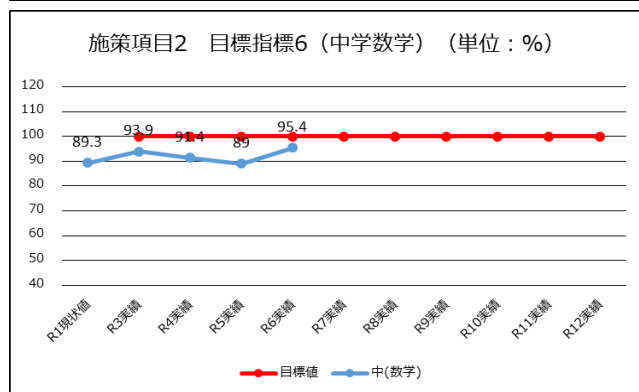
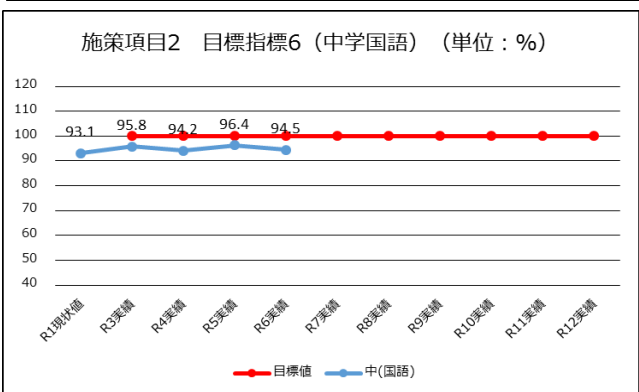
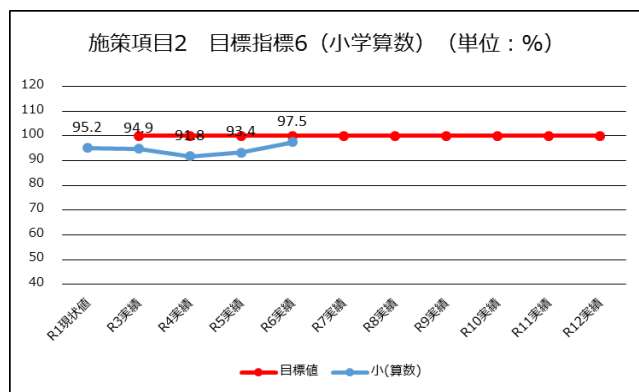
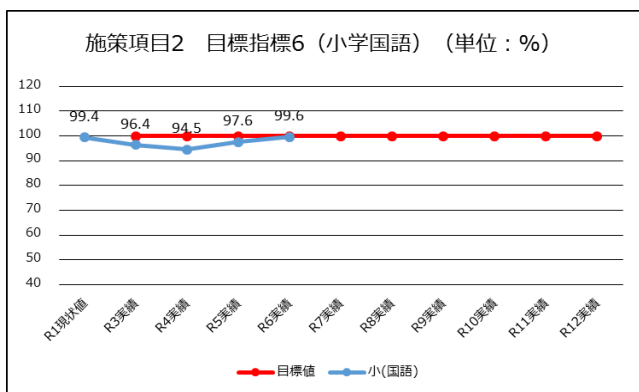
施策項目2 確かな学力の育成

目標指標5 「授業(国語、算数・数学)の内容はよくわかる、どちらかといえばわかる」と回答した児童生徒の割合【全国学力】



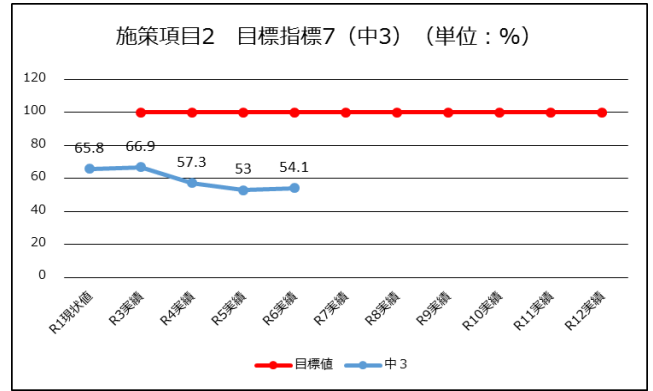
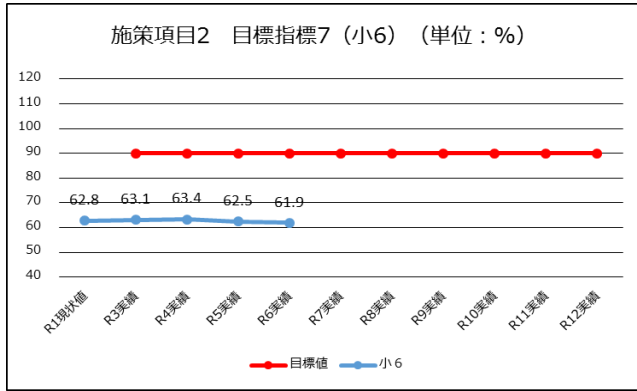
施策項目2 確かな学力の育成

目標指標6 全国学力・学習状況調査の全国平均と比較した正答率の割合【全国学力】(※全国平均を100とした場合の千歳市の割合)



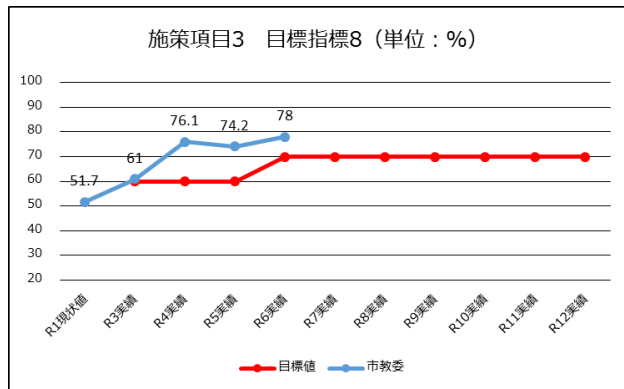
施策項目2 確かな学力の育成

目標指標7 「平日、1日当たりの家庭学習時間が1時間以上」と回答した児童生徒の割合【全国学力】



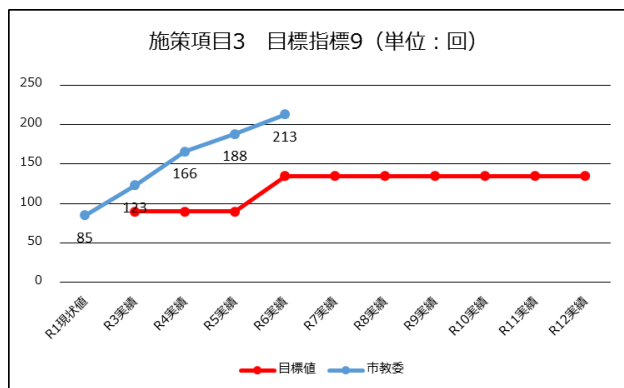
施策項目3 特別支援教育の充実

目標指標8 「個別の教育支援計画」の作成割合



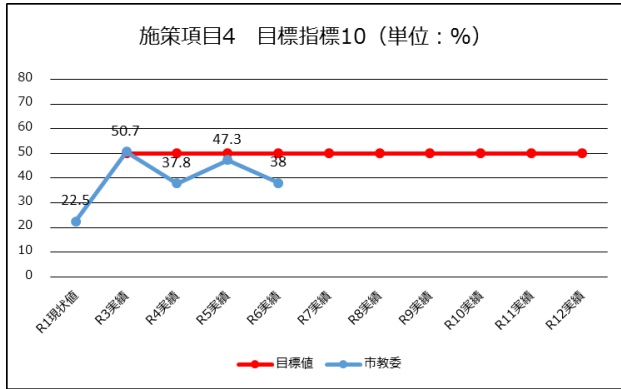
施策項目3 特別支援教育の充実

目標指標9 発達の課題に関する教育相談、就学相談の件数



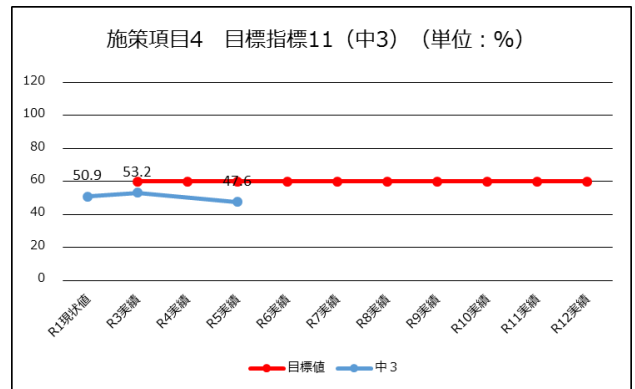
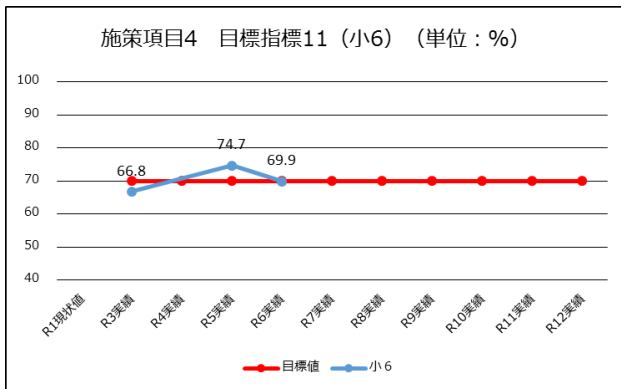
施策項目4 外国語教育・国際理解教育の充実

目標指標10 英検3級相当以上の英語能力を有する中学校3年生の割合



施策項目4 外国語教育・国際理解教育の充実

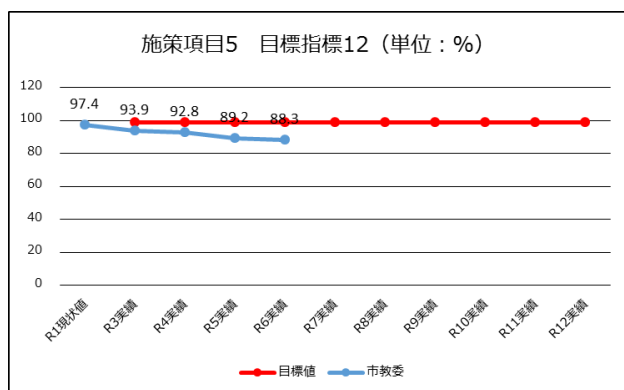
目標指標11 「英語の勉強が好きだ、どちらかといえば好きだ」と回答した児童生徒の割合【全国学力】



※令和元年度の全国学力・学習状況調査(小6)では、この調査項目がなかったため、指標値が存在しない。  
 ※令和4年度の全国学力・学習状況調査(小6・中3)では、この調査項目がなかったため、指標値が存在しない。  
 ※令和6年度の全国学力・学習状況調査(中3)では、この調査項目がなかったため、指標値が存在しない。

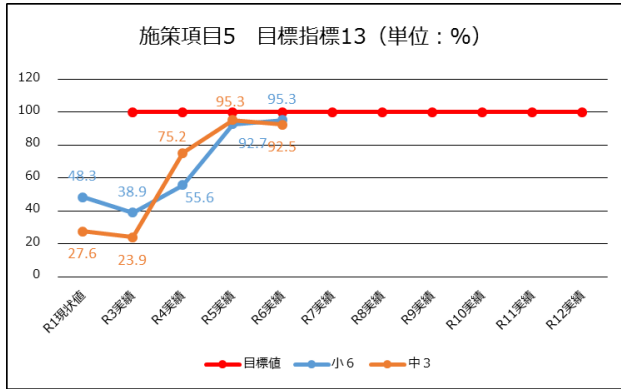
施策項目5 情報教育の充実

目標指標12 ICT機器の応用的な活用を行う教員の割合



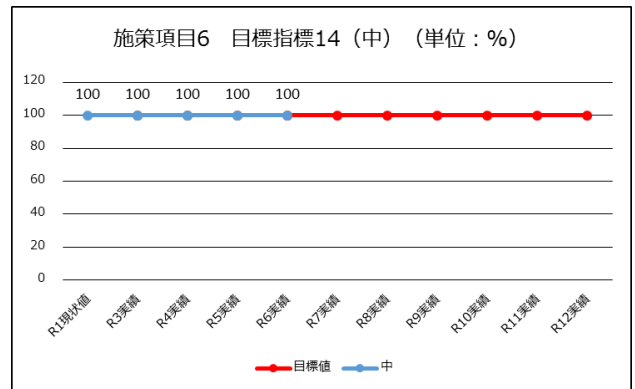
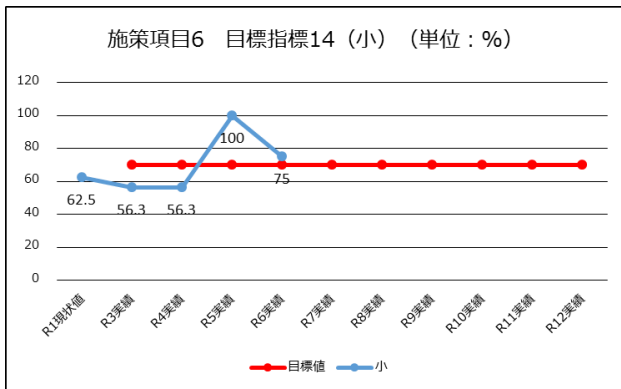
施策項目5 情報教育の充実

目標指標13 「授業で週1回以上コンピュータなどのICTを使用した」と回答した児童生徒の割合【全国学力】



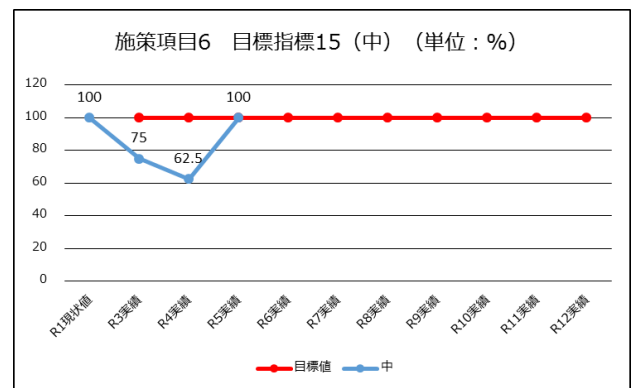
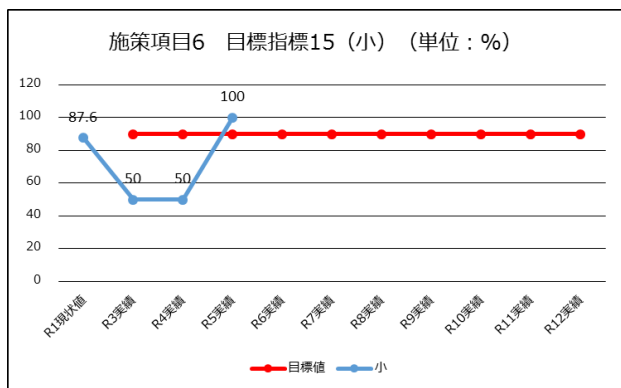
施策項目6 キャリア教育・体験的な活動の充実

目標指標14 職場見学や職場体験活動を行っている学校の割合【全国学力】



施策項目6 キャリア教育・体験的な活動の充実

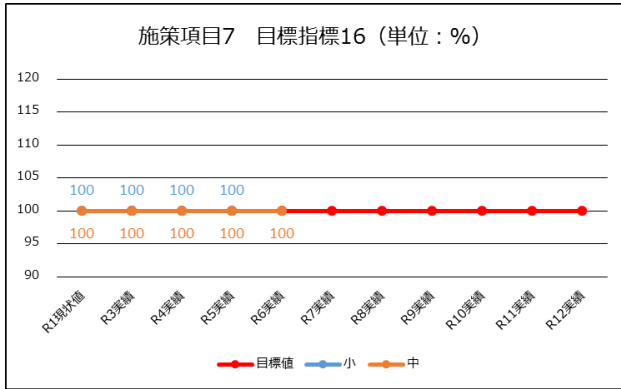
目標指標15 将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導を行っている学校の割合【全国学力】



※令和6年度の全国学力・学習状況調査(小6・中3)では、この調査項目がなかったため、指標値が存在しない。

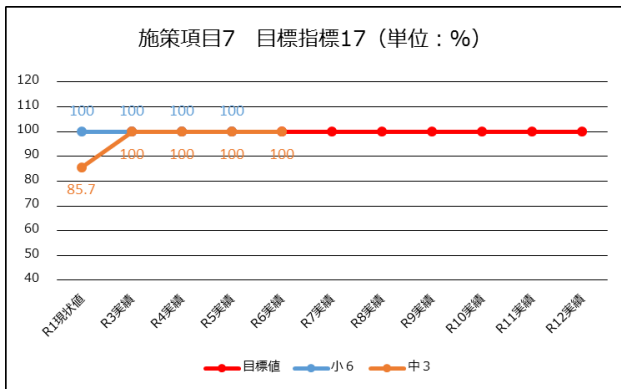
施策項目7 防災・安全教育の充実

目標指標16 学校安全に関して、教職員に対する校内研修の実施や校外研修への派遣を行った学校の割合



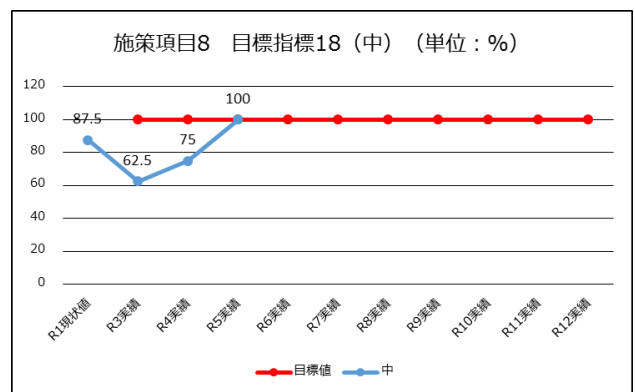
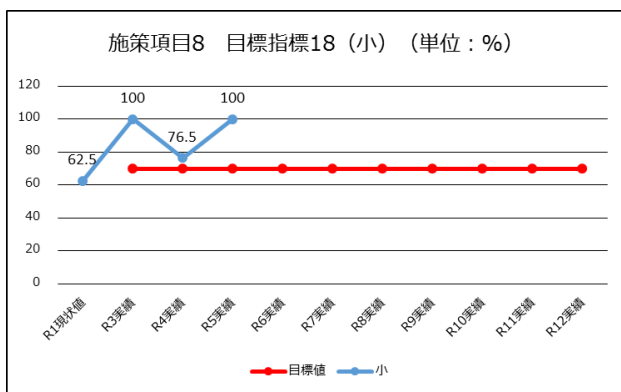
施策項目7 防災・安全教育の充実

目標指標17 通学路の安全点検を実施している学校の割合（北進小中、東小、東千歳中を除く）



施策項目8 道徳教育の充実

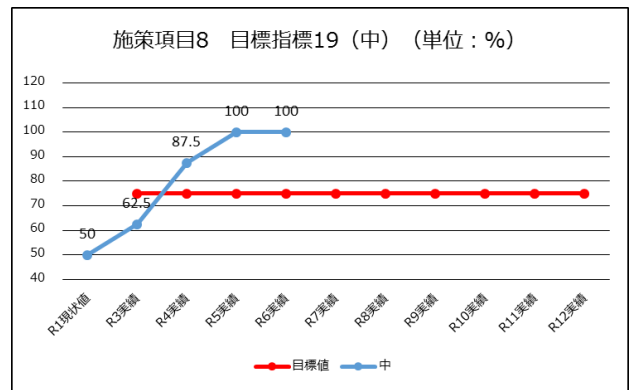
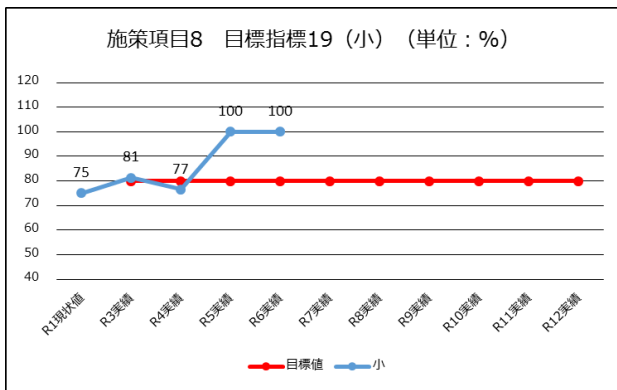
目標指標18 学校生活の中で、児童生徒一人ひとりのよい点や可能性を見つけ評価する取組をよく行った学校の割合【全国学力】



※令和6年度の全国学力・学習状況調査（小6・中3）では、この調査項目がなかったため、指標値が存在しない。

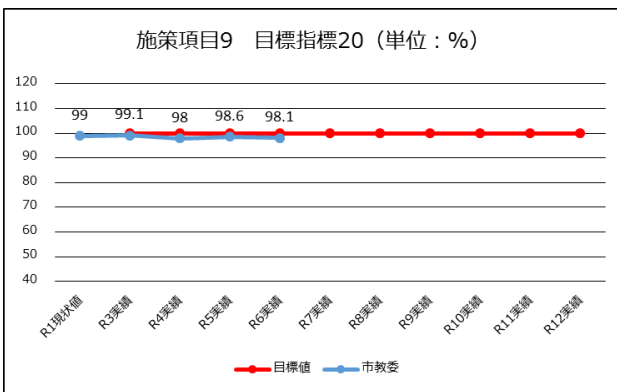
施策項目8 道徳教育の充実

目標指標19 特別の教科 道徳において、児童生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしている学校の割合【全国学力】



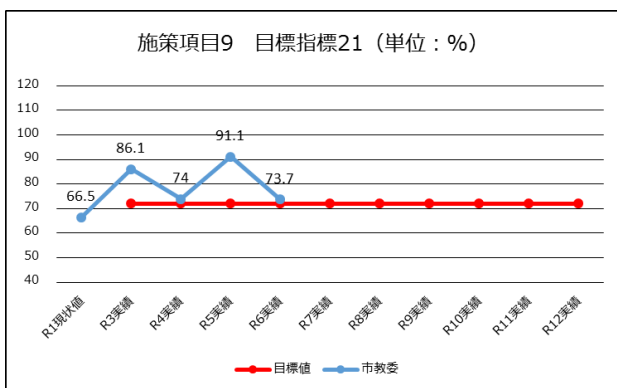
施策項目9 いじめ・不登校に対する取組の充実

目標指標20 いじめ解消率



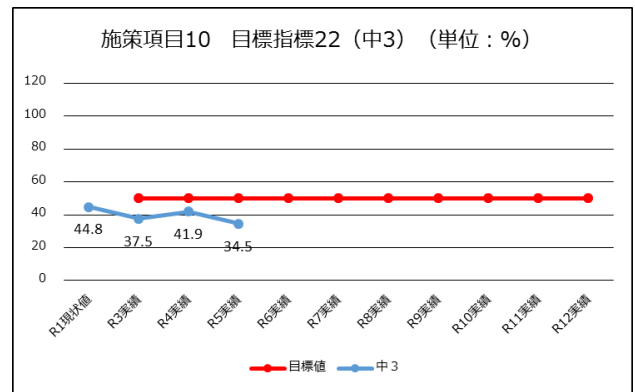
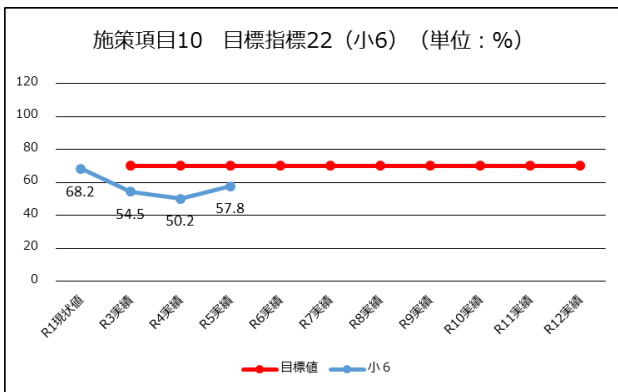
施策項目9 いじめ・不登校に対する取組の充実

目標指標21 不登校児童生徒が学校復帰（完全登校及び不定期登校）した割合



施策項目10 ふるさと教育の充実

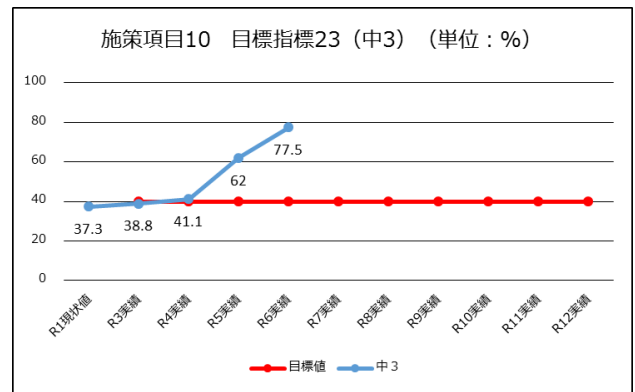
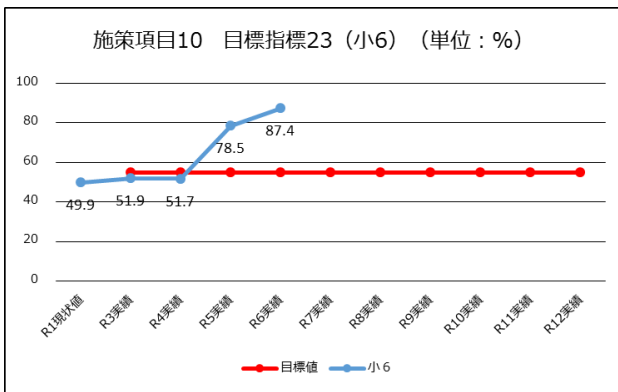
目標指標22 「今住んでいる地域の行事に参加している、どちらかといえば参加している」と回答した児童生徒の割合【全国学力】



※令和6年度の全国学力・学習状況調査(小6・中3)では、この調査項目がなかったため、指標値が存在しない。

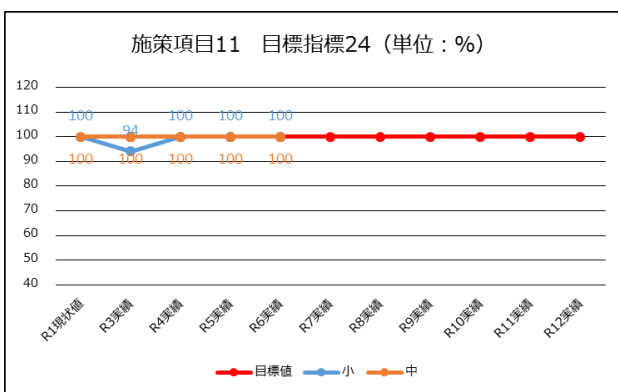
施策項目10 ふるさと教育の充実

目標指標23 「地域や社会をよくするために何をすべきか考える、どちらかといえば考える」と回答した児童生徒の割合【全国学力】



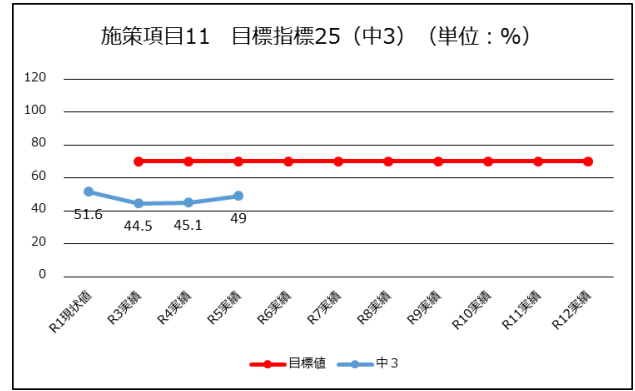
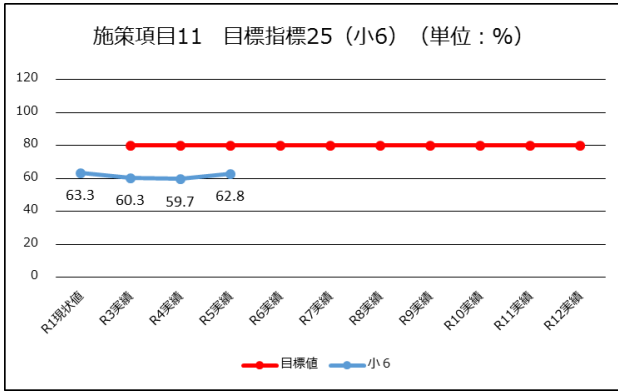
施策項目11 読書活動の推進

目標指標24 「朝読書」などの一斉読書の時間を設けている学校の割合



施策項目11 読書活動の推進

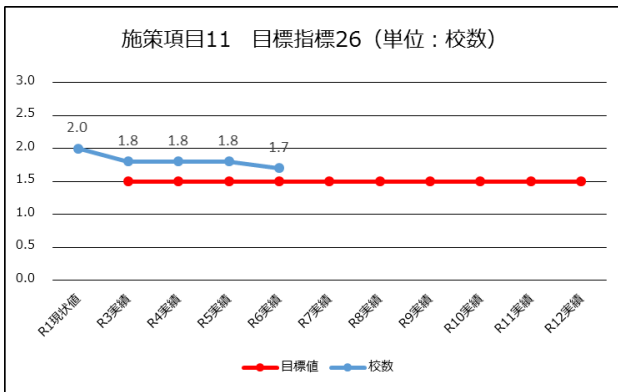
目標指標25 「家で、普段、1日当たり10分以上読書をしている」と回答した児童生徒の割合



※令和6年度の全国学力・学習状況調査(小6・中3)では、この調査項目がなかったため、指標値が存在しない。

施策項目11 読書活動の推進

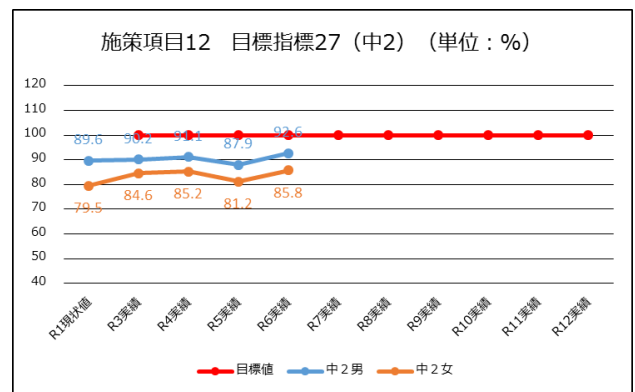
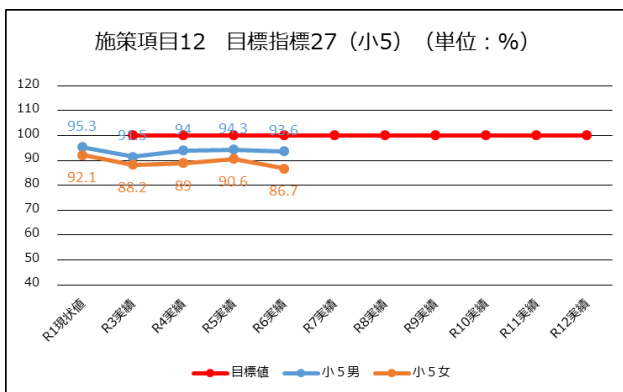
目標指標26 学校図書館司書の配置人数



※令和12年度までに、1.5校を下回ることが目標

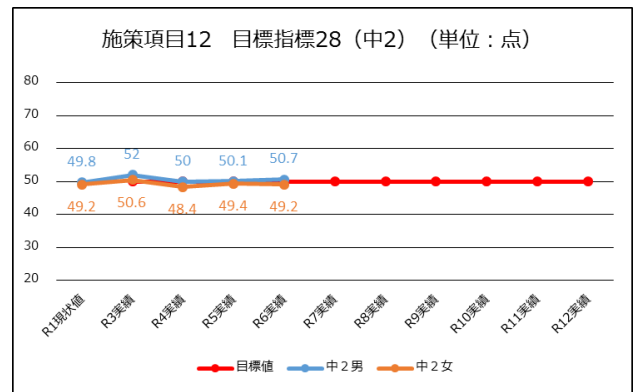
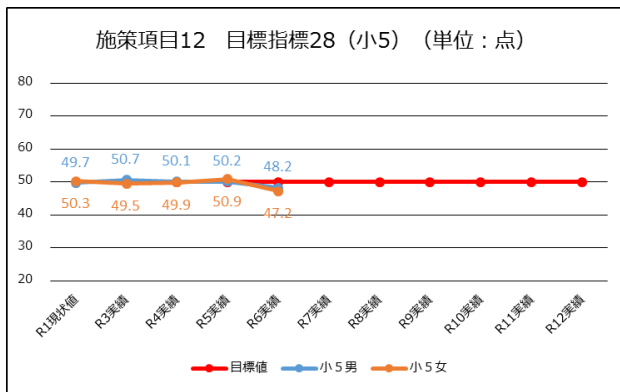
施策項目12 体力・運動能力の向上

目標指標27 「体育・保健体育の授業は楽しい、やや楽しい」と回答した児童生徒の割合【全国体力】



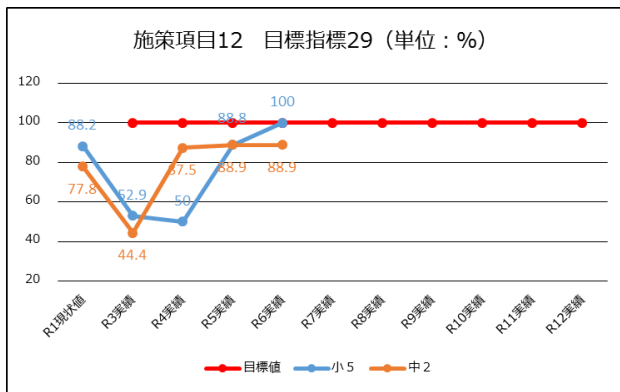
施策項目12 体力・運動能力の向上

目標指標28 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の「実技に関する調査」の対象学年である小学5年、中学2年の合計T得点【全国体力】



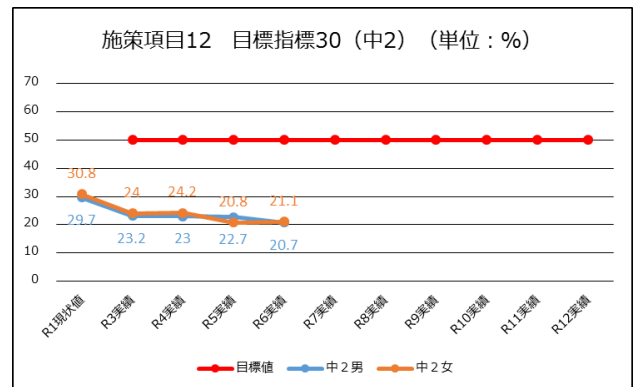
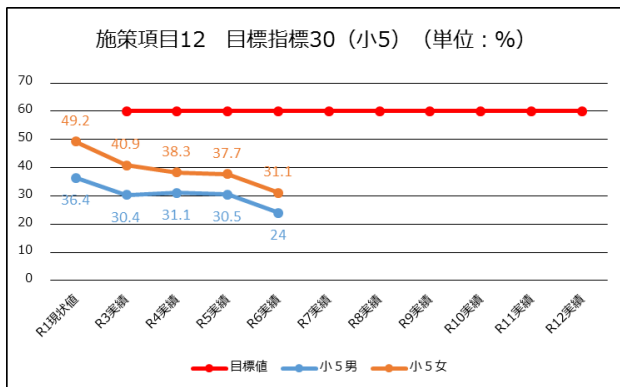
施策項目12 体力・運動能力の向上

目標指標29 運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向にある児童生徒向けの取組、または性別に応じた取組を行っている学校の割合【全国体力】



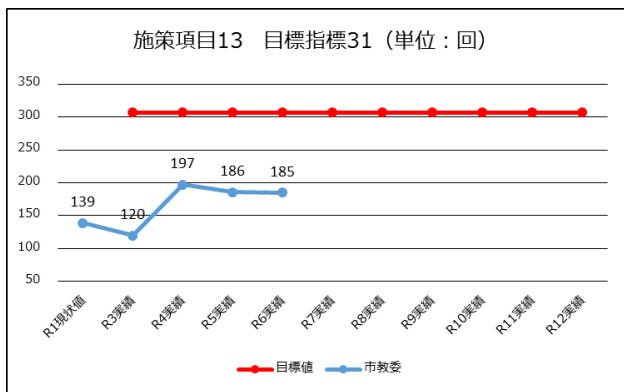
施策項目12 体力・運動能力の向上

目標指標30 「1日にテレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ている時間が2時間未満」と回答した児童生徒の割合【全国体力】



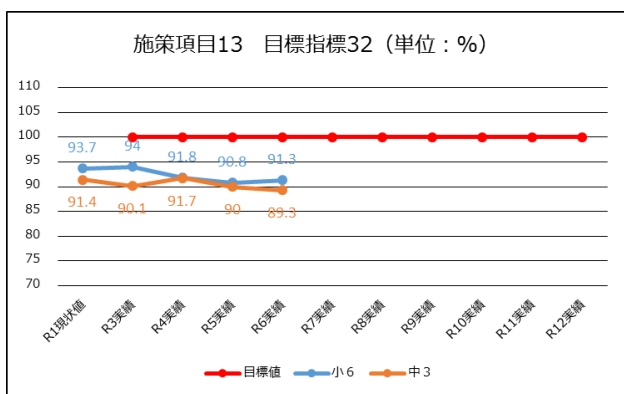
施策項目13 食育の推進

目標指標31 食に関する指導の実施回数



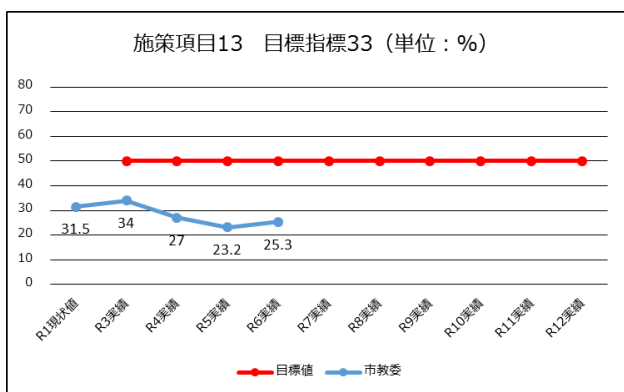
施策項目13 食育の推進

目標指標32 「朝食を毎日食べている、どちらかといえば食べている」と回答した児童生徒の割合【全国学力】



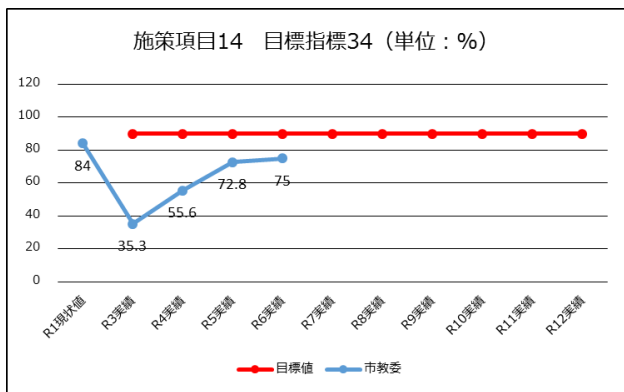
施策項目13 食育の推進

目標指標33 学校給食使用食材（野菜類）における地場産品利用割合



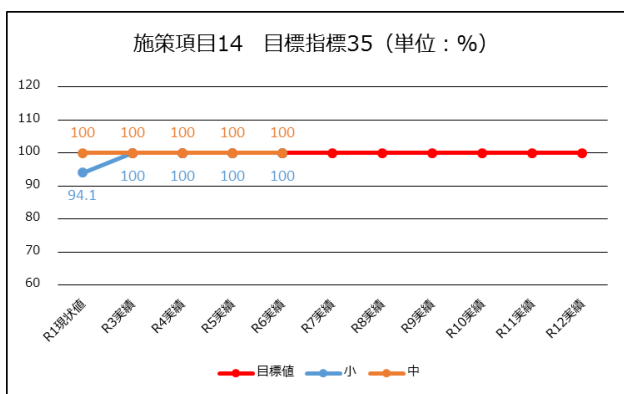
施策項目14 健康教育の推進

目標指標34 フッ化物洗口を実施している児童の割合



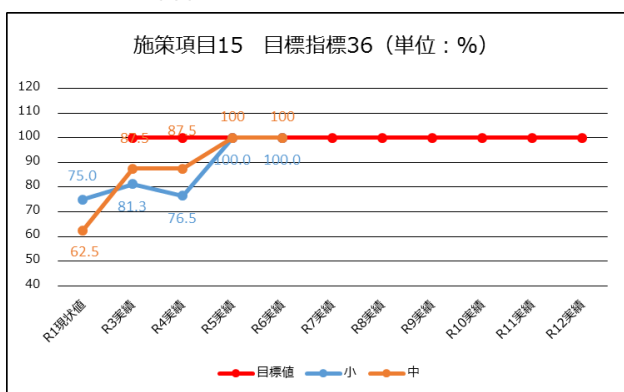
施策項目14 健康教育の推進

目標指標35 学校保健委員会を設置している学校の割合



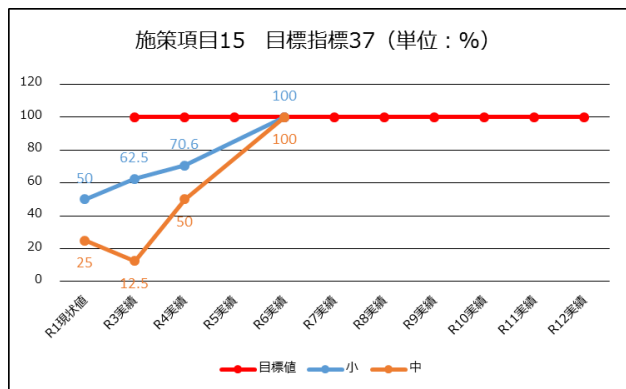
施策項目15 学校運営の充実

目標指標36 児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している学校の割合【全国学力】



施策項目15 学校運営の充実

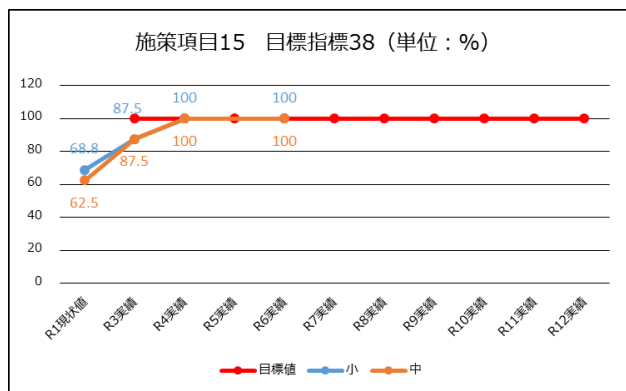
目標指標37 指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列している学校の割合【全国学力】



※令和5年度の全国学力・学習状況調査では、この調査項目がなかったため、指標値が存在しない。

施策項目15 学校運営の充実

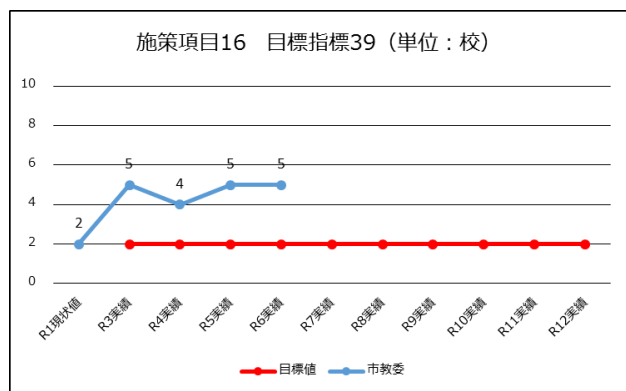
目標指標38 業務改善に取り組んでいる学校の割合【全国学力】



※令和5年度の全国学力・学習状況調査では、この調査項目がなかったため、指標値が存在しない。

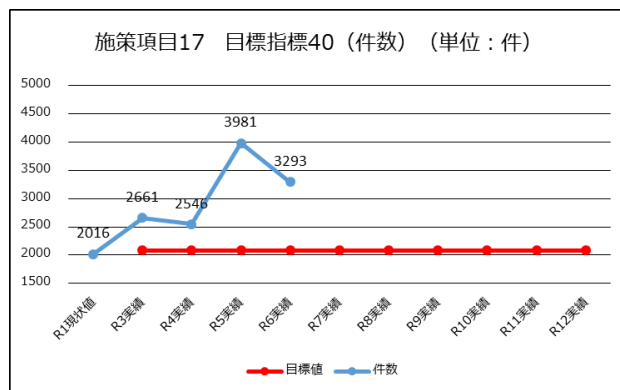
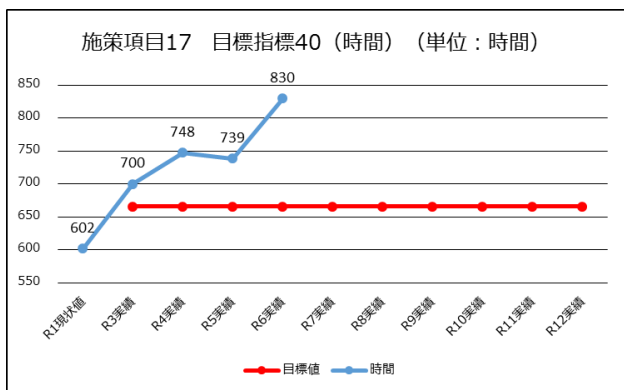
施策項目16 学校施設・設備に充実

目標指標39 大規模改修（1校当たり2,000万円を超える工事）の実施校数（各年度の整備数）



施策項目17 学びのセーフティネットの構築

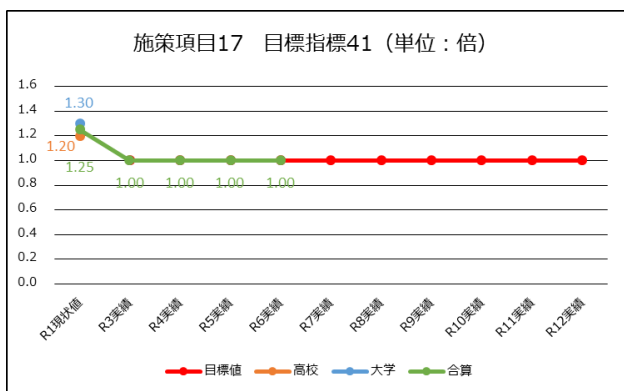
目標指標40 スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラー・心の教室相談員による相談業務の月平均開設時間数及び年間相談件数



施策項目17 学びのセーフティネットの構築

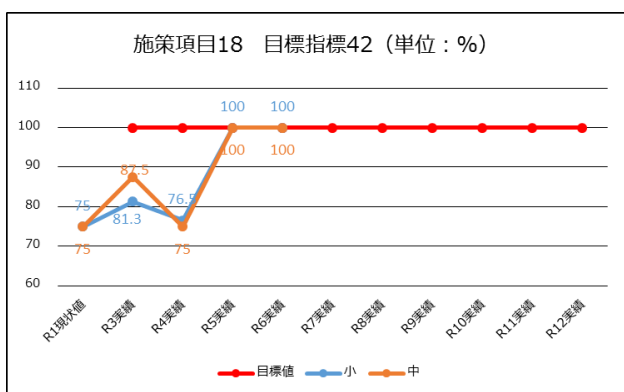
目標指標41 奨学金の交付を希望する生徒・学生のうち選考者数の割合 (高校生・大学生)

※令和12年度までに1.0倍以下になることが目標



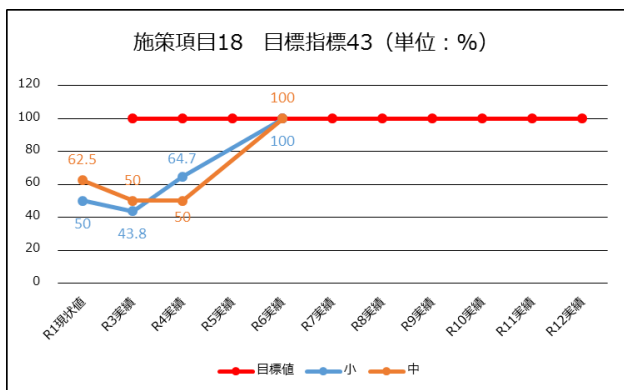
施策項目18 教員の研修の推進

目標指標42 「授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っている」と回答した学校の割合【全国学力】



施策項目18 教員の研修の推進

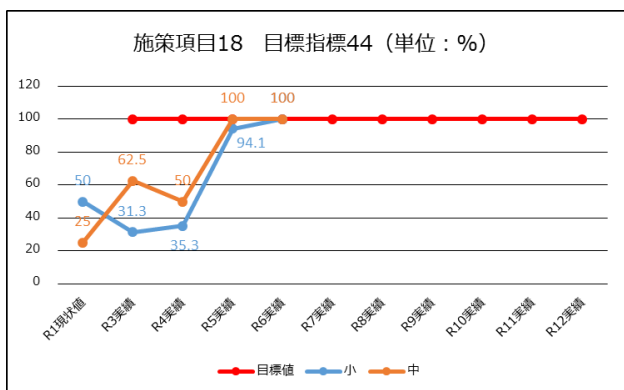
目標指標43 「教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させている」と回答した学校の割合【全国学力】



※令和5年度の全国学力・学習状況調査では、この調査項目がなかったため、指標値が存在しない。

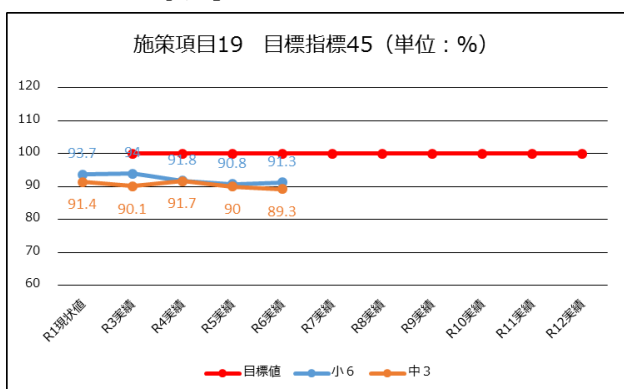
施策項目18 教員の研修の推進

目標指標44 近隣等の小学校（中学校）と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った学校の割合【全国学力】



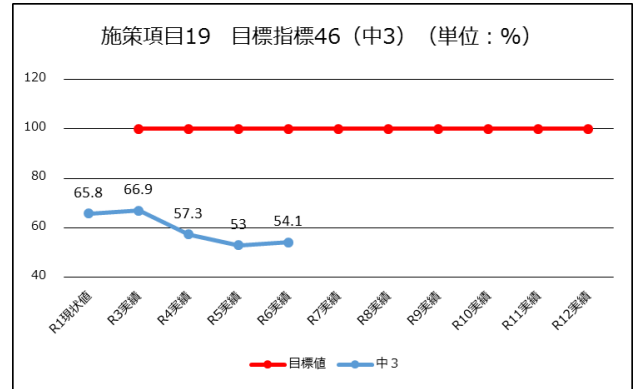
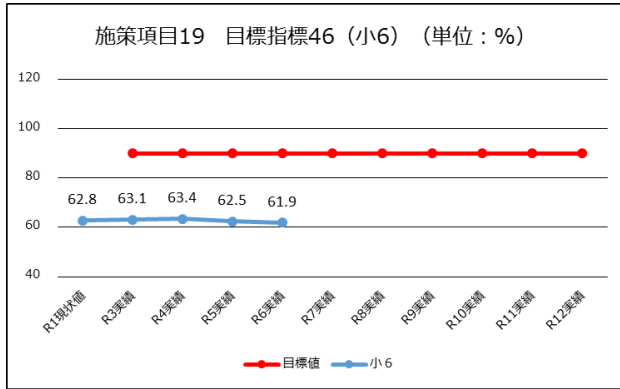
施策項目19 家庭教育支援の充実

目標指標45 「朝食を毎日食べている、どちらかといえば食べている」と回答した児童生徒の割合（再掲）【全国学力】



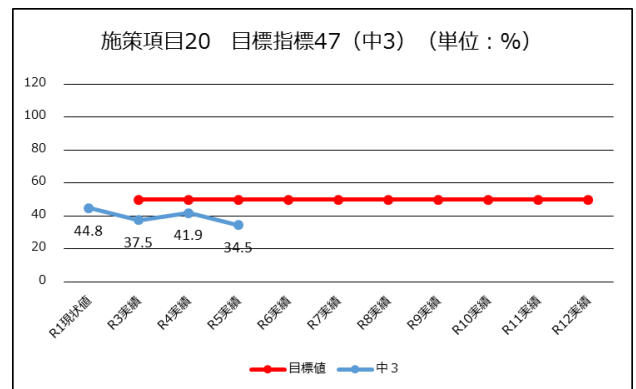
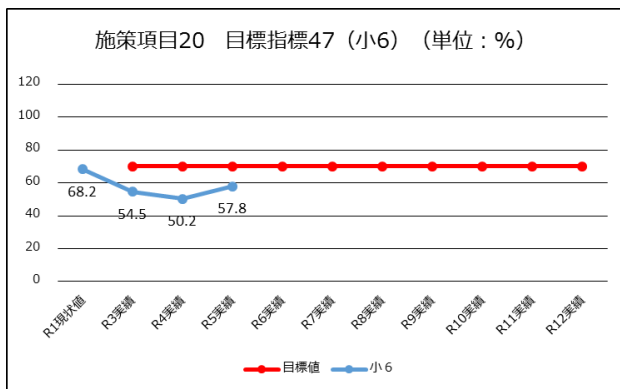
施策項目19 家庭教育支援の充実

目標指標46 「平日、1日当たりの家庭学習時間が1時間以上」と回答した児童生徒の割合（再掲）【全国学力】



施策項目20 学校と地域の連携・協働の充実

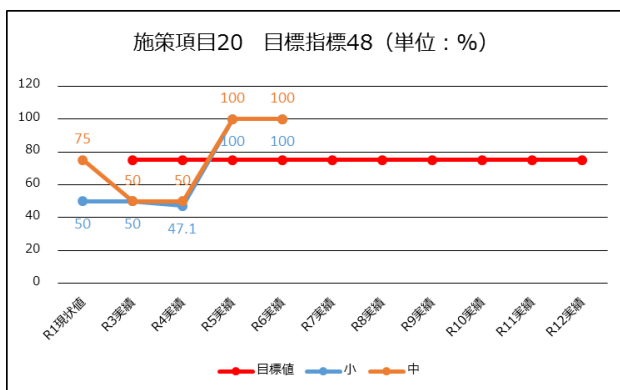
目標指標47 「今住んでいる地域の行事に参加している、どちらかといえば参加している」と回答した児童生徒の割合（再掲）【全国学力】



※令和6年度の全国学力・学習状況調査（小6・中3）では、この調査項目がなかったため、指標値が存在しない。

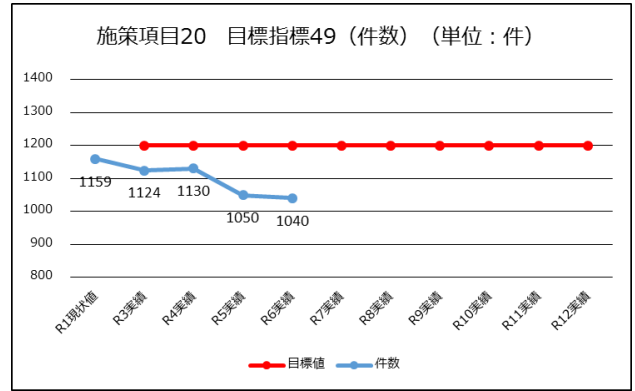
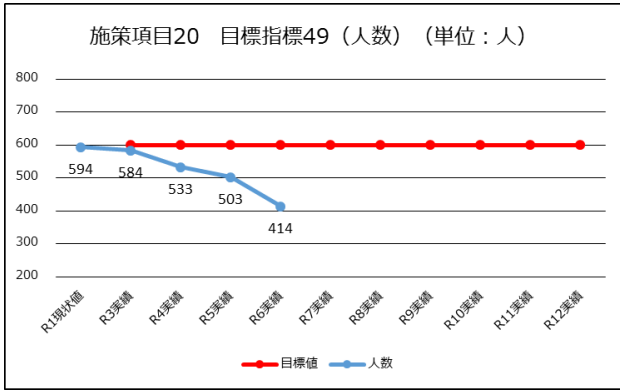
施策項目20 学校と地域の連携・協働の充実

目標指標48 教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っている学校の割合【全国学力】



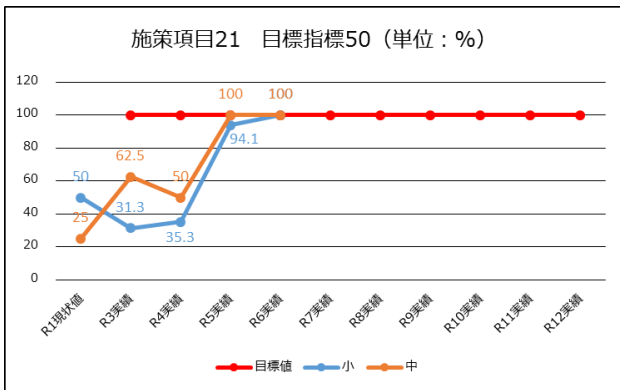
施策項目20 学校と地域の連携・協働の充実

目標指標49 千歳っ子見守り隊及び緊急避難所「子ども110番の家」の登録件数



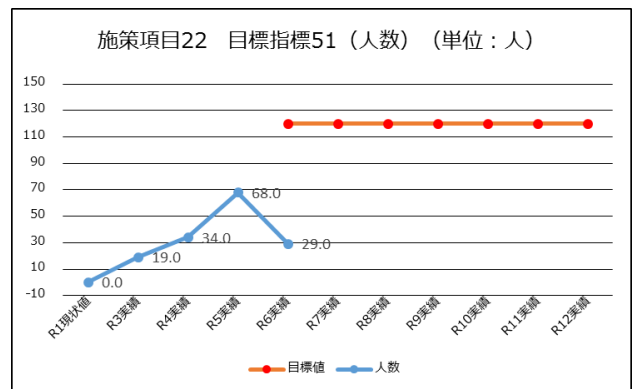
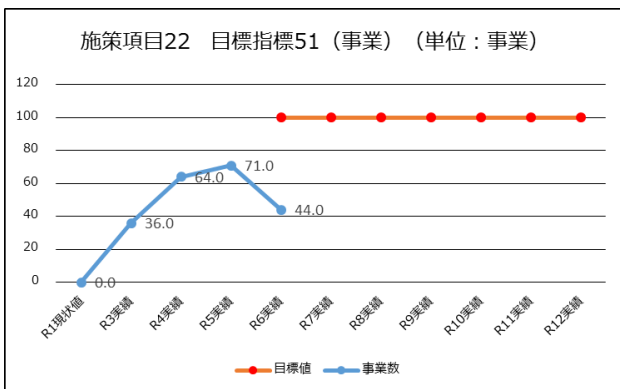
施策項目21 学校段階等間の連携・交流の充実

目標指標50 近隣等の小学校(中学校)と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った学校の割合(再掲)【全国学力】



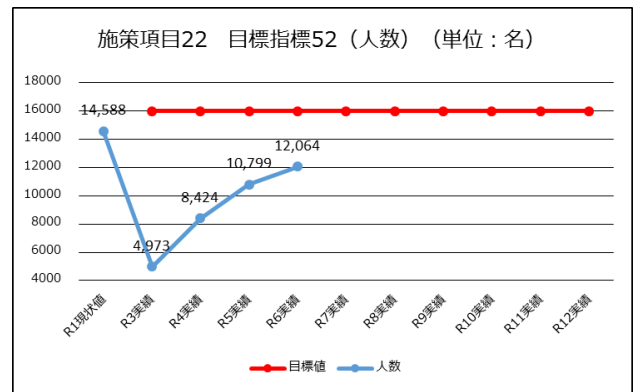
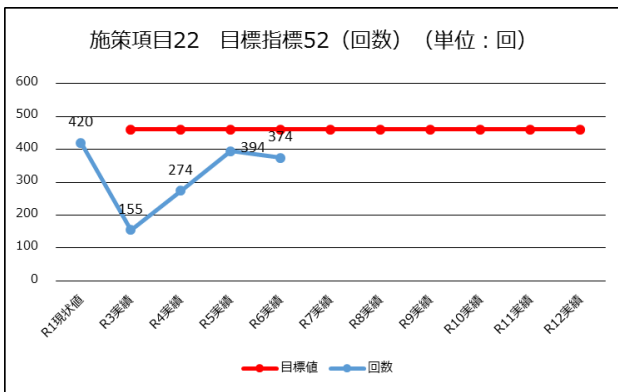
施策項目22 多様な主体の連携による学び合いと交流の場の充実

目標指標51 「ちとせを学ぶスタンプラリー事業」の実施事業数と受講登録者数



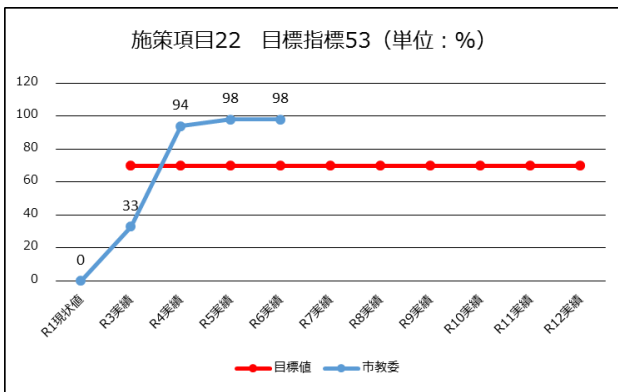
施策項目22 多様な主体の連携による学び合いと交流の場の充実

目標指標52 「千歳学出前講座」など、教育委員会が仲介して市民や事業者、行政機関が講師となって実施した学習機会の実施回数と参加者数



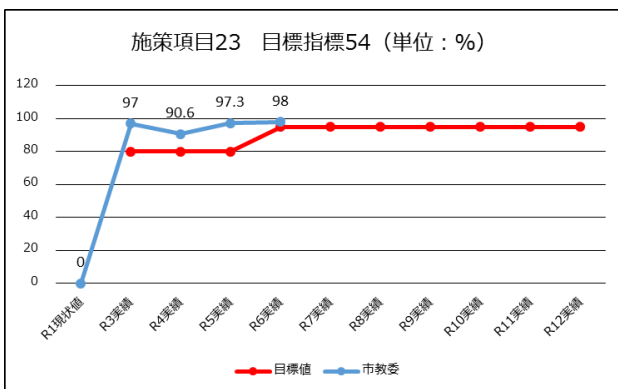
施策項目22 多様な主体の連携による学び合いと交流の場の充実

目標指標53 学習成果を交流する事業（フェスティバル、フォーラムなど）の参加団体アンケートで、事業実施後、「まちづくりへの参加意識が高まった」とする団体の割合

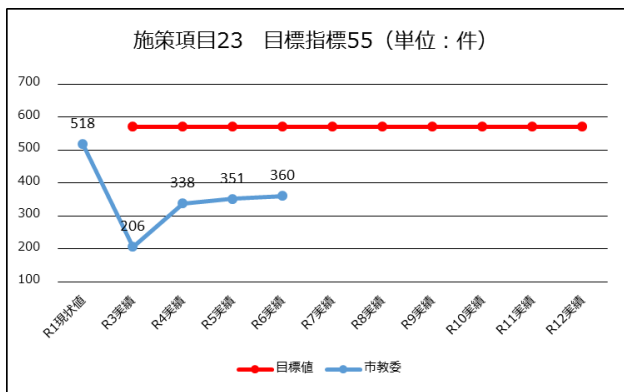


施策項目23 学習情報と市民活動交流センター機能の充実

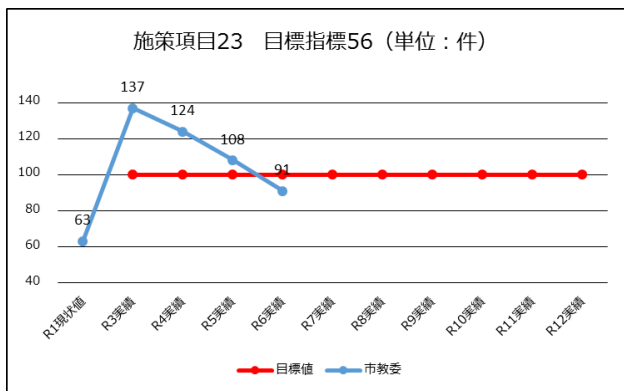
目標指標54 市民活動交流センター利用者アンケートで利用について「満足」「おおむね満足」「ふつう」と回答した人の割合



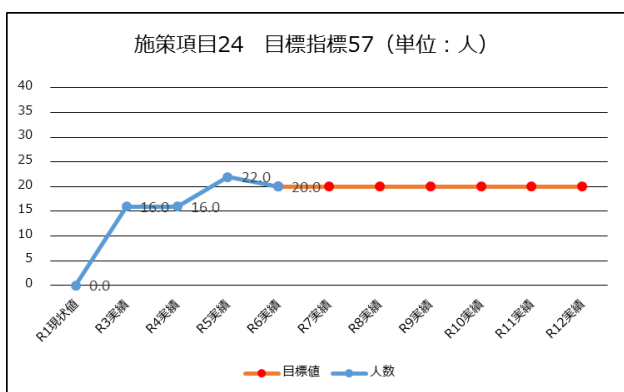
施策項目23 学習情報と市民活動交流センター機能の充実  
 目標指標55 市民活動交流センターが行った情報提供事業件数



施策項目23 学習情報と市民活動交流センター機能の充実  
 目標指標56 市民活動交流センターが行った相談対応件数

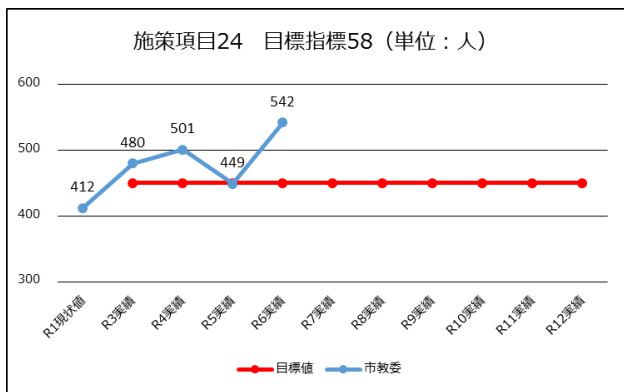


施策項目24 学びやまちづくり活動を支える人材の育成や活用の推進  
 目標指標57 「ひと・まちづくりリーダー」認定累計数



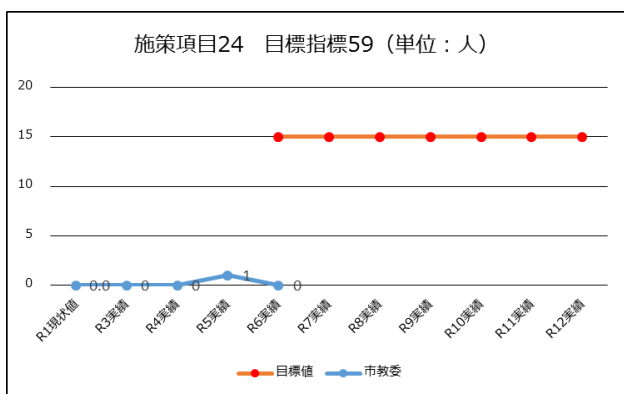
施策項目24 学びやまちづくり活動を支える人材の育成や活用の推進

目標指標58 「千歳学出前講座」などの講師と社会教育事業のボランティアに登録している人数



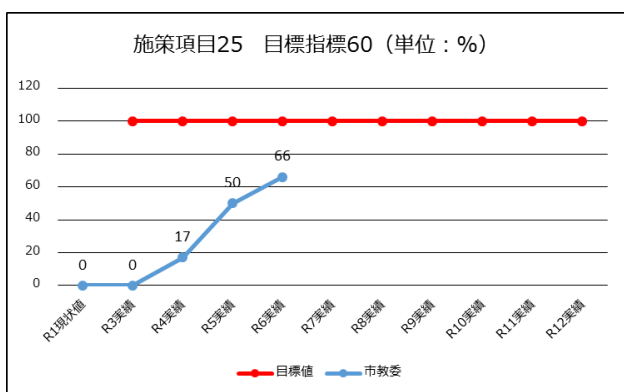
施策項目24 学びやまちづくり活動を支える人材の育成や活用の推進

目標指標59 「ちとせを学ぶスタンプラリー事業」に登録して指定された単位を修得し、表彰された人の人数



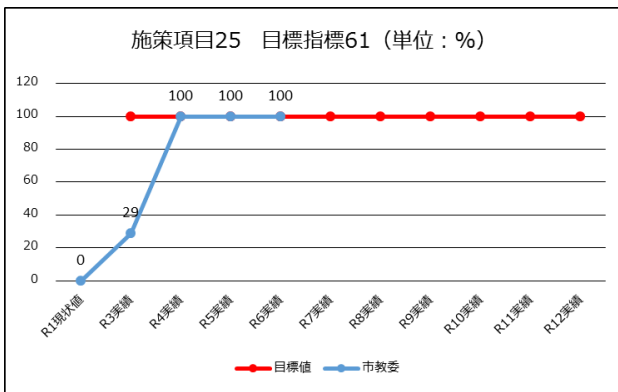
施策項目25 地域と学校の連携による地域の教育力を高める活動の充実

目標指標60 地域学校協働活動推進員を中学校区（小規模校を除く）に配置して、地域学校協働活動を実施している割合



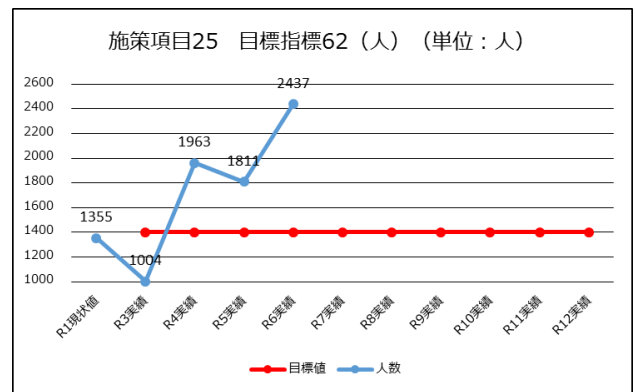
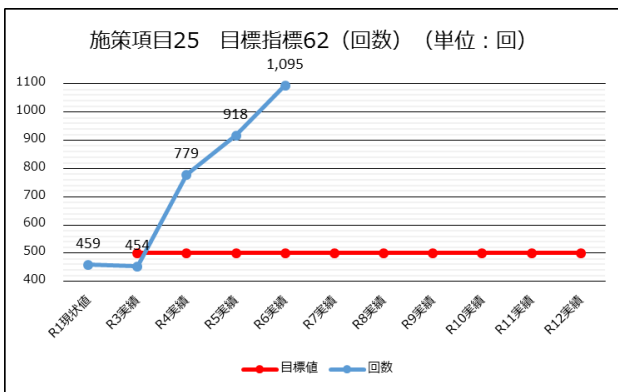
施策項目25 地域と学校の連携による地域の教育力を高める活動の充実

目標指標61 地域学校協働活動推進員の企画・運営により、放課後や週末の子どもの体験活動を実施している小学校（小規模校を除く）の割合



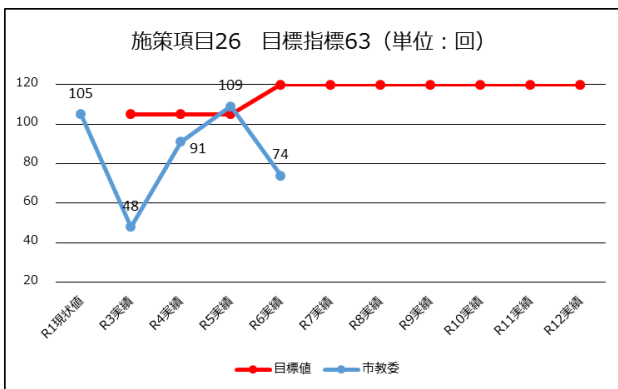
施策項目25 地域と学校の連携による地域の教育力を高める活動の充実

目標指標62 地域学校協働活動の実施回数と活動に参加するボランティアの延活動人数



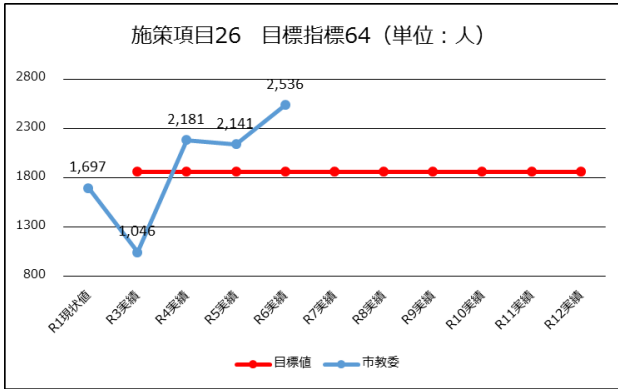
施策項目26 学んだ成果を地域で生かす活動の充実

目標指標63 教育委員会が実施・仲介する学習講座で、市民や市内の事業者が講師となって行ったものの実施回数



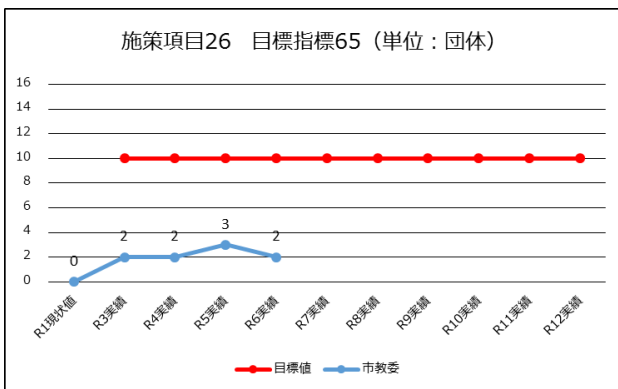
施策項目26 学んだ成果を地域で生かす活動の充実

目標指標64 千歳学出前講座講師と社会教育事業ボランティアの延活動人数



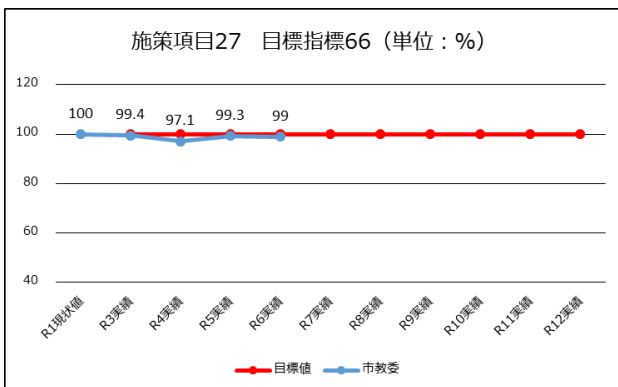
施策項目26 学んだ成果を地域で生かす活動の充実

目標指標65 教育委員会が実施した学習講座で、修了後引き続き、学習・活動グループを組織化して活動する団体の累計数



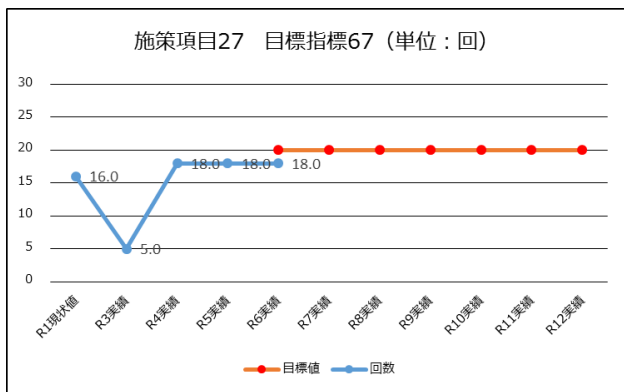
施策項目27 乳幼児期からの家庭教育を支える学びの充実

目標指標66 教育委員会が実施する家庭教育に関する学習事業で、今後の子育てなど自身の生活に「役立つ」と回答した参加者の割合



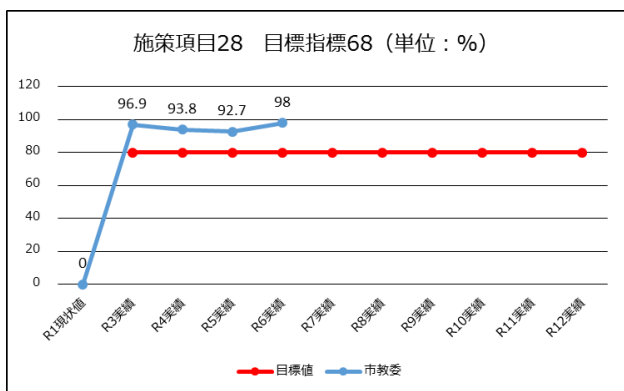
施策項目27 乳幼児期からの家庭教育を支える学びの充実

目標指標67 子育てサポーターが保護者などの家庭教育を支援した活動の回数



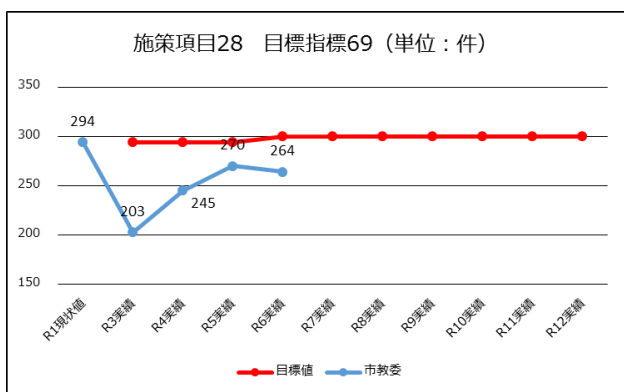
施策項目28 青少年の自立と成長を育む学びの充実

目標指標68 教育委員会が主催及び支援する団体が実施する青少年教育事業で、こうした体験教室に「また参加したい」と回答した参加者の割合



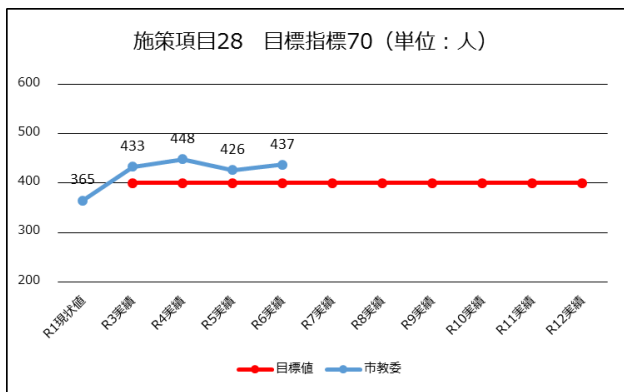
施策項目28 青少年の自立と成長を育む学びの充実

目標指標69 「マナビィ」や「少年団体一覧表」など、教育委員会から小中学生に行った青少年活動情報の提供件数



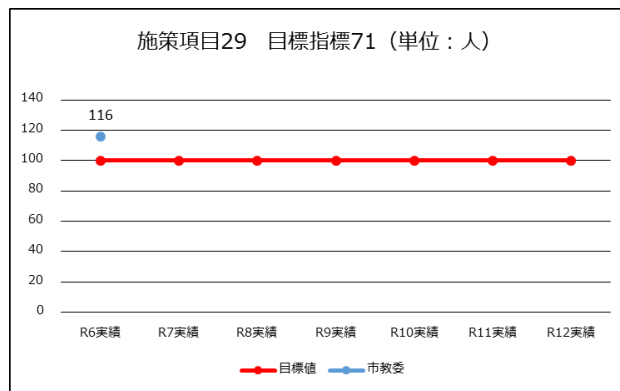
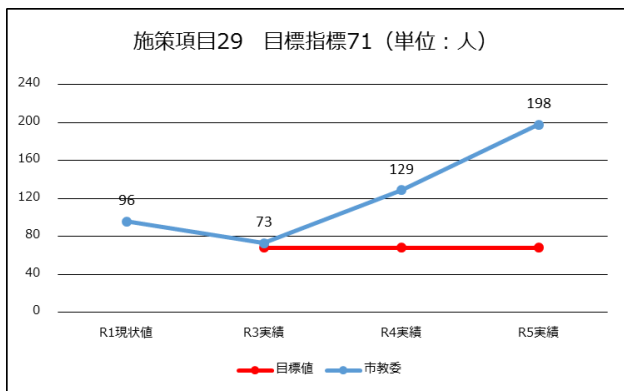
施策項目28 青少年の自立と成長を育む学びの充実

目標指標70 ボランティアや青少年育成推進員など、青少年の体験活動支援に関わる人の登録者数



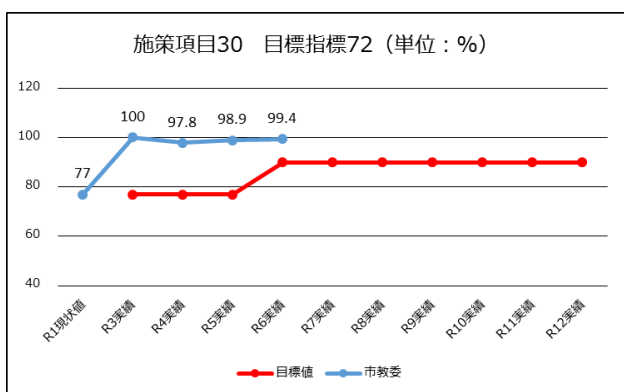
施策項目29 青少年非行防止への取組の推進

目標指標71 青少年指導件数→R6～「千歳市内の小中高等学校児童生徒校外生活指導基準に基づく声かけ等を行った人数」



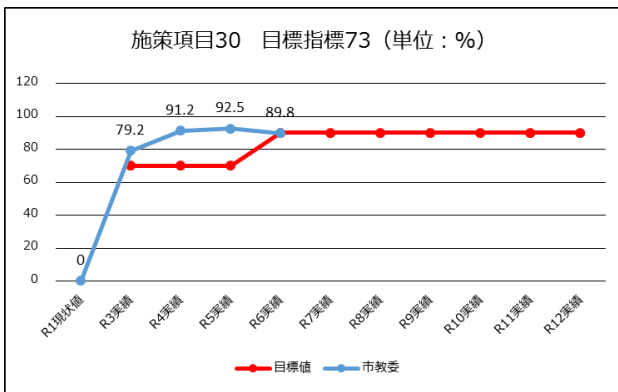
施策項目30 成人期や高齢期を誰もが豊かに過ごす学びの充実

目標指標72 教育委員会が実施する生活課題に対応した学習事業で、今後の自身の生活に「役立つ」と回答した参加者の割合



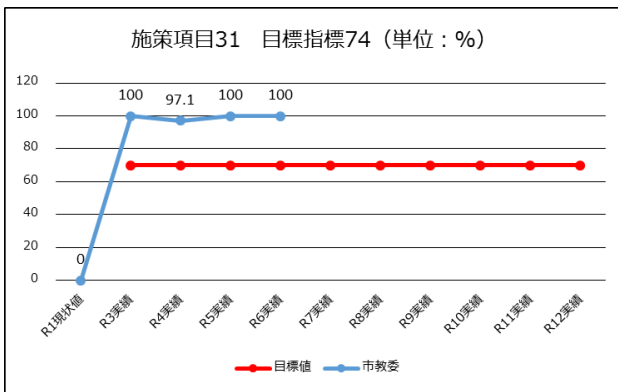
施策項目30 成人期や高齢期を誰もが豊かに過ごす学びの充実

目標指標73 高齢者学級開催事業で、講座で学んだことを生かして「地域社会の活動に参加してみたい」と回答した参加者の割合



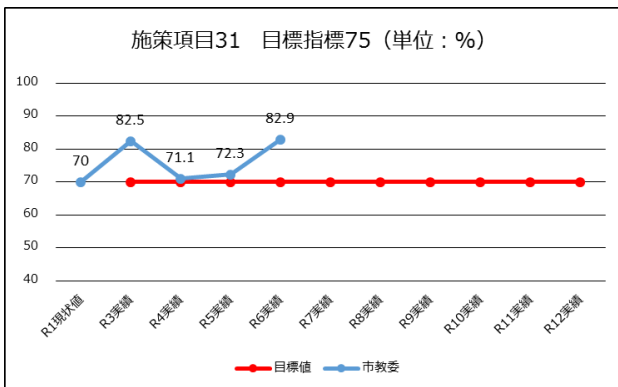
施策項目31 ふるさと千歳の理解と地域課題に対応した学びの充実

目標指標74 教育委員会が実施する千歳の地域理解に関わる学習事業で、「千歳への理解が深まった」と回答した参加者の割合



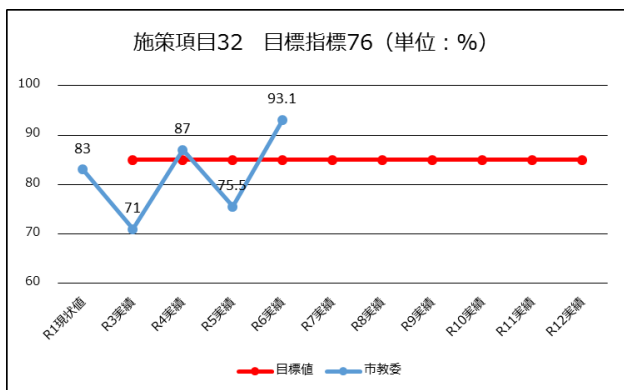
施策項目31 ふるさと千歳の理解と地域課題に対応した学びの充実

目標指標75 教育委員会が実施する千歳の地域理解や地域課題、現代的課題に関わる学習事業で、講座内容が「よく理解できた」と回答した参加者の割合



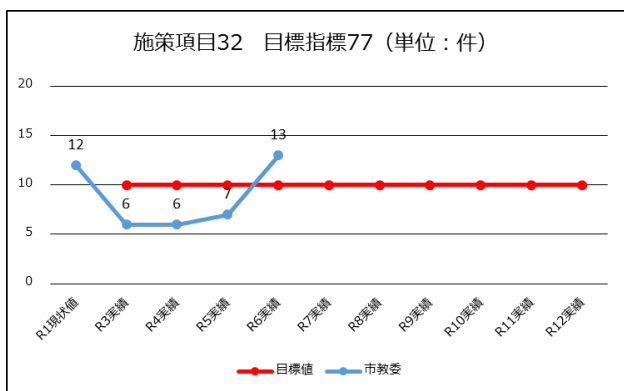
施策項目32 社会教育施設機能と読書環境の充実

目標指標76 公民館の利用者アンケートで、施設設備などについて「よい」「ややよい」「ふつう」と回答した人の割合



施策項目32 社会教育施設機能と読書環境の充実

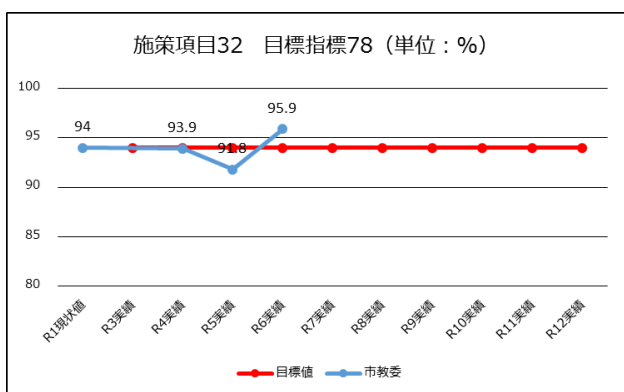
目標指標77 図書館の意見箱に投函された施設設備などに関する改善意見の件数



※令和12年度までに改善意見の件数が10件を下回ることが目標

施策項目32 社会教育施設機能と読書環境の充実

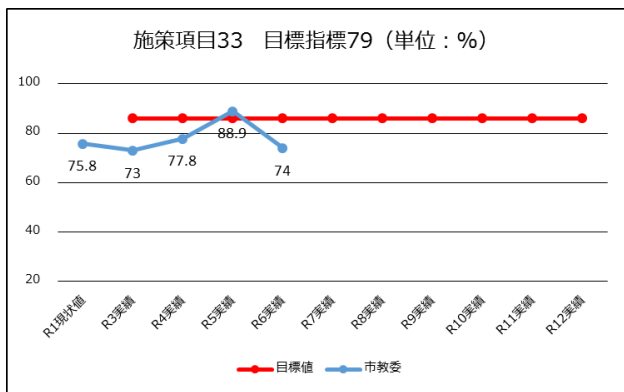
目標指標78 図書館まつりの参加者アンケートで、「よい」「ややよい」「ふつう」と回答した人の割合



※令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、図書館まつりを中止した。

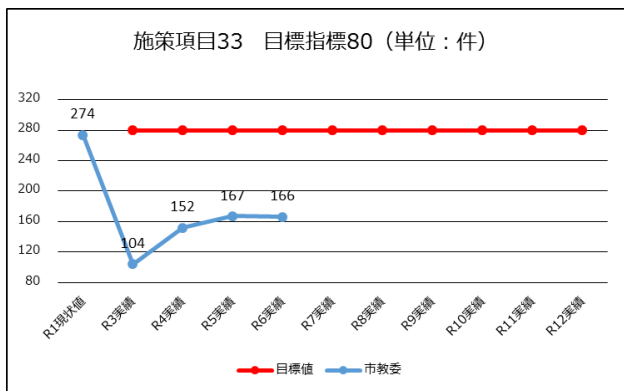
施策項目33 文化芸術に親しむ環境の整備

目標指標79 市民文化センターの自主文化事業アンケートにおける満足度で「満足」と回答した人の割合



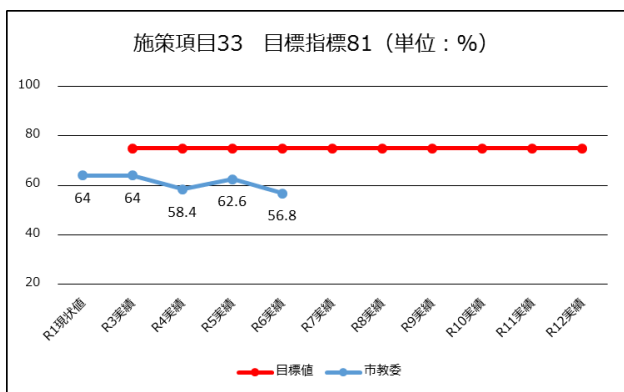
施策項目33 文化芸術に親しむ環境の整備

目標指標80 文化芸術情報媒体（市民文化センターだよりなど）で情報発信した文化芸術イベント数



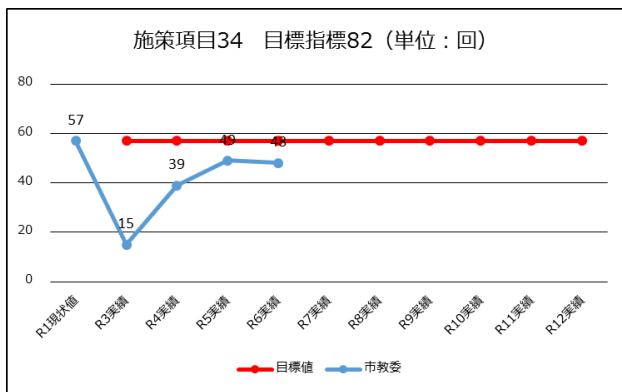
施策項目33 文化芸術に親しむ環境の整備

目標指標81 市民文化センター利用者アンケートにおける総合的な感想で「よい」「ややよい」と回答した人の割合



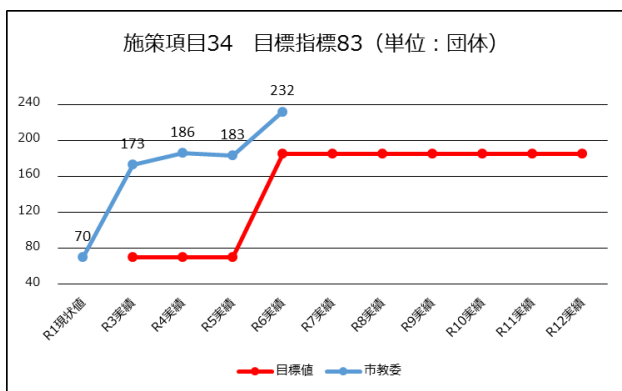
施策項目34 地域に根差した文化芸術活動への支援充実

目標指標82 教育委員会の支援（補助・共催・後援）により実施された文化芸術事業の実施回数



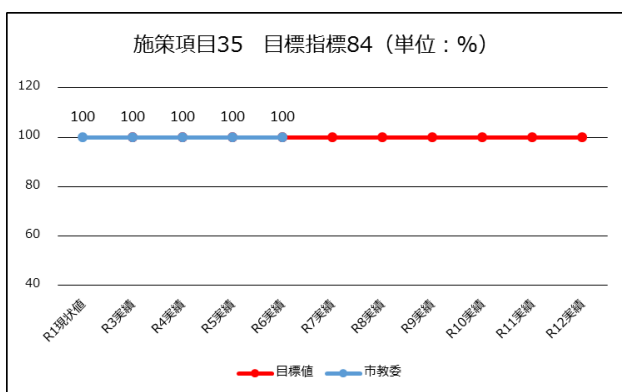
施策項目34 地域に根差した文化芸術活動への支援充実

目標指標83 文化芸術に関わる団体数（社会教育関係団体（文化芸術分野）と文化団体連絡協議会加盟団体の数）



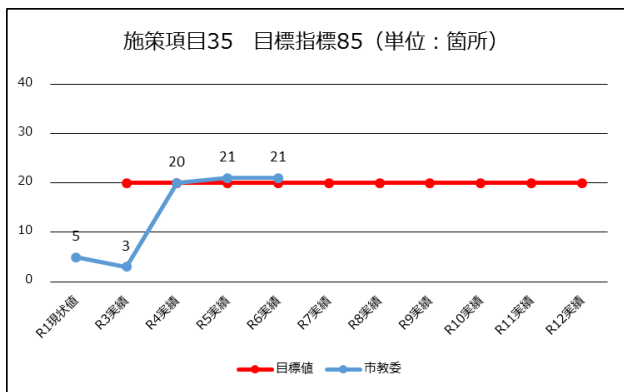
施策項目35 文化財の保存と調査・研究及び継承の支援

目標指標84 発掘調査を行った場合に遺跡情報や出土資料を記録・保存し後世に伝える割合



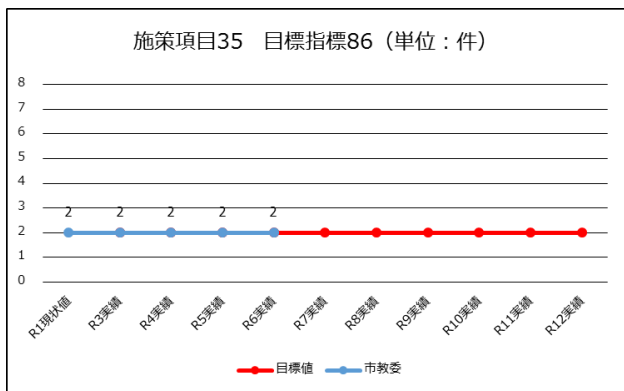
施策項目35 文化財の保存と調査・研究及び継承の支援

目標指標85 遺跡パトロールの年間実施箇所数



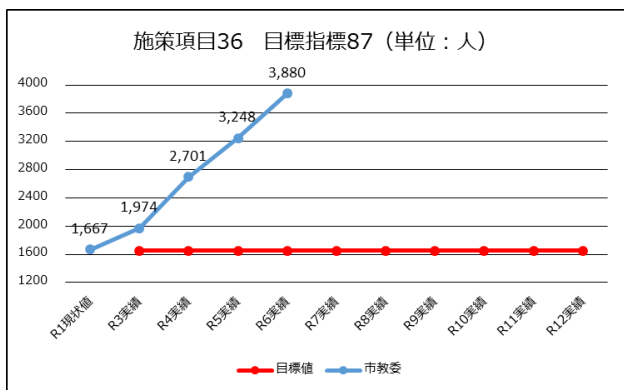
施策項目35 文化財の保存と調査・研究及び継承の支援

目標指標86 市指定無形文化財の保持団体への補助金交付件数

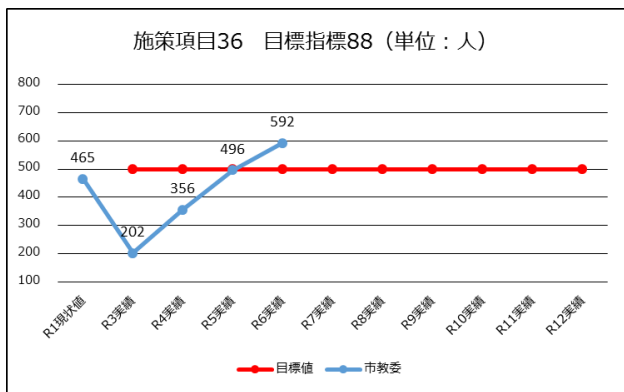


施策項目36 文化財の活用の推進

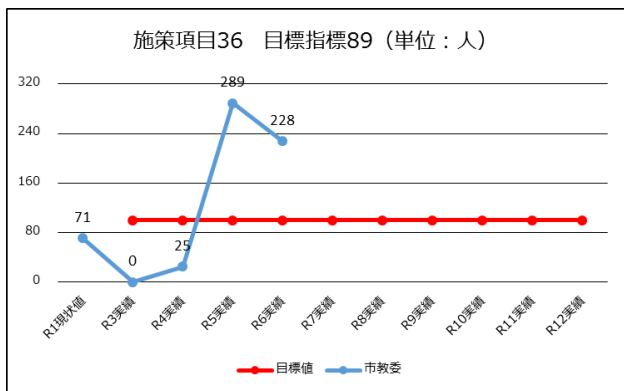
目標指標87 埋蔵文化財センター展示室の見学者数



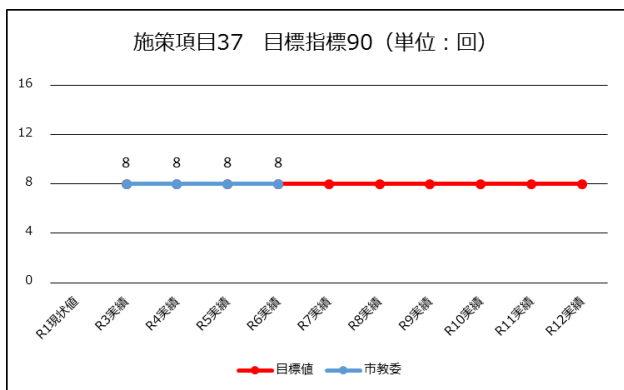
施策項目36 文化財の活用の推進  
 目標指標88 体験学習会への参加者数



施策項目36 文化財の活用の推進  
 目標指標89 講演会への参加者数

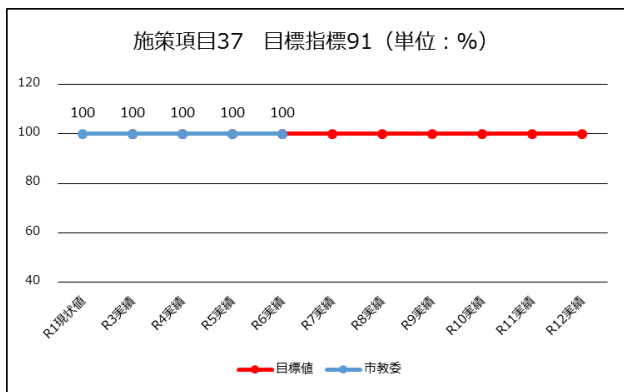


施策項目37 世界文化遺産登録と資産保護の取組の推進  
 目標指標90 資産及び緩衝地帯のパトロール（遺構の状況について観察、写真撮影などにより記録する）回数



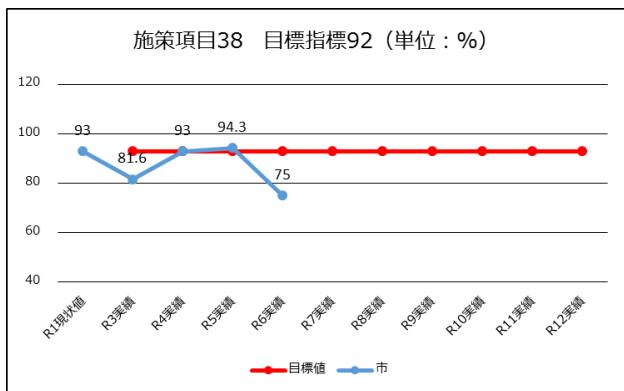
施策項目37 世界文化遺産登録と資産保護の取組の推進

目標指標91 構成資産及びその周辺で行われる開発行為などの事前把握



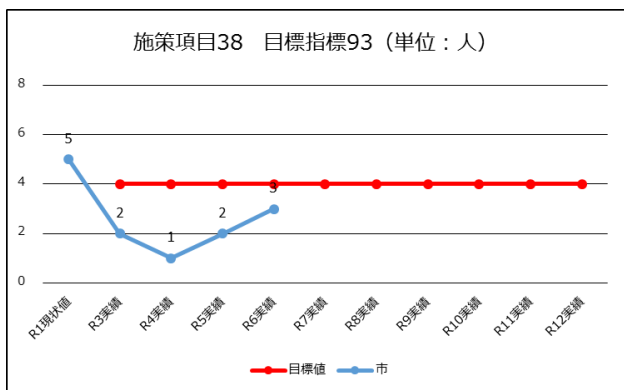
施策項目38 スポーツ活動の啓発と参加促進

目標指標92 千歳市及び（公財）千歳市スポーツ協会が主催するスポーツ教室や行事などの定員に対するの参加割合



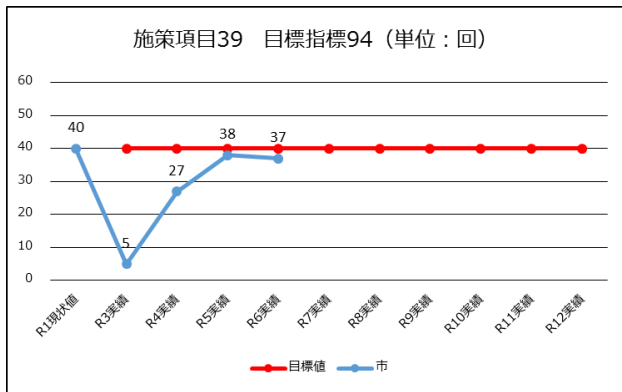
施策項目38 スポーツ活動の啓発と参加促進

目標指標93 千歳市スポーツ表彰被表彰者数



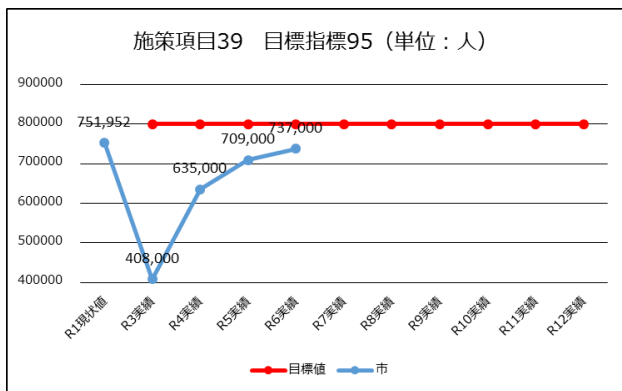
施策項目39 スポーツに親しめる機会の充実

目標指標94 千歳学出前講座（市役所編スポーツ）の実施回数



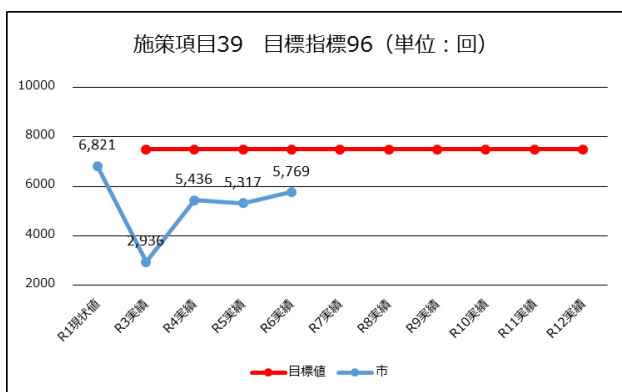
施策項目39 スポーツに親しめる機会の充実

目標指標95 屋内外スポーツ施設及び学校施設開放利用者



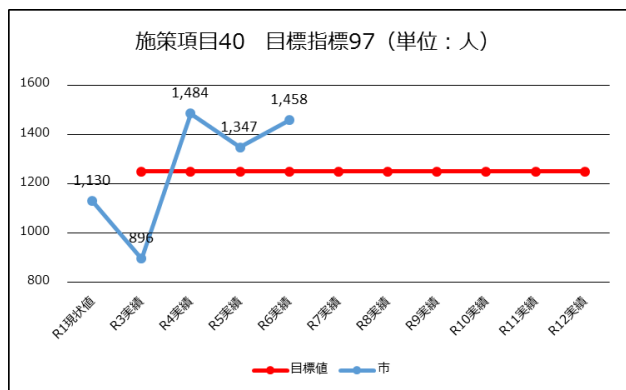
施策項目39 スポーツに親しめる機会の充実

目標指標96 学校施設開放のスポーツ利用回数



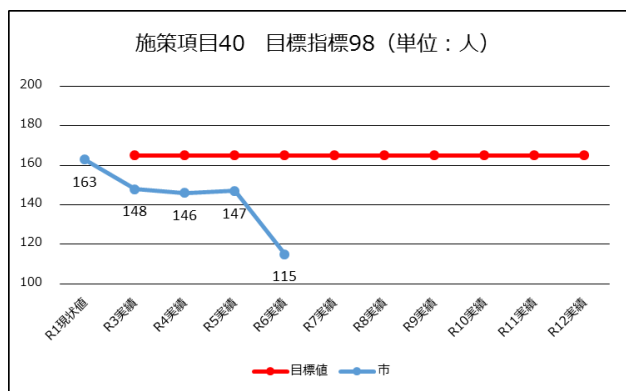
施策項目40 スポーツ活動を支える指導者の充実と団体の育成

目標指標97 千歳市及び（公財）千歳市スポーツ協会が主催するスポーツ教室や行事におけるスポーツ指導者の支援人数（委託先指導者を含む）



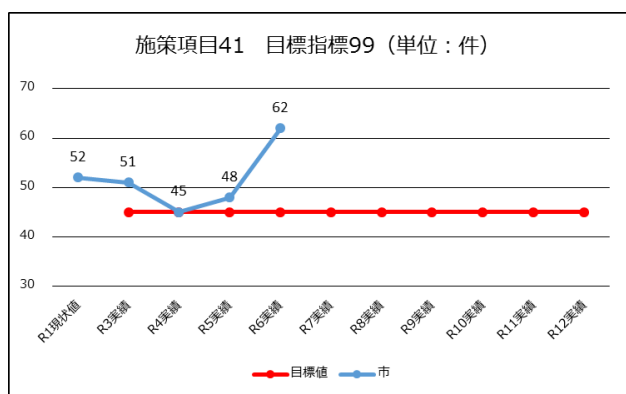
施策項目40 スポーツ活動を支える指導者の充実と団体の育成

目標指標98 （公財）千歳市スポーツ協会に登録しているスポーツ少年団指導者（各少年団認定員）の数



施策項目41 スポーツ施設の機能充実と利便性向上

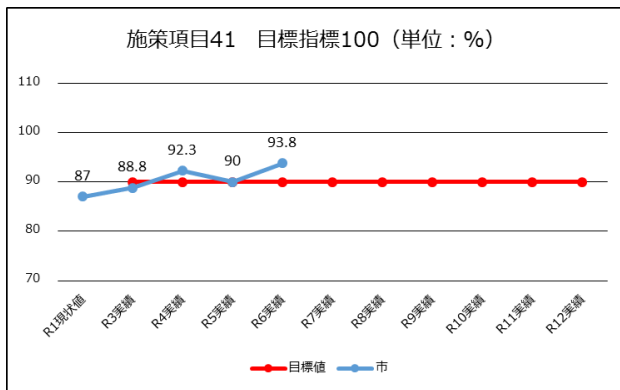
目標指標99 施設利用者アンケートにおける「施設」に関する改善意見件数



※令和12年度までに改善意見の件数が45件を下回ることが目標

施策項目41 スポーツ施設の機能充実と利便性向上

目標指標100 施設利用者アンケートにおける「施設」に関する質問で、「とてもよい」「よい」「ふつう」と回答した人の割合



基本目標1 社会で生きる力を育む教育の推進				
施策項目1 認め合い、高め合う学年・学級経営の充実		担当課	学校指導課	
1 施策の概要				
教師との信頼関係や子どもたち同士のよりよい人間関係を育む親和的な学年・学級経営を推進します				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価		学校評価
学校目標の実現を目指す学年・学級経営の充実	学校教育目標の実現を目指し、児童生徒の実態を踏まえ、身に付けさせたい資質・能力を明確にして、「どの場面で」「どのように力をつけるのか」を学年・学級経営計画に反映させ、組織的に親和的な集団づくりを進めます。	/		A:25校 B:2校 C:0校 D:0校
ハイパーQU検査の活用	ハイパーQU検査の結果を児童生徒個々の指導や学級全体の指導に反映させるとともに、具体的支援の必要な児童生徒や学級について、共通理解を図ります。			A:25校 B:0校 C:0校 D:0校 対象外:2校
学習規律の徹底	全教職員が学校全体で定めた学習規律の共通理解と指導の徹底を図り、効率的・効果的な学習を促進します。			A:21校 B:6校 C:0校 D:0校
自尊感情や自己有用感を高める取組の充実	授業や特別活動を通じて、児童生徒に存在感や達成感を味わわせ、自分の活動を振り返り、成長に気づかせるなど、自尊感情や自己有用感を高める学びの充実に努めます。			A:24校 B:3校 C:0校 D:0校
3 目標指標	現状値(R1)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R7年度調査結果 (R6年度実績)	R12目標値
学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法などを合意形成できるような指導を行っている学校の割合	小 68.8% 中 50.0%	100%(A) 100%(A)	100%(A) 100%(A)	小 100% 中 100%
ハイパーQU検査において、「親和的な学級集団」の割合	小5 65.0% 中2 30.0%	84.8%(B) 44.4%(C)	50.0%(C) 48.9%(C)	小5 90%以上 中2 80%以上
学習規律の維持を徹底している学校の割合	小 75.0% 中 75.0%	調査項目なし 調査項目なし	調査項目なし 調査項目なし	小 100% 中 100%
「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う、どちらかといえば思う」と回答した児童生徒の割合	小6 87.0% 中3 83.3%	91.5%(A) 87.4%(B)	90.3%(A) 90.2%(A)	小6 90%以上 中3 90%以上
4 総括				
令和6年度の実績及び今後の方針・課題（目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）				
<p>本施策では、学級・学年経営の質向上を目的に、ハイパーQU検査の活用や児童生徒の自己有用感を高める取組を推進してきた。小学校段階では、教員による児童理解や自己有用感の獲得が一定の成果を上げているものの、「親和的な学級集団」の割合は前年度比で30%以上減少しており、学級風土の醸成に課題が見られる。</p> <p>一方で中学校では、同指標が4.5%上昇しており、取組の成果が着実に現れ始めている。</p> <p>これまで、校内での役割に応じた研修会（担当者：校内研修の工夫、担任：結果分析と具体策）を実施し、各校が検査結果を分析・報告書にまとめて課題の焦点化を図ってきた。</p> <p>今後は、こうした研修と分析の質をさらに高め、実態に即した学級づくりを支える組織的な支援体制を強化することで、児童生徒の安心感と所属感を基盤とした安定的な学級経営の実現を目指す。</p>				
5 外部評価会議委員の意見				
<p>ハイパーQU検査の結果、昨年度と比べてかなり親和的な学級集団になってきているということだが、コロナ禍で入学した子どもたちであり、コミュニケーション不足なども考えられる中、千歳市ではハイパーQU検査を年2回実施しているので、結果の考察や、その後の対策など、十分効果的な活用をしていただきたい。</p> <p>◆参考・前年度意見： ハイパーQU検査については、小中学校ともに目標達成に向け向上しており、素晴らしいと感じます。効果的な活用については、学校ごとに様々な取組があると思いますので、お互いに学び合いながら具体的な改善につなげていただきたいと思います。</p>				

基本目標1 社会で生きる力を育む教育の推進					
施策項目2 確かな学力の育成		担当課	企画総務課・学校教育課・学校指導課		
1 施策の概要					
全国学力・学習状況調査、標準学力検査等の結果分析をもとに、千歳市学力向上検討委員会で授業改善案の検討を進め、学ぶ意欲を高め、個に応じたきめ細かな学習指導と学習習慣の確立に努めます。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容		市教委評価	学校評価	
授業改善の推進	千歳市学力向上検討委員会の提言に基づく取組を充実し、学力向上のための授業改善を積極的に進めます。			A:24校 B:3校 C:0校 D:0校	
個に応じたきめ細かな学習指導	子ども一人ひとりの学習状況に応じたきめ細かな指導を目指し、千歳市独自の学習支援員を配置して、習熟度別少人数指導など、丁寧な学習指導により学力の向上を図ります。			A:26校 B:1校 C:0校 D:0校	
公立千歳科学技術大学との連携による学習サポートやeラーニングの活用	公立千歳科学技術大学の学生による長期休業中の学習サポートの実施やeラーニングを活用した取組の推進を図ります。		B	A:9校 B:14校 C:1校 D:1校 対象外：2校	
ICT機器の整備・活用	子どもたちの興味関心を高めるとともに、効果的な学習指導を進めて学力向上を図るために、ICT機器を整備し、その活用を促進します。		A	A:27校 B:0校 C:0校 D:0校	
3 目標指標		現状値(R1)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R7年度調査結果 (R6年度実績)	R12目標値
「授業（国語、算数・数学）の内容はよくわかる、どちらかといえばわかる」と回答した児童生徒の割合		小6 82.0% 中3 76.4%	85.0%(B) 76.2%(B)	85.7%(B) 78.3%(B)	小6 90%以上 中3 90%以上
全国学力・学習状況調査の全国平均と比較した正答率の割合		小 国語：同様 小 算数：やや低い 中 国語：低い 中 数学：低い	97.6%(B) 93.4%(B) 96.4%(B) 89.0%(B)	99.6%(B) 97.5%(B) 94.5%(B) 95.4%(B)	小 全国比同様以上 中 全国比同様以上
「平日、1日当たりの家庭学習時間が1時間以上」と回答した児童生徒の割合		小6 62.8% 中3 65.8%	62.5%(C) 53.0%(C)	61.9%(C) 54.1%(C)	小6 90%以上 中3 100%
4 総括					
令和6年度の実績及び今後の方針・課題（目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）					
<p>授業の改善推進及びその効果については、学力向上検討委員会を中心にモデル校での授業改善の実践検証を行い、検証の成果を「学校・家庭・教育委員会への提言」として発信して市全体での学力向上策の推進に努めた。また、教職員の資質・能力向上を図るため、ICT機器の効果的な活用（517名参加）や、国語科における読解力・記述力の向上（116名参加）をテーマとした研修会を開催した。これらの取組により、小学校では全国平均比で高い正答率が見られるなど一定の成果が確認された一方、中学校を含む全体への波及にばらつきがあり、教職員間の意識差や家庭学習の定着などに課題があるため、今後は、個別支援と家庭学習の促進を両輪とした学習環境づくりを進めるとともに、「探求型・対話型」授業と「習得型・反復型」授業を効果的に使い分ける授業改革を通じて、読解力及び記述力の向上を図る。</p> <p>個に応じたきめ細かな学習指導については、学習支援員を配置した習熟度別少人数指導により、児童生徒の学ぶ意欲を高める指導の充実を図ったほか、公立千歳科学技術大学と連携した学生による長期休業中の学習サポートやeラーニングを活用した取組などを実施した。今後も、基礎・基本の定着を図る「習得型・反復型」の授業として、学習支援員等による算数・数学科の習熟度別少人数指導を一層促進するほか、家庭学習等におけるeラーニングの活用を推進する。</p> <p>ICT機器の整備については、中学校におけるデジタル教科書及び耐用年数を超過している電子黒板の更新等を実施した。引き続き学習用コンピュータの更新など効果的な学習指導を進められる環境整備に取り組む。</p>					
5 外部評価会議委員の意見					
<p>公立千歳科学技術大学との連携を長く続けられており、千歳市の特色ある取組なので、今後も継続していただきたい。また、教育委員会で実施している研修について、千歳市は新卒や他管から転入される教職員の割合が多いので、非常に有効であり、必要な取組であると感じている。</p> <p>◆参考・前年度意見： 読解力・記述力の研修会は、非常に良い取組であり、単発ではなく、例えば前期・後期の年2回開催できると良いと思うので、力を入れてほしいと思います。AIデジタルドリルについては、家庭学習の数値が伸びない現状の突破口になり得るものであり、子どもの勉強する意欲を高める効果が期待できるので、活用の事例研究や、市内各校での活用事例の共有などにより、さらに進めてもらいたいと思います。</p>					

基本目標 1 社会で生きる力を育む教育の推進				
施策項目 3 特別支援教育の充実		担当課	学校教育課	
1 施策の概要				
特別な教育的支援を必要とする児童生徒を的確に把握し、自立に向けた指導が確実に見えるよう、就学に関する丁寧な相談を通じて適切な就学先の決定に努めます。また、教員の知識向上を目的とした研修の実施や特別支援教育支援員等の配置により、特別支援教育体制の充実を図ります。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
「個別の教育支援計画」等の作成と活用	児童生徒の教育的ニーズに応じた「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」を作成し、活用します。		A:27校 B:0校 C:0校 D:0校	
教員研修等の充実	各学校が行う校内研修への支援や、教育委員会主催の研修会の実施、特別支援教育ハンドブックの活用等により、特別支援教育に関する教員の知識向上に努めます。	A		
教育相談、就学相談の実施	教育相談や就学相談の実施により、適切な就学先の決定や、支援の充実に向けた学校・保護者との連携に努めます。	A		
特別支援教育支援員、児童生徒ヘルパー、学校看護師の配置	通常学級には特別支援教育支援員、特別支援学級には児童生徒ヘルパーや学校看護師を配置し、児童生徒の実態に応じて学校生活の支援を行います。	A		
特別支援学級・通級指導教室設置校の拡大	特別支援教育対象の児童生徒数や障がいの実態に応じて段階的に特別支援学級及び通級指導教室設置校を拡大し、多様なニーズに応える教育の実現に努めます。	A		
3 目標指標	現状値(R1)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R7年度調査結果 (R6年度実績)	R12目標値
「個別の教育支援計画」の作成割合	51.7%	74.2%(A)	78.0%(A)	70%以上
発達の課題に関する教育相談、就学相談の件数	年85回	188回(A)	213回(A)	年135回以上
4 総括				
令和6年度の実績及び今後の方針・課題（目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）				
<p>特別な教育的支援を要する児童生徒について「個別の教育支援計画」の作成を進めており、通常学級に在籍する児童生徒に対するその作成割合は78.0%となり前年度より増加した。</p> <p>児童生徒の発達の課題に関連する教育相談、就学相談についても、年々増加傾向にあり令和6年度は年213回実施した。</p> <p>特別支援教育については、施策の目標達成に向けて着実に取組みを進めており、現状の支援体制によって充実が図られているものと評価しているが、市内の児童生徒数が減少傾向にある中、全児童生徒数に占める特別な教育的支援を必要とする者の割合は年々増加しており、障がいのある児童生徒の就学先の確保に関して、教育支援委員会が担う役割の重要度と労力が増している。今後も早期から切れ目のない一貫した支援体制を維持していくことが必要な状況であるため、引き続き各取組みを継続して推進する。</p> <p>また、施設狭隘等の理由により特別支援学級が未設置となっている学校における特別支援学級の早期開設、通級指導教室利用者の増加に対応するため新たな設置校の検討を進めていく。</p>				
5 外部評価会議委員の意見				
様々な取組を進められているので、今後も相談体制の充実などについて、計画的に進めていただきたい。				
◆参考・前年度意見： 目標に対し、高い達成状況であり、教育委員会の取組が適切であり、ニーズをしっかりと掘り起こしていることの結果であると感じます。今後もより良い取組を継続していただきたいと思えます。				

基本目標 1 社会で生きる力を育む教育の推進				
施策項目 4 外国語教育・国際理解教育の充実		担当課	学校教育課・学校指導課	
1 施策の概要				
ALT（Assistant Language Teacher：外国語指導助手）の活用により、小中学校の英語教育の充実を図るほか、アンカレジ市との相互交流事業等の体験的な活動を含めた国際理解教育の推進に努めます。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
ALTを活用した英語授業の充実	市内全小中学校にALTを派遣することで、英語に関する興味関心を高めネイティブイングリッシュに触れる英語授業を推進します。	A	A:27校 B:0校 C:0校 D:0校	
英語の指導方法の工夫	小中連携により中学校の英語科教員が小学校で授業を行うことやデジタル教科書等のICT機器を活用して指導を行うことなど、効果的な指導について研究を進めます。	/	A:25校 B:2校 C:0校 D:0校	
千歳市アクティブスクール事業の推進	千歳市アクティブスクール事業等を活用して、総合的な学習の時間における国際理解教育の取組や、日常的に英語に触れる教材を整備するなどの取組が実施できるようにします。		A:25校 B:2校 C:0校 D:0校	
姉妹都市や姉妹校との交流事業の推進	サンドレイク小学校やミアーズ中学校との交流を実施して、外国の人たちとの交流を体験する事業を支援します。	B	A:7校 B:4校 C:2校 D:1校 対象外：13校	
帰国・外国人児童生徒への支援の実施	日本語によるコミュニケーションが十分に行えない児童生徒の学習・生活の支援を行うため、支援ボランティアを学校に派遣します。	A	/	
3 目標指標	現状値(R1)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R7年度調査結果 (R6年度実績)	R12目標値
英検 3 級相当以上の英語能力を有する中学校 3 年生の割合	22.5%	47.3%(B)	38.0(C)	50%以上
「英語の勉強が好きだ、どちらかといえば好きだ」と回答した児童生徒の割合	小 6 — 中 3 50.9%	74.7(A) 47.6(C)	69.9(B) 調査項目なし	小 6 70%以上 中 3 60%以上
4 総括				
令和 6 年度の実績及び今後の方針・課題（目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）				
<p>小中学校の英語授業支援として、ALT（外国語指導助手）の体制維持に努めたほか、小学校低学年の外国語活動を支援する市民講師の派遣を行ってきたところであるが、目標指標としている「英検 3 級相当以上の英語能力を有する中学校 3 年生の割合」が令和 5 年度実績と比較し、減少となった。</p> <p>令和 7 年度においては、英語教育の充実を図るため、小学校のALTを 1 名増員し、体制を拡大したところであり、今後においても、適正配置についての検討を行うなど、英語教育の指導の工夫を図るとともに、小学校で一部導入されている英語専科教員による授業実践の成果を各校と共有することで、授業改善に取り組むほか、中学校においては、ALTの活用等により、目標指標である「英検 3 級相当以上の英語能力を有する中学校 3 年生の割合」の上昇を目指す。</p>				
5 外部評価会議委員の意見				
<p>ラピダス社の進出等もあり、今後、外国人の児童生徒が増えていくことが予想されると思うので、何らかの対策をしていかなければならないと感じる。よろしくお願ひしたい。</p> <p>◆参考・前年度意見： ALT等の人材確保等に尽力しており、取組の結果、小学校では「英語の勉強が好き」な子どもが増えており、着実に成果を上げている印象です。英語に対する興味・関心を持った子どもが中学校へ進み、高校への進学時の好影響につながることを期待します。</p>				

基本目標 1 社会で生きる力を育む教育の推進						
施策項目 5 情報教育の充実		担当課	企画総務課・学校指導課			
1 施策の概要						
学習者用コンピュータや電子黒板などのICTを活用したわかりやすい授業の実践とそれらの活用能力の育成を図ります。						
2 主な取組及び具体的な内容						
主な取組		具体的な内容		市教委評価	学校評価	
教員のICT活用能力向上支援体制の充実		教員のICT活用能力向上のため、教員への研修の充実を図るとともに、ICT支援員を配置し、学校訪問によるサポート体制を充実します。		A		
ICT機器の整備・活用（再掲）		子どもたちの興味関心を高めるとともに、効果的な学習指導を進めて学力向上を図るために、ICT機器を整備し、その活用を促進します。		A	A:27校 B:0校 C:0校 D:0校	
3 目標指標			現状値(R1)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R7年度調査結果 (R6年度実績)	R12目標値
ICT機器の応用的な活用を行う教員の割合			97.4%	89.2%(B)	88.3%(B)	99%以上
「授業で週1回以上コンピュータなどのICTを使用した」と回答した児童生徒の割合			小6 48.3% 中3 27.6%	92.7%(B) 95.3%(B)	95.3%(B) 92.5%(B)	小6 100% 中3 100%
4 総括						
令和6年度の実績及び今後の方針・課題（目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）						
<p>令和6年度研修会は、夏季と冬季の長期休業中に各校のICT担当教員を対象として、「ICTソフト（ミライシード）の紹介」や「生成AI」をテーマに選定して実施した。</p> <p>アンケート結果によると、ICTソフトの事例発表が参考になった意見のほか、生成AIを授業や校務に活用したい意向を示した教員が4割を超えるなど関心の高さをうかがえた。</p> <p>実際、小中学校全校へのICT機器等の活用状況に係る調査結果においても、教員のICT活用能力について「ほとんど活用できない」者はなく、全ての者が「基本以上の活用ができる」状況を確認している。</p> <p>今後の研修については、デジタル教科書の新機能に関連する研修や本市で導入しているソフトウェア等を使用した学習者用コンピュータの利活用方法等についてテーマ選定していきたい。</p> <p>なお、ICT活用支援業務委託によりICT支援員を各学校に配置しており、ICT機器の操作方法の指導支援や授業の教材作成の補助により支援体制の充実を図っている。</p> <p>ICT機器の整備については、デジタル教科書の購入のほか液晶型電子黒板を34台更新した。</p> <p>また、学習者用コンピュータは令和7年度から複数年をかけて更新する予定であるが、校務用PCの更新時期も到来しており、教育情報機器整備基金（令和2年度創設）を活用して授業や校務に支障が生じないよう円滑な更新を進める。</p>						
5 外部評価会議委員の意見						
ICT機器の整備・更新については、計画的に進められていると聞いていますので、引き続き取り組んでいただきたい。						
◆参考・前年度意見：						
ICT機器の応用的な活用を行う教員の割合が下がっていることは、先生がより高いハードルを自身に課している表れと思いますが、ICT教育の普及状況については、先生よりも子どもたちの反応の方が素直な結果であると思います。千歳市では、「ICTを活用した」子どもの割合が非常に多く、良い方向に進んでいると思いますので、ICT支援員等の協力を得ながら引き続き推進していただきたいと思います。						

基本目標1 社会で生きる力を育む教育の推進					
施策項目6 キャリア教育・体験的な活動の充実		担当課	学校教育課・学校指導課		
1 施策の概要					
児童生徒一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを目的として、多様な体験的活動を取り入れながら、人間関係形成能力、情報活用能力、将来設計能力、意思決定能力の育成につながる教育活動を推進します。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容		市教委評価	学校評価	
千歳市アクティブスクール事業の推進	千歳市アクティブスクール事業等を活用して、総合的な学習の時間等において、千歳市の自然や人材等を活用して様々な分野で体験的な学習に取り組めるようにします。		A	A:27校 B:0校 C:0校 D:0校	
職場体験・就業体験の推進	社会人・職業人として自立していけるように、職場体験や就業体験を通じて学ぶことや働くことの意義を理解させるとともに、家庭・地域・企業等の協力を得て、社会的に自立できる能力の向上を図ります。			A:18校 B:8校 C:1校 D:0校	
3 目標指標		現状値(R1)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R7年度調査結果 (R6年度実績)	R12目標値
職場見学や職場体験活動を行っている学校の割合		小 62.5% 中 100%	100%(A) 100%(A)	75%(A) 100%(A)	小 70%以上 中 100%
将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導を行っている学校の割合		小 87.6% 中 100%	100%(A) 100%(A)	調査項目なし 調査項目なし	小 90%以上 中 100%
4 総括					
令和6年度の実績及び今後の方針・課題（目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）					
<p>小中学校におけるアクティブスクール事業等の体験的活動や、将来の子どもたちの社会的・職業的な自立のため、企業等の協力を得ながら、職場体験・就業体験を実施した。</p> <p>今後も、児童生徒が自ら考え行動する力を養うため、アクティブスクール事業等の体験活動の実施を継続するとともに、生きる力を育む多様な教育活動の機会を充実させるため、企業や地域等の協力を得て、学ぶことや働くことの意義を理解させるための職場体験や就業体験などのキャリア教育推進を図る。</p>					
5 外部評価会議委員の意見					
特になし					
<p>◆参考・前年度意見：</p> <p>学校の近隣に立地する企業に興味を持つ可能性は高いと思いますが、へき地も含め、幅広い企業と連携していることは良いことであると思います。</p>					

基本目標1 社会で生きる力を育む教育の推進				
施策項目7 防災・安全教育の充実		担当課	学校教育課	
1 施策の概要				
防災、防犯、交通安全など、児童生徒、教職員の安全のための体制を整備するとともに、日常的な児童生徒への指導を通して、子どもたちが自分で自分の身を守る知識を習得できるような教育を推進します。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
学校安全マニュアルの整備	学校において防災マニュアルや防犯マニュアルなどの安全マニュアルを整備し、必要に応じて見直しを加えることで、随時学校安全体制の確認を行います。		A:25校 B:2校 C:0校 D:0校	
防災意識を高める防災教育の充実	過去の災害における貴重な教訓を伝えるとともに、災害に直面した際に、適切に判断し主体的に行動できるよう、子どもたちの危険回避能力の育成に努めます。		A:24校 B:3校 C:0校 D:0校	
避難訓練の充実	保護者引き取り型避難訓練や地域町内会等との合同避難訓練など、避難訓練の充実に努めます。		A:27校 B:0校 C:0校 D:0校	
交通安全教育の充実	子どもたちの交通事故防止のため、交通安全知識や交通ルールを習得させ、事故にあわない行動を徹底させる指導を行います。		A:27校 B:0校 C:0校 D:0校	
防犯教育の充実	警察や警備会社と連携を図るなどして、効果的な防犯教育の実施に努めます。		A:25校 B:2校 C:0校 D:0校	
3 目標指標	現状値(R1)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R7年度調査結果 (R6年度実績)	R12目標値
学校安全に関して、教職員に対する校内研修の実施や校外研修への派遣を行った学校の割合	小 100% 中 100%	100%(A) 100%(A)	100%(A) 100%(A)	小 100% 中 100%
通学路の安全点検を実施している学校の割合	小 100% 中 85.7%	100%(A) 100%(A)	100%(A) 100%(A)	小 100% 中 100%
4 総括				
令和6年度の実績及び今後の方針・課題（目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）				
<p>防災教育、避難訓練、交通安全教育、防犯教育等を実施したほか、千歳市通学路交通安全対策専門部会による通学路合同点検を実施した。</p> <p>今後も必要に応じて学校安全マニュアルに見直しを加えるほか、引き続き、防災・防犯、交通安全など、児童生徒や教職員の安全のための体制を整備するなど、日常的な児童生徒への指導を通して、子どもたちが自分で自分の身を守る知識を習得できる教育を推進する。</p>				
5 外部評価会議委員の意見				
千歳市防災学習交流施設そなえーるは、非常に良い施設なので、市内小学校等で有効に利用していただきたい。				
◆参考・前年度意見： 適切に取り組んでいると思います。				

基本目標2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進				
施策項目8 道徳教育の充実		担当課	学校指導課	
1 施策の概要				
小中学校における道徳教育について、子どもたちがよりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標として、児童生徒の発達段階に応じて、特別の教科 道徳を中心に学校の教育活動全体を通じて行います。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
特別の教科 道徳の指導の充実	各学校における指導方法の研究・実践や研修などを通じて、特別の教科 道徳の指導の充実を図ります。		A:26校 B:1校 C:0校 D:0校	
各教科等における道徳教育の推進	各学校において道徳教育の全体計画を定め、国語科、社会科、総合的な学習の時間や特別活動などを通じ、教科等それぞれの特性に応じた道徳教育を推進します。		A:20校 B:7校 C:0校 D:0校	
人権教室の推進	地域の人材等を活用した人権教室を実施し、人権に関する正しい理解や自他を尊重し思いやる心を育む指導を推進します。		A:26校 B:1校 C:0校 D:0校	
3 目標指標	現状値(R1)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R7年度調査結果 (R6年度実績)	R12目標値
学校生活の中で、児童生徒一人ひとりのよい点や可能性を見つけ評価する取組をよく行った学校の割合	小 62.5% 中 87.5%	100%(A) 100%(A)	調査項目なし 調査項目なし	小 70%以上 中 100%
特別の教科 道徳において、児童生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしている学校の割合	小 75.0% 中 50.0%	100%(A) 100%(A)	100%(A) 100%(A)	小 80%以上 中 75%以上
4 総括				
令和6年度の実績及び今後の方針・課題（目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）				
<p>本施策では、児童生徒の道徳性の育成を目指し、特別の教科「道徳」の充実とともに、各教科・活動との関連を図った全体的な道徳教育の推進に取り組んできた。</p> <p>令和6年度は、学校訪問等を通じた指導助言や、道徳教育の全体計画に基づく授業実践の支援を継続し、各校における計画的な取組の定着が見られた。</p> <p>また、人権教室の実施や道徳授業に関する研修等により、児童生徒が自らの問題として考え話し合う授業づくりが進展し、教職員の評価も全体として良好であった。</p> <p>一方で、授業の深まりや実践の質には学校間で差が残っており、道徳教育の目的を教職員間でより深く共有する必要がある。</p> <p>今後は、各学校の学校経営グランドデザインや全体計画に基づいて道徳教育が的確に推進されるよう、研修機会の充実を図るとともに、いじめの撲滅や情報モラル教育を進める中で、道徳科の授業を中核とした道徳教育の充実が図られるよう、全体計画や教育課程の改善にも取り組んでいく。</p>				
5 外部評価会議委員の意見				
特になし				
<p>◆参考・前年度意見：</p> <p>道徳は社会生活において重要な項目であり、近年、オリンピックなどにおける誹謗中傷をはじめとするモラルの低下などが増えており、道徳の素材として、情報モラル教育の比重が大きくなっているのではないかと思いますので、そういった部分も視野に入れながら進めていただきたいと思います。</p>				

基本目標2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進				
施策項目9 いじめ・不登校に対する取組の充実		担当課	青少年課	
1 施策の概要				
千歳市いじめ防止基本方針に基づき、いじめ根絶に向けて、いじめの未然防止及び早期発見・早期対応に向けた取組の推進や、不登校児童生徒の学校復帰を目指すなど、いじめ・不登校問題への取組の充実を図ります。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
「なかよしさわやかDAYいじめシンポジウム」事業の実施	児童生徒からの提言発表や全体討論、講演会などを通じて、学校、家庭、地域が連携し、いじめの問題について共通理解を図るとともに、いじめ防止の普及啓発に努めます。	A	A:25校 B:2校 C:0校 D:0校	
子どもの人権問題事業の情報提供・教室の実施	人権擁護委員が全小中学校に出向き、命や思いやりの大切さ、差別やいじめのない社会の大切さなどについての指導を行い、児童生徒の人権意識の向上に努め、いじめの未然防止を図ります。			
学校適応指導教室「おあしす」の充実	学校生活に適應することが困難な児童生徒に対して、居場所となる教室を開設し、体験活動や集団活動を通じて、適應能力の向上を図り、一日も早い学校復帰を支援します。	A	A:21校 B:3校 C:0校 D:0校 対象外：3校	
情報モラル教育の推進	インターネット上で個人情報の漏洩やいじめなど、教職員がネットトラブルに迅速に対応できるよう努めるとともに、保護者等へ啓発しながら情報モラル教育を推進します。		A:22校 B:5校 C:0校 D:0校	
学校いじめ防止基本方針の推進	いじめの防止等のため策定した、学校いじめ防止基本方針に基づき、いじめの未然防止及び早期発見・早期対応に向け、定期的ないじめに関する調査を実施する等、総合的かつ効果的に取組を進めます。	A	A:26校 B:1校 C:0校 D:0校	
3 目標指標	現状値(R1)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R7年度調査結果 (R6年度実績)	R12目標値
いじめ解消率	99.0%	98.6%(B)	98.1%(B)	100%
不登校児童生徒が学校復帰（完全登校及び不定期登校）した割合	66.5%	91.1%(A)	73.7%(A)	72%以上
4 総括				
令和6年度の実績及び今後の方針・課題（目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）				
<p>不登校児童生徒数については、これまで年々増加傾向にあったものの、令和6年度は中学校における不登校生徒数が減少した（219人、前年度比▲25人）。</p> <p>これは千歳中学校をモデル校とした「不登校児童生徒に対する校内教育支援センター実証事業」など、各校が別室登校に積極に取り組んだほか、スクールソーシャルワーカーの増員（2名→3名）により、よりきめ細かい対応が可能となったことが影響していると捉えているが、依然として不登校児童生徒数の全国平均を上回っており、今後も対応を強化していく必要がある。</p> <p>通級児童生徒が自立への一歩を踏み出す手助けや、学校に復帰するきっかけを作る場所としての適応指導教室における取組の重要性はますます高まっており、引き続き学校や関係機関、家庭との連携を図り、いじめ・不登校等の問題の未然防止、早期対応に努めていくことが重要である。</p>				
5 外部評価会議委員の意見				
<p>中学校で不登校生徒数が減少したのは取組成果の表れであると思うが、不登校の原因は様々であると思うので、今後も校内支援センター事業の継続、また、スクールソーシャルワーカーや適応指導教室おあしすと連携を図りながら、引き続き取組を進めていただきたい。</p> <p>◆参考・前年度意見： 学校へ復帰した児童生徒の割合が非常に高く、素晴らしい結果であると思います。適応指導教室に通う子どもたちの中にも、頑張って普通教室に戻ることに意欲的な子どもが増えてきているということだと思いますので、引き続き頑張ってくださいと思います。</p>				

基本目標2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進				
施策項目10 ふるさと教育の充実		担当課	学校教育課・学校指導課	
1 施策の概要				
各学校において、地域の人材等と連携しながら、固有の歴史や文化を学ぶことでふるさとへの愛着や誇りを高め、地域を支える次世代の育成を推進します。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容		市教委評価	学校評価
千歳市アクティブスクール事業の推進	千歳市アクティブスクール事業等を活用して、地域の人材を講師に招いた歴史・文化学習や体験的な活動など、特色ある教育活動を推進します。			A:27校 B:0校 C:0校 D:0校
小学校社会科副読本「私たちの千歳」の活用	千歳の歴史や環境、経済等に関する副読本「私たちの千歳」を定期的に改訂し、小学校社会科の指導に活用します。		A	A:18校 B:0校 C:0校 D:0校 対象外：9校
アイヌ文化学習の推進	千歳アイヌ協会などの協力を得て、アイヌの文化や伝統などについて学ぶ活動を推進します。			A:18校 B:8校 C:1校 D:0校
発展する千歳のまちを知る取組	空港、工場、公共施設（消防署、リサイクル、防災等）などの社会見学を行い、地域のことを知る取組を推進します。			A:22校 B:4校 C:1校 D:0校
3 目標指標	現状値(R1)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R7年度調査結果 (R6年度実績)	R12目標値
「今住んでいる地域の行事に参加している、どちらかといえば参加している」と回答した児童生徒の割合	小6 68.2% 中3 44.8%	57.8%(B) 34.5%(C)	調査項目なし 調査項目なし	小6 70%以上 中3 50%以上
「地域や社会をよくするために何をすべきか考える、どちらかといえば考える」と回答した児童生徒の割合	小6 44.9% 中3 37.3%	78.5%(A) 62.0%(A)	87.4%(A) 77.5%(A)	小6 55%以上 中3 40%以上
4 総括				
令和6年度の実績及び今後の方針・課題（目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）				
令和6年度については、副読本「私たちの千歳」の改定年度であったことから、千歳の歴史や環境、経済等に関する内容の追加修正や、関連資料に誘導するためのQRコードを盛り込み、副読本とICT機器類との親和性を深めるなどの見直しを行った。このほか、小中学校においてアクティブスクール事業を活用したアイヌ文化学習などの取組や、小学校では、空港・市内工場・公共施設等における社会見学・体験学習等を実施した。 今後も、地域との連携を深めながら、本市、さらには北海道の歴史・文化への理解を深め、人々の生活に触れる活動等を推進するほか、「私たちの千歳」を活用することで、引き続き「ふるさと千歳」への愛着や誇りを高め、地域を支える次世代の育成を図る取組を推進する。				
5 外部評価会議委員の意見				
キウス周堤墓群ガイダンスセンターが整備され、素晴らしい施設となっているので、是非小中学生に活用していただきたい。  ◆参考・前年度意見： 全国的にも地域の行事への参加率は減少しているので、ある程度仕方がないと感じますが、地域のことを考える子どもが非常に増えており、良い傾向であると感じます。地域ボランティアについては、高校の部活動などで実施しているところもあり、中学校で実施することはハードルが高い部分があると思いますが、何か実施できる機会を設けることができたら良いのではないかと思います。				

基本目標2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進				
施策項目11 読書活動の推進		担当課	文化施設課	
1 施策の概要				
児童生徒の読書への関心を高め、自主的な読書活動を行うことができるよう、学校・家庭・地域が連携した読書活動を推進するとともに、市立図書館や学校図書館における読書環境の充実を図ります。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
一斉読書の推進	「朝読書」などによる一斉読書等を継続し、読書習慣の確立と読書指導のさらなる充実を図ります。		A:24校 B:3校 C:0校 D:0校	
学校図書館を活用した学習・読書指導体制の充実	各教科や特別活動、総合的な学習の時間等を通して、司書教諭等を中核とした学校の指導体制の充実を図ります。		A:27校 B:0校 C:0校 D:0校	
家庭・地域・団体などとの連携による読書活動の推進	家庭、ボランティア、民間団体、市立図書館などとの連携・協力により、子どもたちの読書活動の取組を推進します。	B		
学校図書館司書の配置の拡充	学校図書館の機能を強化し、子どもたちの読書への興味や関心を向上させ、読書活動や学習活動を促進するため、学校図書館司書の配置を拡充します。	B		
3 目標指標	現状値(R1)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R7年度調査結果 (R6年度実績)	R12目標値
「朝読書」などの一斉読書の時間を設けている学校の割合	小 100% 中 100%	100%(A) 100%(A)	100%(A) 100%(A)	小 100% 中 100%
「家で、普段、1日当たり10分以上読書をしている」と回答した児童生徒の割合	小6 63.3% 中3 51.6%	62.8%(C) 49.0%(C)	調査項目なし 調査項目なし	小6 80%以上 中3 70%以上
学校図書館司書の配置人数	2校に1人	1.8校に1人(B)	1.7校に1人(B)	1.5校に1人以上
4 総括				
令和6年度の実績及び今後の方針・課題（目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）				
令和6年度の実績は、朝読書などの一斉読書の時間を設けている学校について、前年同様、令和6年度も引き続き小中学校全校で実施ができた。 また、学校図書館司書の配置については、毎年、計画的に配置人工を増やしている。 今後の方針・課題として、児童生徒の読書への関心を高めるため、朝読書などによる一斉読書等を継続するとともに、学校・家庭・地域が連携した読書活動を推進することにより、読書環境の充実を図る学校図書館司書の配置拡充により学校図書館機能を強化していく。				
5 外部評価会議委員の意見				
各校で様々な工夫した活動をされており、学校図書館司書の活用がとても教育活動に有効であると思っている。 令和元年度は2校に1人、現在1.7校に1人の配置ということで、令和12年度目標では1.5校に1人と計画されているので、今後も配置を進めていただきたいと思う。学校図書館司書が1校に1人いるかいないかでは環境が大きく変わり、利用がしやすくなると共に、先生の負担も少なくなるので、よろしく願いたい。				
◆参考・前年度意見： 家で読書をしている子どもの割合と、家庭学習を1時間以上している子どもの割合が、リンクしているように思っており、ともに課題がある部分だと感じています。家に読みたい本がある環境の子は、容易に家での読書ができ、読みたい本がない子どもは学校図書館でたくさん本を借りれば良いですが、学校図書館の利用のしやすさについて、子どもたちは休み時間は遊びたいので、利用時間などの工夫ができると良いと思います。				

基本目標2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進					
施策項目12 体力・運動能力の向上		担当課	学校指導課		
1 施策の概要					
体育・保健体育の授業の改善を図るとともに、新体力テストの種目を活用した体力づくりを推進し、児童生徒の健康に対する意識を高め、運動習慣や生活習慣の改善を図ります。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価		
コーディネーション運動の推進	体を動かす喜びを感じ、運動に対する認識や生活の在り方考えることのできる体育科の授業を目指し、コーディネーション運動を推進します。	A	A:21校 B:6校 C:0校 D:0校		
新体力テストの実施	新体力テストの実施学年を拡大し、結果を記録して児童生徒や家庭にフィードバックして体力・運動能力や健康に対する意識を高めるとともに、指導の充実を図ります。		A:26校 B:1校 C:0校 D:0校		
「新体力テストの実施方法改善に向けた実践事業」の成果の普及	指定校の優れた実践の普及を図り、新体力テストに関する各校の取組の一層の充実を図ります。	A	A:24校 B:3校 C:0校 D:0校		
3 目標指標		現状値(R1)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R7年度調査結果 (R6年度実績)	R12目標値
「体育・保健体育の授業は楽しい、やや楽しい」と回答した児童生徒の割合		小5男95.3% 小5女92.1% 中2男89.6% 中2女79.5%	94.3%(B) 90.6%(B) 87.9%(B) 81.2%(B)	93.6%(B) 86.7%(B) 92.6%(B) 85.8%(B)	小5男100% 小5女100% 中2男100% 中2女100%
「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の「実技に関する調査」の対象学年である小学5年、中学2年の合計T得点(※全国平均を100とした場合の千歳市の得点)		小5男49.7(合計) 小5女50.3(合計) 中2男49.8(合計) 中2女49.2(合計)	50.2点(A) 50.9点(A) 50.1点(A) 49.4点(B)	48.2点(B) 47.2点(B) 50.7点(A) 49.2点(B)	合計T得点50以上
運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向にある児童生徒向けの取組、または性別に応じた取組を行っている学校の割合		小5 88.2% 中2 77.8%	88.8%(B) 88.9%(B)	100.0%(A) 88.9%(B)	小5 100% 中2 100%
「1日にテレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ている時間が2時間未満」と回答した児童生徒の割合		小5男36.4% 小5女49.2% 中2男29.7% 中2女30.8%	30.5%(C) 37.7%(C) 22.7%(D) 20.8%(D)	24.0%(D) 31.1%(C) 20.7%(D) 21.1%(D)	小5男60%以上 小5女60%以上 中2男50%以上 中2女50%以上
4 総括					
令和6年度の実績及び今後の方針・課題(目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)					
<p>本施策では、児童生徒の体力・運動能力の向上に向けて、新体力テストを活用した授業改善とフィードバックの充実、及び苦手意識や性差に配慮した取組の推進を図ってきた。</p> <p>令和6年度は、実施方法改善に関する指定校の優れた実践をもとに、年3回の実務者会議を通じて他校への普及が進められた。また、「体育の授業が楽しい」と感じる児童生徒の割合が高く、運動に前向きに取り組む意識はおおむね良好であった。一方で、体力テストの得点には学年・性別によるばらつきがあり、特に小学生男子では得点の低下が見られるなど、課題も残る。</p> <p>また、依然としてスクリーンタイム(動画やテレビ、ゲームなど)の長さが体力形成に与える影響も懸念される。今後は、楽しさと達成感を実感できる体育の工夫に加え、生活習慣の改善やICTとのバランスに配慮した指導の充実を図るとともに、スクリーンタイムの長時間傾向を踏まえ、千歳市PTA連合会や学校と連携し、家庭での生活習慣改善に向けた啓発にも努めていく。</p> <p>また、全市的な取組共有と指導力の向上を通じて、すべての児童生徒が意欲的に体を動かせる環境づくりを一層推進していく。</p>					
5 外部評価会議委員の意見					
<p>体育が苦手な子は一定割合いるので、体育をやってみて楽しかったとか、これができるようになったという達成感などを向上させることが非常に大事であると思う。指定校で実践を行っているので、こういった指導をしたらできるようになった、こういった指導が大事という好事例を広めていただきたい。</p> <p>◆参考・前年度意見： 新体力テストの結果については非常に良い結果となっており、取組の成果が表れていると思います。全国的にスマートフォンの所有率が非常に伸びている中、正しい使用方法や関わり方を、学校やPTAなど、大人が教えてあげなければならないと思います。逆にスマートフォンを所有していない子どもが、周りから冷たくされたりするなど、不利益にならないような学校環境であってほしいと思います。</p>					

基本目標 2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進				
施策項目 1 3 食育の推進		担当課	学校給食センター・学校指導課	
1 施策の概要				
児童生徒が食に関する正しい知識や食習慣を身に付けるよう、食に関する指導を充実させるとともに、学校給食における地場産品の活用を促進するなど、安全・安心な学校給食の充実に努め、学校における食育を推進します。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容		市教委評価	学校評価
食に関する指導の充実	児童生徒が食の重要性を理解し、望ましい食習慣を育成するため、栄養教諭を中心として、家庭とも連携しながら食に関する指導を推進します。		A	A:23校 B:4校 C:0校 D:0校
「早寝早起き朝ごはん」運動の推進	家庭における食に対する関心及び理解を深め、規則正しい生活習慣が形成されるよう、「早寝早起き朝ごはん」運動の啓発を促進します。		A	A:22校 B:5校 C:0校 D:0校
学校給食における地産地消の推進	食への感謝や地元の食文化への理解を深めるとともに、健やかな体を育成するため、学校給食における地場産品の活用を推進します。		B	
安全・安心な学校給食の提供	衛生管理体制の強化と給食施設の充実に努めるとともに、多様な献立や食物アレルギーに対応した学校給食を提供するため、新学校給食センターの整備を推進します。		A	
3 目標指標	現状値(R1)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R7年度調査結果 (R6年度実績)	R12目標値
食に関する指導の実施回数	139回	186回(C)	185回(C)	307回以上
「朝食を毎日食べている、どちらかといえば食べている」と回答した児童生徒の割合	小6 93.7% 中3 91.4%	90.8%(B) 90.0%(B)	91.3%(B) 89.3%(B)	小6 100% 中3 100%
学校給食使用食材（野菜類）における地場産品利用割合	31.5%	23.2%(D)	25.3%(C)	50%以上
4 総括				
令和6年度の実績及び今後の方針・課題（目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）				
<p>食に関する指導については、栄養教諭の配置校については各学校実態を踏まえ、年間計画に沿って全学年の指導を実施し、それ以外の小学校については、1、3、4、6年生の4学年を対象に、中学校については1年生を対象に実施した。</p> <p>今後も児童生徒が食の重要性を理解し、健やかな体の育成ができるよう学校・栄養教諭と協力し指導を継続していく。</p> <p>また、学校給食や地元食材への児童生徒の興味関心を高めるために令和6年度から給食レシピコンテストを開催したことで児童生徒が給食と向き合い、食育の推進に繋げることができた。</p> <p>生活習慣の改善（早寝早起き朝ごはん）をめざして、生活リズムチェックや市P連家庭生活宣言の取組を行った。</p> <p>地場産品利用割合については、農産物は天候、価格高騰等により産地に影響がでるが、地元産の農産物が供給できる時期については積極的に取り入れていくよう努めていく。</p> <p>また、安全で安心な学校給食を提供するため、徹底した衛生管理ができる新学校給食センターの整備を推進する。</p>				
5 外部評価会議委員の意見				
<p>学校給食センターでは、昨年度、揚げパンの動画作成など様々な取組をされており、レシピコンテストの実施は、子どもたちの興味・関心を高めるのに有効であったと思うので、今後も続けていただきたいと思う。</p> <p>地場産品の利用については、色々難しい部分はあるかなと思うが、可能な限り確保に努めていただきたい。</p> <p>新学校給食センターの整備については、計画的に進めていただければと思う。</p>				
◆参考・前年度意見：				
<p>地場産品の利用は天候の影響もあり、食材の確保等が大変な部分もありますが、頑張ってくださいと思います。朝食を食べている子どもの割合が年々減少していることについては、親の意識によるものだと思います。家庭への情報提供などが必要になるので、あきらめずに根気強く頑張ってくださいと思います。</p>				

基本目標 2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進					
施策項目 1 4 健康教育の推進		担当課	学校教育課		
1 施策の概要					
児童生徒が身近な生活における健康に関する知識を身に付けるとともに、必要な情報を自ら収集し、適切な意思決定や行動選択を行い、積極的に健康な生活を実践することのできる資質・能力の育成に努めます。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価		
学校健康診断の実施	子どもたちの病気や健康上の問題の早期発見のため、学校保健安全法に定める学校健康診断を適切に実施します。	A	A:27校 B:0校 C:0校 D:0校		
性教育・薬物乱用防止教育の充実	関係機関と連携し、発達段階に応じて、性や薬物など健康に関わる問題に対する正しい知識や規範意識を確実に身に付け、適切な行動がとれるよう、性教育・薬物乱用防止教育の充実を図ります。	/	A:27校 B:0校 C:0校 D:0校		
学校保健委員会の充実	児童生徒が心身の健康の保持増進を図るための実践力を身に付けることができるよう、学校全体で共通認識の下、学校保健計画に基づく学校保健活動の充実を図ります。		A:26校 B:1校 C:0校 D:0校		
フッ化物洗口の実施	児童のむし歯予防を図るため、小学校におけるフッ化物洗口を実施します。		B	A:17校 B:0校 C:0校 D:0校 対象外：9校	
感染症の予防に関する指導の実施	子どもたちが健康で安全な生活を送るために、感染症について理解し予防のための適切な行動がとれるよう、発達段階を踏まえた指導を実施します。	A	A:25校 B:2校 C:0校 D:0校		
3 目標指標		現状値(R1)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R7年度調査結果 (R6年度実績)	R12目標値
フッ化物洗口を実施している児童の割合		84.0%	72.8%(B)	75.0%(B)	90%以上
学校保健委員会を設置している学校の割合		小 94.1% 中 100%	100%(A) 100%(A)	100%(A) 100%(A)	小 100% 中 100%
4 総括					
令和6年度の実績及び今後の方針・課題（目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）					
<p>小中学校において、法令等に基づく学校健康診断を実施したほか、小学校におけるフッ化物洗口については、令和4年までは新型コロナウイルス感染症の影響に伴い実施率が低かったものの、令和5年度以降においては、徐々に実施率が回復傾向にある。</p> <p>このほか、性教育・薬物乱用防止教育、感染症予防等に関する教育を実施した。</p> <p>児童生徒が身近な生活における健康に関する知識を身に付けるとともに、必要な情報を自ら収集し、適切な意思決定や行動選択を行い、積極的に健康な生活を実践することのできる資質・能力の育成に努めていく。</p> <p>また、フッ化物洗口については、令和5年度に回復した実施率を維持しながら、引き続き児童生徒のむし歯予防を図るため、保護者の理解を得ながら継続した取組として実施していく。</p>					
5 外部評価会議委員の意見					
<p>課題が多様化している中で、学校としてどうするべきか、策がなかなかとりづらい部分も増えてきているので、教育委員会として取組の事例を学校と共有するなど、働きかけをしていただければと思う。</p> <p>◆参考・前年度意見： 特にありません。</p>					

基本目標 3 学びを支え、つなぐ教育環境の充実				
施策項目 1 5 学校運営の充実		担当課	学校指導課	
1 施策の概要				
児童生徒の実態や各種データ等を踏まえた教育課程を編成するとともに、校内組織体制の改善、PDCAサイクルを確立して学校の活性化を図ります。また、教職員の働き方改革の推進に努めます。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容		市教委評価	学校評価
カリキュラムマネジメントの推進	学校の特色を生かした適切な教育課程の編成・実施・評価・改善を行います。			A:26校 B:1校 C:0校 D:0校
学校指導訪問の充実	児童生徒の姿や各種データに基づいた教育課程の編成や確かな学力を身に付けさせる授業のあり方について、学校訪問を通じて指導・助言を推進します。		A	
教職員の働き方改革の推進	「千歳市立学校における働き方改革推進計画」に基づき、各校における業務改善や実効ある環境づくりに努めます。		B	
3 目標指標	現状値(R1)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R7年度調査結果 (R6年度実績)	R12目標値
児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している学校の割合	小 75.0% 中 62.5%	100%(A) 100%(A)	100%(A) 100%(A)	小 100% 中 100%
指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列している学校の割合	小 50.0% 中 25.0%	調査項目なし 調査項目なし	100%(A) 100%(A)	小 100% 中 100%
業務改善に取り組んでいる学校の割合	小 68.8% 中 62.5%	調査項目なし 調査項目なし	100%(A) 100%(A)	小 100% 中 100%
4 総括				
令和6年度の実績及び今後の方針・課題（目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）				
<p>本施策では、学校運営の質を高めるため、教育課程のPDCAサイクルに基づくカリキュラムマネジメントの推進と、教職員の業務負担軽減を目的とした働き方改革の一体的な推進に取り組んできた。</p> <p>令和6年度は、学校指導訪問を通じて、児童生徒の実態や地域の状況を踏まえた教育課程や授業の改善に関する指導助言を行うとともに、「千歳市立学校における働き方改革推進計画」に基づく校内体制の構築支援を継続した。</p> <p>特に業務改善の取組として、各校の時間外在校等時間の集計結果を市のHPIに掲載し、校長会議等を通じて好事例の共有や交流を図ることで、全体として働き方改革の取組が促進された。</p> <p>教育課程のPDCAによる改善や教科横断的な指導計画の作成が全校で実施されるなど、学校運営の基盤強化に向けた一定の成果が見られた。</p> <p>一方で、教職員の意識や校内実践の具体性には差が残り、持続可能な改善体制づくりが今後の課題である。</p> <p>今後は、業務改善と教育課程の適切な編成を両輪と捉え、校内での対話と検証を通じて、自校の経営課題に主体的に向き合いながら、教職員が安心して教育活動に専念できる働きやすい学校運営の推進を図る。</p>				
5 外部評価会議委員の意見				
<p>管理職も含めて教職員の方々が元気に仕事できるということが、子どもたちにとっても一番良いことだと思う。</p> <p>ただ、学校の教職員の多忙感の軽減については、目に見えるような形では難しい部分があると思うが、今後も引き続き、教職員が働きやすい環境作りに努めていただきたい。</p> <p>◆参考・前年度意見： PDCAサイクルの確立が100%達成ということで、教育委員会の長年の取組の賜物であると思います。働き方改革については、忙しい教頭先生をはじめ、学校の中でも大変なポジションにいる先生がいると思うので、そういった方のケアをしつつ、先生方に意識を持たせる取組を進めていただければと思います。</p>				

基本目標 3 学びを支え、つなぐ教育環境の充実					
施策項目16 学校施設・設備の充実			担当課	企画総務課	
1 施策の概要					
学校施設・設備の改修やICT環境の整備・更新を計画的に実施し、安全で快適な学習環境の整備を推進するとともに、市内小中学校の適正規模・適正配置に努めます。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価		
学校施設・設備の適切な維持管理	学校施設・設備の点検を行い、破損や故障に迅速に対応します。	A	A:27校 B:0校 C:0校 D:0校		
学校施設の計画的な改修	老朽化が進んでいる施設や設備の改修を計画的に進めます。	A	/		
ICT機器の整備・活用(再掲)	子どもたちの興味関心を高めるとともに、効果的な学習指導を進めて学力向上を図るために、ICT機器を整備し、その活用を促進します。	A			A:27校 B:0校 C:0校 D:0校
市内小中学校の適正規模・適正配置	児童生徒数の推移等を踏まえた市内小中学校の適正規模・適正配置に努めます。	B	/		
3 目標指標		現状値(R1)			R6年度調査結果 (R5年度実績)
大規模改修(1校当たり2,000万円を超える工事)の実施校数(各年度の整備数)		2校	5校(A)	5校(A)	2校以上
4 総括					
令和6年度の実績及び今後の方針・課題(目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)					
<p>令和6年度は、緑小学校の屋外階段改修工事(48,555千円)、千歳第二小学校内部改修工事(21,604千円)、北斗中学校の階段改修(40,535千円)、東千歳中学校の講堂(77,176千円)、向陽台中学校のトイレ改修工事(47,278千円)を行った。</p> <p>今後も「学校施設個別施設計画」に基づき、耐用年数や老朽度を踏まえて計画的な改修に努める。</p> <p>また、夏季の暑さ対策として、令和6年度から令和7年度にかけて小中学校のエアコン設置による環境整備を進めている。</p> <p>小中学校の適正規模・適正配置については、宅地開発を含めた児童生徒数の推計などをもとに「学校施設個別施設計画」との整合を図りながら課題の整理と今後の方向性について検討を行う。</p>					
5 外部評価会議委員の意見					
<p>エアコンの設置に関しては、本当に管内の各市町村に先駆けて取り組まれており、非常にすごいことだと思う。計画的に進められているようなので、引き続きよろしくお願ひしたい。</p> <p>◆参考・前年度意見： エアコンの設置など、子どもの快適な学習環境や、安全を確保するため、近隣市と比較しても教育委員会が良く頑張っていると思います。今後、学校側で効果的に運用していき、学習環境が向上することが期待できると思います。適正規模・適正配置については、ラピダスの立地により、8,000人ほどの人口が増えると言われていますが、急激に人口が増えると、その時期は大変になり、学校も混乱することと思うので、しっかりとした取組をお願いしたいと思います。</p>					

基本目標 3 学びを支え、つなぐ教育環境の充実				
施策項目 17 学びのセーフティネットの構築		担当課	企画総務課・学校教育課・青少年課	
1 施策の概要				
社会環境の変化や個々の児童生徒の状態に対応できるよう、専門家や地域の人材を活用した教育相談体制の充実、教育費援助制度の充実を図るとともに、遠距離通学となる児童生徒のためにスクールバス等を運行します。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
スクールカウンセラーの配置	問題行動等の早期対応を図り、児童生徒や保護者、教職員の悩みや不安を解消するため、小中学校に専門的な知識と経験を有するスクールカウンセラーを配置し、学校における教育相談体制の充実を図ります。	A	A:26校 B:1校 C:0校 D:0校	
心の教室相談員の配置	問題行動等の未然防止・早期発見を図るため、児童の身近な相談相手として地域の人材を活用し、小学校に心の教室相談員を配置し、学校における教育相談体制の充実を図ります。	A	A:14校 B:0校 C:0校 D:0校 対象外:13校	
専門相談員及びスクールカウンセラーによる教育相談の実施	スクールカウンセラー未配置校を含めた全市的な対応を図るため、専門相談員の配置及びスクールカウンセラーによる教育相談日の開設など、教育相談体制の充実を図ります。	A		
就学支援の充実	経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対して、必要な援助を行い、適切かつ迅速な就学支援に努めます。	A		
奨学金制度の充実	向学心があり能力があるにもかかわらず、経済的理由により就学が困難な生徒、学生を支援するため、奨学金基金をもとに奨学金を交付し、等しく教育を受ける機会を確保する奨学金制度の充実を図ります。	A		
3 目標指標	現状値(R1)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R7年度調査結果 (R6年度実績)	R12目標値
スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラー・心の教室相談員による相談業務の月平均開設時間数及び年間相談件数	602H 2,016件	739H(A) 3,981件(A)	830H(A) 3,293件(A)	666H以上 2,086件以上
奨学金の交付を希望する生徒・学生のうち選考者数の割合（高校生・大学生）	高校 1.2倍 大学 1.3倍	1.0倍(A) 1.0倍(A)	1.0倍(A) 1.0倍(A)	高校 1.0倍 大学 1.0倍
4 総括				
令和6年度の実績及び今後の方針・課題（目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）				
<p>多様化する児童生徒のいじめ・不登校等の問題に対応するため、スクールソーシャルワーカーを教育委員会に配置するとともに、学校にスクールカウンセラー、心の教室相談員をそれぞれ配置し、児童生徒の成長段階の悩みや不安に応じた相談体制の確立と児童生徒の実情把握に努めている。</p> <p>令和6年度よりスクールソーシャルワーカーを1名増員（2名→3名）したことにより、よりきめ細かい対応が可能となった。</p> <p>経済的理由により就学が困難な家庭に対する就学援助を実施（令和6年度就学援助認定者：1,060名 ※令和7年3月末時点の認定者）している。</p> <p>引き続き、経済的理由により就学が困難な家庭に対して必要な援助を行う就学援助を実施していく。</p> <p>奨学金については、コロナ禍で所得が減少する世帯の増加を考慮して拡大している交付枠を維持し、高い給付率を保った。</p> <p>今後も選考基準に達する者を可能な限り選考できるよう、教育の機会均等の確保に努める。</p>				
5 外部評価会議委員の意見				
<p>相談体制の確立や学校と家庭とのきめ細かな連携が、本当に必要だと思っている。</p> <p>今後も継続して取組を進めていただきたい。</p> <p>就学援助と奨学金については、引き続き適切に運用していただきたい。</p> <p>◆参考・前年度意見： 奨学金制度について、コロナが明け、経済的な安定が見られ、学校を含め社会全体の動きが活発化しておりますが、今後もニーズが増えることも予想できるので、継続した取組をお願いしたいと思います。</p>				

基本目標3 学びを支え、つなぐ教育環境の充実					
施策項目18 教員の研修の推進		担当課	学校指導課		
1 施策の概要					
教職員の資質向上を目的とした校内外の研修、接続する小中学校が連携した研修活動を推進します。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価		
授業改善につながる校内研修の充実	石狩教育局及び学校指導室による学校指導訪問を通じて、学校運営や授業改善について指導・助言を行い研修の充実を図ります。	A	A:26校 B:1校 C:0校 D:0校		
教職員研修の充実	市独自の研修会を充実し、教職員の積極的な参加を促進します。	A	/		
小中学校が連携した研修の充実	義務教育9年間を通して「目指す子ども像」の実現に向け、小中学校が連携した研修の充実を図ります。	A			A:18校 B:8校 C:0校 D:1校
3 目標指標		現状値(R1)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R7年度調査結果 (R6年度実績)	R12目標値
「授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っている」と回答した学校の割合		小 75.0% 中 75.0%	100%(A) 100%(A)	100%(A) 100%(A)	小 100% 中 100%
「教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させている」と回答した学校の割合		小 50.0% 中 62.5%	調査項目なし 調査項目なし	100%(A) 100%(A)	小 100% 中 100%
近隣等の小学校(中学校)と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った学校の割合		小 50.0% 中 25.0%	94.1%(B) 100%(A)	100%(A) 100%(A)	小 100% 中 100%
4 総括					
令和6年度の実績及び今後の方針・課題(目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)					
<p>本施策では、教職員の資質向上と教育の質の改善を目的に、校内研修の充実や市独自の研修体制の整備、小中連携による継続的な学びの推進に取り組んできた。</p> <p>令和6年度は、石狩教育局や市教委による学校訪問を通じて授業改善の助言を行い、千歳市学校課題研究発表会(高台小学校)では、ICTを活用した授業の在り方について協議を深めた。また、小中連携により、義務教育9年間を見通した学びの基盤づくりも進展した。</p> <p>一方、研修の質や運営には学校間で差があり、成果の共有や日常的な活用に課題が残る。</p> <p>今後は、研修を教育活動と直結させる体制づくりを強化するとともに、識者を招いた教職員研修会の開催により、教科や生徒指導に関する実践的な学びの場を提供する。</p> <p>また、石狩教育局の訪問に市教委も同行し、授業改革を支援する機会とするとともに、「千歳市小中連携・一貫教育実施要領」に基づき、各中学校区に応じた9年間の学びの構築に継続して取り組む。</p>					
5 外部評価会議委員の意見					
<p>授業研究は、教職員の資質能力の向上に必要不可欠であると思っているので、教育委員会として研修等の機会を計画的に提供していただければと思う。</p> <p>小中連携については、義務教育9年間を見通してというところで、中学校区ごとに地域の実態があり、一概に同じように進めるのは難しい部分があると思うが、情報などを共有しながら、各中学校区でどのように進めていくのが良いかを、課題などを明らかにしながら進めていただくのが良いと思う。</p> <p>◆参考・前年度意見： 小中連携について、長い期間取組を行っており、数字にも表れてきていると感じます。ICTを中心に取り組んでいるということで、小学校・中学校共通の問題意識も持たれていると思いますので、引き続き頑張っていただきたいと思います。</p>					

基本目標 3 学びを支え、つなぐ教育環境の充実					
施策項目 19 家庭教育支援の充実		担当課	学校教育課・学校指導課		
1 施策の概要					
「千歳市家庭生活宣言」の普及促進や、家庭教育の重要性を啓発する情報提供を行うことなどにより、各家庭が子どもたちの生活習慣、学習習慣の改善に取り組むよう働きかけます。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価		
「千歳市家庭生活宣言」の普及促進	千歳市PTA連合会との連携により「千歳市家庭生活宣言」の普及に努め、生活リズムの改善や学習習慣の定着により、健やかな子どもたちの育成を推進します。		A:23校 B:4校 C:0校 D:0校		
家庭への情報発信	学校は、児童生徒の学習への取組状況等を家庭に伝えるとともに、家庭学習の手引き等を活用し、各家庭が主体性を持って子どもたちへの働きかけを行うよう促します。教育委員会は、子どもたちの生活習慣・学習習慣の改善に資する情報提供を実施します。	B	A:26校 B:1校 C:0校 D:0校		
3 目標指標		現状値(R1)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R7年度調査結果 (R6年度実績)	R12目標値
「朝食を毎日食べている、どちらかといえば食べている」と回答した児童生徒の割合（再掲）		小6 93.7% 中3 91.4%	90.8%(B) 90.0%(B)	91.3%(B) 89.3%(B)	小6 100% 中3 100%
「平日、1日当たりの家庭学習時間が1時間以上」と回答した児童生徒の割合（再掲）		小6 62.8% 中3 65.8%	62.5%(C) 53.0%(C)	61.9%(C) 54.1%(C)	小6 90%以上 中3 100%
4 総括					
令和6年度の実績及び今後の方針・課題（目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）					
各校から家庭へ、子どもたちの生活習慣・学習習慣の改善に資する情報提供を実施した。 今後も、「千歳市家庭生活宣言」の普及促進や、千歳市教育委員会だより「からふる」などを通じて、家庭教育の重要性を啓発する情報提供を行い、各家庭が子どもたちの生活習慣、学習習慣の改善に取り組むよう働きかけを継続する。					
5 外部評価会議委員の意見					
家庭教育は本当に重要であり、様々な取組をされているので、今後も引き続き啓発をしていただきたい。  ◆参考・前年度意見： 学校とPTAとの連携は非常に大事であり、共通の問題意識を持ち始めてきたことは大きな一歩であると感じますので、継続した取組をお願いしたいと思います。					

基本目標3 学びを支え、つなぐ教育環境の充実				
施策項目20 学校と地域の連携・協働の充実		担当課	青少年課・学校指導課	
1 施策の概要				
学校と地域住民等が「子どもをどのように育てていくか」、「どのような教育を実現していくか」という目標やビジョンを共有し、力を合わせて学校運営に取り組む「コミュニティ・スクール」の仕組みを活用し、「地域とともにある学校」の環境づくりを推進します。子どもたちの登下校等の安全管理や学校への不審者侵入など緊急事態発生時に関係機関、地域と小中学校が連携した安全確保のための体制づくりを進めます。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
コミュニティ・スクール活動の充実	コミュニティ・スクールに対する地域の理解を深め、連携を強めることにより、学校課題の解決と充実した教育活動の実践につなげます。		A:23校 B:4校 C:0校 D:0校	
学校からの情報発信	学校だよりの地域町内会への回覧や、地域と連携した取組に関する学校ホームページへの掲載などにより、地域との協働を重視した情報発信に努めます。		A:26校 B:1校 C:0校 D:0校	
「千歳っ子見守り隊」と学校の連携	「千歳っ子見守り隊」とPTA活動、児童会・生徒会活動との交流の場を設けるなど工夫して、取組の充実や発展を目指します。		A:14校 B:4校 C:0校 D:0校 対象外:9校	
安全に関する児童生徒の自主的な活動	校内や通学路の危険箇所や「子ども110番の家」の所在などを調査し、「安全マップ」を作成するなど、自主的な活動を展開します。		A:12校 B:5校 C:1校 D:0校 対象外:9校	
3 目標指標	現状値(R1)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R7年度調査結果 (R6年度実績)	R12目標値
「今住んでいる地域の行事に参加している、どちらかといえば参加している」と回答した児童生徒の割合(再掲)	小6 68.2% 中3 44.8%	57.8%(B) 34.5%(C)	調査項目なし 調査項目なし	小6 70%以上 中3 50%以上
教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っている学校の割合	小 50.0% 中 75.0%	100%(A) 100%(A)	100%(A) 100%(A)	小 75%以上 中 75%以上
千歳っ子見守り隊及び緊急避難所「子ども110番の家」登録件数	594人 1,159件	503人(B) 1,050件(B)	414人(C) 1,040件(B)	600人以上 1,200件以上
4 総括				
令和6年度の実績及び今後の方針・課題(目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)				
学校では、地域のボランティアへ子どもたちがお礼を述べる「感謝のつどい」等を実施するなど、地域との結びつきを深める取組を行っている。				
地域と学校の顔の見える関係の構築は、児童生徒の安全に対する意識の向上を図るためにも必要であることから、「千歳っ子見守り隊」や「子ども110番の家」については、引き続き、各校区の実状に即した適切な登録者数の確保に努めていく。				
5 外部評価会議委員の意見				
千歳っ子見守り隊の隊員の皆さんは、高齢化であったり、なかなか手がいかなかったりなど、非常に課題になっていくのではないかと考えており、人材確保について、何か良い方法がないものか、今後も考えていかなければならないと思う。				
◆参考・前年度意見： 見守り隊などの各種ボランティアは本当に学校を支えています。ボランティアの方々にとっては、学校からよりも、子どもたちからのアクションがやる気につながると思うので、小さなものであっても、子どもから感謝の気持ちを伝えられる取組をお願いしたいと思います。				

基本目標 3 学びを支え、つなぐ教育環境の充実				
施策項目 2 1 学校段階等間の連携・交流の充実		担当課	学校教育課・学校指導課	
1 施策の概要				
幼稚園、保育所等から小学校への円滑な接続を図るため、小学校入学に当たって学校種間の交流、連携を推進します。また、義務教育9年間を見通した系統的な教育活動や小中学校の円滑な接続を目指す小中連携・一貫教育の取組を通して、子ども一人ひとりの学力・体力の向上と豊かな人間形成を図ります。引き続き公立千歳科学技術大学との連携を強め、情報教育の充実や学生の支援による課外学習の充実に努めます。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
幼児教育と小学校との連携の促進	幼稚園・保育所・認定こども園と小学校の間で子どもの成長に関する情報交換や交流の機会を充実させ、小学校へ円滑に接続できるよう取組を進めます。	B	A:11校 B:6校 C:0校 D:0校 対象外:10校	
公立千歳科学技術大学との連携の推進	情報教育における協力・助言やeラーニングシステムの活用、長期休業中の学習支援など、公立千歳科学技術大学との連携による小中学校の教育活動の充実を推進します。	B	A:18校 B:7校 C:1校 D:1校	
小中連携・一貫教育の推進	義務教育9年間で目指す子ども像を設定し、小中学校が学習指導や生徒指導において系統性・連続性に配慮した教育活動を推進します。	A	A:21校 B:6校 C:0校 D:0校	
3 目標指標	現状値(R1)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R7年度調査結果 (R6年度実績)	R12目標値
近隣等の小学校(中学校)と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った学校の割合(再掲)	小 50.0% 中 25.0%	94.1%(B) 100%(A)	100%(A) 100%(A)	小 100% 中 100%
4 総括				
令和6年度の実績及び今後の方針・課題(目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)				
幼稚園、保育所等から小学校への円滑な接続を図るため、小学校入学に当たって学校間の交流や連携を図ったほか、小中連携・一貫教育を通じて、小中学校9年間の系統的な学びを構築し、学校・家庭・地域が連携して子どもたちを育む環境づくりに努めた。 今後も幼稚園、保育所等から小学校への円滑な接続を図るため、小学校入学に当たっての学校種間の交流や連携、小中連携・一貫教育の取組を通じた教育活動を推進する。 また、引き続き公立千歳科学技術大学との連携を強め、情報教育の充実や学生の支援による課外学習の充実に努める。				
5 外部評価会議委員の意見				
幼保小の連携は、なかなか難しい部分がある中で、ヒントになるような活動を色々されているので、是非、積極的に進めていただき、市内に広がっていければと思う。  ◆参考・前年度意見： 各段階間の連携について、しっかりと取り組んでいると感じますので、このまま継続していただきたいと思います。特に、小中連携について、中学校を中心に頑張っていると感じています。また、ICTを中心とした取組のための加配教諭により、校区内学校に巡回指導するといった取組は、非常に良い発想だと思いますので、有効に活用していただきたいと思います。				

基本目標 4 市民が活躍する生涯学習によるまちづくりの推進					
施策項目 2 2 多様な主体の連携による学び合いと交流の場の充実		担当課	生涯学習課		
1 施策の概要					
学習機会や学習情報の一元化・体系化に向けた学習機会提供者間の連携体制の構築と市民が主体となった地域コミュニティの形成に向けた市民活動相互の交流の場づくりに努めます。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価		
連携体制の構築と学習機会・学習情報・学習成果の評価の一元化	生涯学習関連事業を行う関係機関の連携体制を構築し、学習機会・学習情報・学習成果の評価を一元化・ネットワーク化する「ちとせを学ぶスタンプラリー事業」を実施し、市民の学習機会の充実に努めます。	B	/		
市民が学び合う活動の充実	市民や事業所、行政機関などが培ってきた専門性を生かして講師を務め、市民に学びを提供する「千歳学出前講座」などの各種講座を実施し、市民の学習活動や学びを通じた交流活動の充実に努めます。	B			
学習成果を交流する機会の充実	生涯学習に関わるフェスティバルやフォーラムなど、普段の活動や学習の成果を地域づくりに生かす機会を提供し、参加団体相互の交流や連携を通じて市民がまちづくりに主体的に参画する自立と連帯感の醸成に努めます。	B			
3 目標指標		現状値(R1)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R7年度調査結果 (R6年度実績)	R12目標値
「ちとせを学ぶスタンプラリー事業」の実施事業数と受講登録者数		—	71件(A) 68人(A)	44件(D) 29人(D)	100件以上 120人以上
「千歳学出前講座」など、教育委員会が仲介して市民や事業者、行政機関が講師となって実施した学習機会の実施回数と参加者数		420回 14,588名	394回(B) 10,799名(C)	374回(B) 12,064名(C)	460回以上 16,000名以上
学習成果を交流する事業（フェスティバル、フォーラムなど）の参加団体アンケートで、事業実施後、「まちづくりへの参加意識が高まった」とする団体の割合		—	98.0%(A)	98.0%(A)	70%以上
4 総括					
令和6年度の実績及び今後の方針・課題（目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）					
<p>市民活動団体等で構成される「みんなで、ひと・まちづくり委員会」が主催する「ちとせを学ぶスタンプラリー事業」については、単年度の新規登録者が29人増え、登録者数は122名となった。</p> <p>今後、「ちとせを学ぶスタンプラリー事業」については、同委員会で協議を行いながら、連携講座をさらに拡充できるよう検討し、学習情報の一元的な発信につなげていく。</p> <p>「千歳学出前講座」については、参加者数は市役所編の受講者数が増加したことにより、1,265人の増となり、より多くの市民への学習機会の提供が図られた。</p> <p>ちとせ生涯学習フェスティバル「ふるさとポケット」については、各分野の市民及びグループ団体が連携協力し企画することにより交流を図ることができた。</p> <p>今後、「千歳学出前講座」や「ふるさとポケット」の実施にあたり、新たな人材や団体の参画に向けて多方面に働きかけることにより、活発な活動・交流につなげていくこととする。</p> <p>【目標指標を見直した項目】</p> <p>・『学習成果を交流する事業（フェスティバル、フォーラムなど）の参加団体アンケートで、事業実施後、「まちづくりへの参加意識が高まった」とする団体の割合』(R12目標値：70%)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>令和7年度より見直し</p> <p>・『学習成果を交流する事業（フェスティバル、フォーラムなど）の参加団体アンケートで、事業実施後、相互交流について「よく交流できた」「交流できた」と回答した団体の割合』(R12目標値：70%)</p>					
5 外部評価会議委員の意見					
<p>「ちとせを学ぶスタンプラリー事業」の受講者数の減少は、市役所外の連携先の受講証明のカウントにご苦労されていることが背景にあるようで、負担のかからない方法を検討されることを望む。</p> <p>◆参考・前年度意見：</p> <p>出前講座について、人気がある講座は、消防などの視察関係の講座が多いということですが、新しい講座や講師の発掘などを行うことで、令和12年度の目標値に到達するような施策の検討をお願いします。アンケートの設問についてですが、学習成果を交流する事業に参加した団体に対して、「まちづくりへの意識が高まらなかった」というような回答をする可能性は低いと思われるので、指標の見直しを検討したほうがよいと考えます。</p>					

基本目標 4 市民が活躍する生涯学習によるまちづくりの推進				
施策項目 2 3 学習情報と市民活動交流センター機能の充実		担当課	生涯学習課	
1 施策の概要				
学習や地域活動の情報の一元化を進め、情報提供や学習相談など市民活動を支援する市民活動交流センター「ミナクール」のセンター機能の充実に努めます。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
情報提供・相談事業など市民活動交流センター機能の充実	市民活動交流センターの市民活動の交流や作業の場としての機能を継続するとともに、より多くの学習情報や市民活動情報の収集に努め、情報の一元化を進め、センターの情報提供や活動相談機能を充実します。	B		
学習情報の一元化	市内の学習提供機関が参加する「ちとせを学ぶスタンプラリー事業」により得られた学習情報を一元化し、情報紙やホームページ、メールマガジンなどで市民に情報提供します。	B		
3 目標指標	現状値(R1)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R7年度調査結果 (R6年度実績)	R12目標値
市民活動交流センター利用者アンケートで利用について「満足」「おおむね満足」と回答した人の割合	—	97.3%(A)	98.0%(A)	95%以上
市民活動交流センターが行った情報提供事業件数	518件	351件(C)	360件(C)	570件以上
市民活動交流センターが行った相談対応件数	63件	108件(A)	91件(B)	100件以上
4 総括				
令和6年度の実績及び今後の方針・課題（目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）				
<p>市民活動交流センター「ミナクール」の利用者数は、市民団体の打ち合わせや市民活動作業などで利用されており、コロナ禍以降、回復基調にある。利用者アンケートの満足度については目標を上回っており、情報提供件数については、市民活動や文化芸術の案内などの情報提供を行っており、昨年度と同程度の状況となっている。</p> <p>相談件数については、前年度より減少しているが、市民活動に関わる相談内容は多岐に渡るため、日頃の相談対応を充実していくほか、ミナクールサロンや市民活動講座などを開催することにより、活動支援を行っていくこととする。</p> <p>今後については、引き続き情報の収集、発信や自主事業を行うほか、利用者の利便性向上に向けた取り組みを進めるとともに、市民活動の活性化のために取り組んでいくこととする。</p>				
<p>【目標指標を見直した項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『市民活動交流センターが行った相談対応件数』（R12目標値：100件以上）</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>令和7年度より見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『市民活動交流センターが行った事業に参加した市民の人数』（R12目標値：700人以上）</li> </ul>				
5 外部評価会議委員の意見				
<p>指標の市民活動交流センターが行った情報提供事業件数の目標数は、コロナ禍前に設定した数値であり、現時点ではその戻りは徐々にのようであるが、増加させていくための意識啓発を継続してほしい。</p> <p>◆参考・前年度意見： 市民活動交流センターの利用者アンケートで、利用について「満足」「おおむね満足」「ふつう」と回答した人の割合が全体で97.3%、内訳として、満足：79.4%、おおむね満足：16.4%、ふつう：1.5%ということで、利用者の実態を反映した結果になっていると思います。市民活動交流センターが行った相談対応件数は108件とのことですが、目標値を上回りましたが、相談件数なので、目標値が上回ることがよいということでもないと思われるので、指標の見直しを検討したほうがよいと考えます。</p>				

基本目標4 市民が活躍する生涯学習によるまちづくりの推進					
施策項目24 学びやまちづくり活動を支える人材の育成や活用の推進		担当課	生涯学習課		
1 施策の概要					
学習や実践活動を通じてまちづくり活動を支える人材の育成と、活動の成果を認め合う仕組みづくりに努めます。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価		
ひと・まちづくりリーダーの養成	「みんなで、ひと・まちづくり委員会」と連携して、市民協働のまちづくりにつながる人材の育成や市民活動の活性化につながる学習・活動の機会を提供し、各分野のまちづくりの担い手となる人材の拡大に努めます。	B			
市民の学びを支える人材の育成と活用	「千歳学出前講座」などの各種講座で市民が講師として活躍する場や社会教育事業の運営にボランティアとして携わる機会を提供し、学びを支える人材の育成と活用に努めます。	B			
学習成果の評価と学習成果を生かした活動の評価の仕組みの構築	「ちとせを学ぶスタンプラリー事業」での学習歴の認証や学習成果の評価、学習成果を生かした社会的活動をする人への評価の取組を検討し、市民の学ぶ意欲の向上と地域活動への参加促進に努めます。	B			
3 目標指標		現状値(R1)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R7年度調査結果 (R6年度実績)	R12目標値
「ひと・まちづくりリーダー」認定累計数		—	22人(A)	20人(A)	20人以上
「千歳学出前講座」などの講師と社会教育事業のボランティアに登録している人数		412件	449人(B)	542人(A)	450人以上
「ちとせを学ぶスタンプラリー事業」に登録して指定された単位を修得し、表彰された人の人数		—	1人(A)	0人(D)	15人以上
4 総括					
令和6年度の実績及び今後の方針・課題（目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）					
<p>「みんなで、ひと・まちづくり委員会」の事業である「ちとせを元気に応援隊養成講座」については、令和6年度に「ちとせ魅力発見バスツアー（空港編）」を開催するなど、市民が主体的にまちづくりに参画する意義や、リーダー養成の手法についての学びを深めることができた。</p> <p>今後もリーダーを養成するための事業を開催していき、段階的に人づくり、まちづくりにつながる人材育成に取り組んでいく。ボランティア登録者数については、学校でのスケートや水泳、書写などの学習支援を行う地域学校協働活動のボランティア登録者数の増加等により目標を上回ることができた。</p> <p>「ちとせを学ぶスタンプラリー事業」については、新規登録者数は令和6年度で29人増え、登録者数は122名となっているものの、表彰者はなしであったことから、「みんなで、ひと・まちづくり委員会」が中心となり、スタンプラリーに参加したくなるカリキュラムなどを検討し、目標指標達成に向けた取り組みを進めていく。</p>					
5 外部評価会議委員の意見					
<p>指標の「ボランティア登録者数」は、施策25の「地域学校協働活動」の方が多くを占めるので、内訳をある程度明らかにして総括すると良いと考える。</p> <p>「ちとせを学ぶスタンプラリー事業」の表彰者数は、全ての分野に関心を持つことの難しさからハードルは高いとの印象があるが、どこに表彰の価値を見出すか「みんなで、ひと・まちづくり委員会」でよく検討してほしい。</p> <p>◆参考・前年度意見： 市民協働のまちづくりにつながる人材の育成や市民活動の活性化につながる担い手となる「ひと・まちづくりリーダー」を養成しているということですが、このリーダーの認定を受けずに、自主的に市民活動を行っている団体もあると思いますので、「ひと・まちづくりリーダー」がどういう位置づけの人になるのかをわかるようにしたほうがよいと思います。</p>					

基本目標 4 市民が活躍する生涯学習によるまちづくりの推進				
施策項目 2 5 地域と学校の連携による地域の教育力を高める活動の充実		担当課	生涯学習課	
1 施策の概要				
地域と学校、家庭の連携による地域学校協働活動を推進し、地域ぐるみで子どもを育て、地域住民の生涯学習活動を通じた地域の教育力の向上に努めます。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
地域学校協働活動推進員の配置による地域学校協働活動の体制整備	学校区単位に地域学校協働活動推進員を配置し、地域住民などの協力により、地域と学校が連携・協働して、学校の教育活動や地域で行われる各種体験活動を支える体制の整備を推進します。	B	A:20校 B:7校 C:0校 D:0校	
学校支援や放課後、週末の子どもの体験活動の実施などの地域学校協働活動の充実	学校支援活動をはじめ、放課後や週末の子どもの体験活動、地域行事との連携、家庭教育支援など地域と学校が連携した取組を充実し、地域学校協働活動の総合化とネットワーク化に努めます。	B	A:13校 B:14校 C:0校 D:0校	
子どもたちの活動を支える地域人材の登録と活用の促進	学校区や市内全域で子どもの各種活動を支える人材の登録を推進し、地域学校協働活動などで活用するとともに、地域学校協働活動推進員の研修やボランティアの情報交換の場を設け、活動の充実に努めます。	B	A:18校 B:9校 C:0校 D:0校	
3 目標指標	現状値(R1)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R7年度調査結果 (R6年度実績)	R12目標値
地域学校協働活動推進員を中学校区（小規模校を除く）に配置して、地域学校協働活動を実施している割合	—	50%(C)	66%(C)	100%
地域学校協働活動推進員の企画・運営により、放課後や週末の子どもの体験活動を実施している小学校（小規模校を除く）の割合	—	100%(A)	100%(A)	100%
地域学校協働活動の実施回数と活動に参加するボランティアの延活動人数	459回 1,355人	918回(A) 1,811人(A)	1,095回(A) 2,437人(A)	500回以上 1,400人以上
4 総括				
令和6年度の実績及び今後の方針・課題（目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）				
<p>学校専属の地域学校協働活動推進員（協働活動コーディネーター）を千歳中学校区、青葉中学校区、富丘中学校区、令和6年度には勇舞中学校区に配置したことにより、クラブ活動や学習支援における地域人材の新たな活用につながった。</p> <p>子どもの放課後や週末の体験活動は、児童館未設置校区である千歳小学校における放課後子ども教室、その他の学校における子ども体験教室をそれぞれ開催した。学校での水泳やスケートなどの授業におけるボランティア活用も目標値を越え、今後も期待ができる結果となった。</p> <p>今後についても、学校専属の協働活動コーディネーターの配置を引き続き進め、学校や地域の特色に合わせた支援の充実に取り組んでいく。</p> <p>放課後、週末の体験活動については、すべての学校区を対象に開催しているものの、参加人数が定員に満たない場合もあることから、児童の興味や家庭のニーズに合わせた内容・日時での実施について、外部人材の活用等も踏まえて検討する。</p> <p>【目標指標を見直した項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『地域学校協働活動の実施回数と活動に参加するボランティアの延活動人数』（R12目標値：500回、1,400人以上）</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>令和7年度より見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『地域学校協働活動に参加した学校支援ボランティアに対する学校評価（アンケート）で、「とても良い」「良い」と回答した割合』（R12目標値：90%以上）</li> </ul>				
5 外部評価会議委員の意見				
<p>目標指標のうち、令和7年度から『地域学校協働活動に参加した学校支援ボランティアに対する学校評価（アンケート）』の結果に見直す、学校現場に負担のないような点検評価作業としてほしい。</p> <p>◆参考・前年度意見： 主な取組の教育委員会評価と学校評価の違いは、学校評価が学校ごとの評価を平均した結果であるため、Aと評価した学校が多ければ、BやC評価とした学校の評価結果が埋もれてしまうために生じていることはわかりました。教育委員会としては、地域学校協働推進員を全中学校区で配置できていないことからB評価としています。学校としては、現在の状況でも満足していると思われるので、こうした状況が分かるような実績の書き方にしてもらえると良いと思います。</p>				

基本目標 4 市民が活躍する生涯学習によるまちづくりの推進					
施策項目 2 6 学んだ成果を地域で生かす活動の充実		担当課	生涯学習課		
1 施策の概要					
まちづくりに関係する機関・団体と連携して、学んだ成果を地域で生かす活動の場づくりや地域活動への橋渡しをする情報提供・相談・コーディネート体制の充実に努めます。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価		
学習成果を生かして講師や指導者として活躍する場の充実	市民や事業者が専門性を生かして講師を務める「千歳学出前講座」などの各種講座を実施し、講師や指導者として活躍する場を充実します。	B	/		
社会教育事業や地域社会でボランティアとして活躍する場の充実	社会教育事業で、これまで培った知識や経験などを生かして学習者を支援するボランティア活動の機会を提供するとともに、講座修了後に学習グループを組織化し、地域活動に取り組む活動の支援に努めます。	B			
学習成果を生かした活動のコーディネート体制の整備	ボランティアやNPOなど地域で行われる各種活動の情報提供や活動への橋渡しをするコーディネート体制を整備し、市民の学習で得られた成果を生かした地域の社会的活動への参加を促進します。	B			
3 目標指標		現状値(R1)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R7年度調査結果 (R6年度実績)	R12目標値
教育委員会が実施・仲介する学習講座で、市民や市内の事業者が講師となったものの実施回数		105回	109回(A)	74回(C)	120回以上
千歳学出前講座講師と社会教育事業ボランティアの延活動人数		1,697人	2,141人(A)	2,536人(A)	1,860人以上
教育委員会が実施した学習講座で、修了後引き続き、学習・活動グループを組織化して活動する団体の累計数		—	3団体(D)	2団体(D)	10団体以上
4 総括					
令和6年度の実績及び今後の方針・課題（目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）					
<p>地域学校協働活動における学校支援ボランティアの増加により、ボランティア延べ活動人数については、昨年度比で実績が増えた。</p> <p>事業終了後の自主的な活動団体については、新たな組織化を増やすことを目標に、引き続き活動の場の提供や独立を目指す活動団体の支援を行うこととする。</p> <p>今後については、社会教育事業等でのボランティアとしての活動は活発化しているが、それらを自主的な活動につなげていくコーディネート体制が不十分な面もあることから、市民活動交流センター「ミナクル」での相談対応や「みんなで、ひと・まちづくり委員会」の各種人材養成事業を実施し、自主的な活動を支援するよう取り組んでいく。</p> <p>【目標指標を見直した項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『千歳学出前講座講師と社会教育事業ボランティアの延活動人数』（R12目標値：1,860人以上）</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>令和7年度より見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『千歳学出前講座講師と社会教育事業ボランティアの登録人数』（R12目標値：160人以上）</li> </ul>					
5 外部評価会議委員の意見					
<p>目標指標の変更自体は了解するが、何人の方がどれくらいやっているか稼働率の把握も継続したほうが良いと考える。</p> <p>◆参考・前年度意見： 社会教育事業ボランティアの人数には、地域学校協働活動ボランティアの人数が含まれているということで、別々の分野をまとめて評価している一面があるので、評価がわかりづらい部分ではありますが、社会教育事業で参加したボランティアの活動を自主的な活動としてのボランティア活動につなげられる体制が構築できることを期待します。</p>					

基本目標 5 各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実				
施策項目 2 7 乳幼児期からの家庭教育を支える学びの充実		担当課	生涯学習課	
1 施策の概要				
家庭教育の役割の理解を深め、家庭教育への参加意識を高める学習や交流の機会の充実と、関係機関との連携や家庭教育を支える人材の育成により地域社会で家庭教育を支える環境づくりに努めます。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
家庭教育に関する学習機会の提供	これから親になる世代や保護者を対象に、乳幼児期、学齢期など、子どもの発達段階に応じた学習機会を提供し、親の育ちを支援します。また、保護者のほか地域住民など親以外の世代を対象に、家庭教育の理解を促進する学習機会を提供し、家庭教育を支える意識の向上に努めます。	B	/	
親子触れ合い交流事業の実施	児童生徒と保護者が学習や体験などを通じて親と子の交流を深め、父親など子どもとの関わりが少なくなりがちな保護者の家庭教育への参加意識の向上に努めます。	B		
子どもの望ましい生活習慣の定着などに取り組むPTA活動の支援	保護者同士の学び合いや情報交換などを通じて、子どもの望ましい生活習慣の定着など、家庭の教育力向上に向けて取り組むPTAの活動を支援します。	B		
地域社会で家庭教育を支える人材の育成と活用	「子育てサポーター」など家庭教育を支える人材を育成するとともに、関係機関と連携して地域で親の育ちを支援する環境づくりに努めます。	B		
3 目標指標	現状値(R1)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R7年度調査結果 (R6年度実績)	R12目標値
教育委員会が実施する家庭教育に関する学習事業で、今後の子育てなど自身の生活に「役立つ」と回答した参加者の割合	100%	99.3%(B)	99.0%(B)	100%
子育てサポーターが保護者などの家庭教育を支援した活動の回数	16回	18回(A)	18回(B)	20回
4 総括				
令和6年度の実績及び今後の方針・課題（目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）				
<p>家庭教育活動支援事業として、地域住民等を対象に家庭教育の理解を促進する「家庭教育セミナー」、乳幼児の保護者向けの講座や交流の場を提供する「バンビはぐくみプログラム」、親子の触れ合い交流の機会を創出する「親子ふれあい講座」等を実施した。</p> <p>家庭教育セミナーについてはこども福祉部子育て支援センターとの共催とすることで、子育て世代や保育関係者等に広く事業を周知し開催した。</p> <p>目標指標については概ね目標値に達しているが、親子ふれあい講座の理解度が低い結果となった。</p> <p>その要因としては、乳幼児同伴での参加とした際の受講環境が考えられる。</p> <p>今後、家庭教育セミナーについては、現代の多様なニーズや社会情勢を踏まえ、テーマや講師選定について協議しながら実施する。</p> <p>また、親子ふれあい講座については、子育て世代が安心して参加し、受講内容を生活に役立てることができるよう、参加者のニーズに適したテーマ設定や、受講環境の整備について検討する。</p>				
5 外部評価会議委員の意見				
<p>指標の実績は申し分なく、親子ふれあい講座のようにお父さんもお母さんも子どもと一緒に体験できるプログラムの推進を期待する。</p> <p>◆参考・前年度意見： バンビはぐくみプログラムは、男性も受講できるということですが、この講座は、平日の昼間に開催され、生後6か月以上の子を持つ保護者が対象であるため、この講座にすべて参加できる男性は少ない状況であることは理解しました。土日祝日の開催にしてしまうと、そもそもの参加者が少なくなる可能性もあると思われるので、現在の開催方法の中で男性参加者が増えることを期待します。</p>				

基本目標 5 各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実					
施策項目 2 8 青少年の自立と成長を育む学びの充実		担当課	生涯学習課		
1 施策の概要					
地域の人材や関係団体との連携により、青少年の自立と成長を育む体験活動の機会や情報提供の充実に努めます。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価		
青少年の体験活動機会の充実	(公財)千歳青少年教育財団などの関係団体と連携して、自然体験、社会体験、科学探求活動、リーダー養成、姉妹都市交流などの、各種体験活動の機会充実に努めます。	B			
青少年の体験活動情報の提供	市内で行われる様々な体験活動の情報収集を行い、事業情報紙「マナビィ」や「少年団体一覧表」などを発行して小中学生などに情報提供し、体験活動への参加を促進します。	B			
青少年の体験活動を支える人材の育成・活用と連携	子どもたちの体験活動を支える人材の育成と活用を進めるとともに、関係機関との連携を通じて子どもたちが身近な地域で各種体験活動ができる環境づくりに努めます。	B			
3 目標指標		現状値(R1)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R7年度調査結果 (R6年度実績)	R12目標値
教育委員会が主催及び支援する団体が実施する青少年教育事業で、こうした体験教室に「また参加したい」と回答した参加者の割合		—	93.0%(A)	98.0%(A)	80%以上
「マナビィ」や「少年団体一覧表」など教育委員会から小中学生に行った青少年活動情報の提供件数		294件	270件(B)	264件(B)	300件以上
ボランティアや青少年育成推進員など、青少年の体験活動支援に関わる人の登録者数		365人	426件(A)	437件(A)	400人以上
4 総括					
令和6年度の実績及び今後の方針・課題（目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）					
<p>(公財)千歳青少年教育財団との連携については、青少年育成推進員の積極的な活動の推進により、青少年の体験活動の機会を創出することができている。</p> <p>姉妹都市である鹿児島県指宿市との青少年相互交流については、定員を超える申し込みがあり、参加児童16名で派遣・受入往來にて開催した。</p> <p>子ども体験教室については、学校区毎の開催のほか、民間事業者等との連携により開催するなど、実施回数および内容を充実することができた。</p> <p>青少年の体験活動については引き続き(公財)青少年教育財団との連携、姉妹都市交流、地域学校協働活動の推進により、一層の内容充実を図る。</p> <p>青少年活動情報の提供件数については目標値を下回っており、市内事業者との連携により、情報収集に努めていく。</p> <p>ボランティアの登録者数については順調に推移していることから、登録者が有効に活動できる場を提供できるよう、事業内容を検討していく。</p>					
5 外部評価会議委員の意見					
<p>指標とされている「登録者数」とともに、実際の活動への参加者数を把握しておくことが重要と考える。</p> <p>◆参考・前年度意見： 目標指標の2「マナビィや少年団体一覧表など教育委員会から小中学生に行った青少年活動情報の提供件数」は、掲載してほしいというところを取りまとめて掲載しているだけであるため、提供件数を増加させるのが難しい状況であることはわかりました。指標の設定が難しい項目だと思いますので、指標の見直しができるのであれば、見直しについて検討しても良いのではないかと思います。</p>					

基本目標 5 各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実				
施策項目 2 9 青少年非行防止への取組の推進			担当課	青少年課
1 施策の概要				
青少年の健全育成に対する意識啓発を行うほか、学校、家庭、地域及び関係機関・団体と連携し、青少年非行防止への取組を推進します。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
「青少年指導センター」巡回指導の実施	青少年の健全育成を進めるため、巡回指導を通じて児童生徒など青少年の問題行動の未然防止に努めます。	B		
育成相談の実施	問題行動などで悩んでいる親や、悩みを抱えている青少年に対し、適切な助言・支援が行えるよう相談体制の充実に努めます。	A		
ネットパトロールの実施	児童生徒がインターネットなどを利用して行うコミュニケーション活動において、不適切な利用によりいじめや犯罪などのトラブルに発展しないよう、ネットコミュニケーションを見守る取組を推進します。	A		
3 目標指標	現状値(R1)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R7年度調査結果 (R6年度実績)	R12目標値
千歳市内の小中高等学校児童生徒校外生活指導基準に基づく声かけ等を行った人数	96人	198人(D)	116人(B)	100人以下
4 総括				
令和6年度の実績及び今後の方針・課題（目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）				
<p>青少年指導員等と連携し、特別指導や夜間指導を実施したほか、ネットトラブルへの対応や、夕方の街頭巡回など、あらゆる角度から青少年の見守りを行い、問題行動の未然防止に努めた。</p> <p>目標指標は、各学校と連携した指導により、前年度の件数を大きく下回ることができた。引き続き、学校や家庭と協力し、帰宅時間の順守など、「千歳市内 小・中・高等学校 児童・生徒校外生活指導基準」の徹底を図る。</p>				
5 外部評価会議委員の意見				
<p>指標の実績において、令和5年度実績はコロナ禍明けであり特異な数値であった認識のようだが、巡回の頻度を変えていないなかで声かけ等の人数が前年度より減少しており改善と評価できる。</p> <p>◆参考・前年度意見：          コロナ明けで、子どもたちが外で遊ぶ機会が増え、指導や見回りを行う回数が増えたことにより、指導件数の増加につながったということですが、問題行動を起こす子どもたちが増えたということではなく、指導を行った件数が増加したということであると思いますので、指標としては、問題行動として認知された件数を指標にしたほうがよいと考えます。</p>				

基本目標 5 各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実				
施策項目 3 0 成人期や高齢期を誰もが豊かに過ごす学びの充実			担当課	生涯学習課
1 施策の概要				
社会の変化による生活上の課題に対応する力を高め、仲間とつながりながら意欲的に学び、地域活動への参加意欲を高める学習機会の充実に努めます。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
はたちのつどい事業の実施	人生の節目を祝うとともに、社会人としての自覚と社会との関わりや果たすべき役割の認識を高める契機となるよう関連行事を実施します。新成人の企画などを導入し、青年層の地域活動の担い手づくりに努めます。	B		
生活課題に対応する学習機会の提供	変化の激しい社会を生きていくために必要な市民の健康や安全などの生活課題に対応した学習機会の提供に努めます。	B		
高齢者学級開催事業の実施	高齢者が豊かで生きがいのある人生を創造するため、郷土の理解を深め、知識や経験を生かし、仲間とつながりながら地域社会で活躍することができる学習機会の提供に努めます。	B		
3 目標指標	現状値(R1)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R7年度調査結果 (R6年度実績)	R12目標値
教育委員会が実施する生活課題に対応した学習事業で、今後の自身の生活に「役立つ」と回答した参加者の割合	77%	98.9%(A)	99.4%(A)	90%以上
高齢者学級開催事業で、講座で学んだことを生かして「地域社会の活動に参加してみたい」と回答した参加者の割合	—	92.5%(A)	89.8%(B)	90%以上
4 総括				
令和6年度の実績及び今後の方針・課題（目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）				
<p>はたちのつどい事業については、公募により3名が協働会議に参加し式典内容の企画等を行ったほか、そのうち2名が今後企画会議に関わっていく市民団体（NEXUS）に加入したことなど、地域活動の担い手育成につながっている。</p> <p>生活課題に対応する学習機会の提供としては、広く市民を対象に学習テーマを設定して市民教養セミナーを開催しており、令和6年度は「防災」「情報発信（デザイン）」「児童虐待防止」「国際理解（料理）」「コミュニケーション（手話）」の計5回開催し、のべ485名が参加した。</p> <p>高齢者学級開催事業については、2か年での体系的な学習の場を提供する「高星大学」、高星大学の卒業生を対象にさらに学びを深め実践につなげる「高星大学大学院」、学習や交流、サークル活動等を行う「若返り学園」を開催しており、高星大学については在学学生32名・事業回数20回、高星大学大学院については在学学生33名・事業回数17回、若返り学園については会員数378名・事業回数17回と、いずれも積極的な参加を得ており、高齢者の生きがい創出や学び、仲間づくりの場となっており、事業の実施が地域活動への参加意欲醸成につながっていると評価できる。</p> <p>今後は、各種事業について、引き続き地域や社会の課題に応じた学習事業を提供できるよう、適切なテーマ設定等について検討していく。</p> <p>特に高齢者学級開催事業については、サークル活動や自主研究を活発化することで、それらが自主的な活動につながっていくよう促していく。</p> <p>はたちのつどい事業については、例年協働会議メンバーの公募が少ない傾向にあることから、募集方法や周知先等を検討し、人材の獲得に努めていく。</p>				
5 外部評価会議委員の意見				
<p>高齢の方の参加については堅調に推移しているが、若年層向けの講座はテーマなど工夫を凝らす必要がある。</p> <p>はたちのつどい事業は、企画段階から公募者（3名）とOB/OGらでしおりの作成や当日のプログラムを準備されるようだが、希望者が少ないなか、ボランティアに関心がある学生も一定数いると感じており、積極的な参加のインセンティブ策を期待する。</p> <p>◆参考・前年度意見： はたちのつどいには、参加するだけの方が楽だという心理が働くことはよくわかります。企画段階から参加してくれる方が少ないようですが、NEXUSに加入した方が企画会議に関わってくれているようなので、こうした方とともに、新たに企画段階から参加してもらえる方が増えることを期待します。</p>				

基本目標 5 各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実				
施策項目 3 1 ふるさと千歳の理解と地域課題に対応した学びの充実		担当課	生涯学習課	
1 施策の概要				
関係機関との連携により、千歳の理解を深める学習機会と地域づくりにつながる地域課題や現代的課題に対応した学習機会の充実に努めます。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
ふるさと千歳の理解を深める学習機会の提供	地域に対する愛着と誇りを育み、地域の担い手づくりにつながる地域の人材や素材を活用した学習機会の提供に努めます。	B		
地域課題解決学習の推進	地域コミュニティの将来像や在り方を共有し、その実現のために解決すべき課題とその対応を学習し、成果を地域づくりの実践につなげる地域課題に対応した学習機会の提供に努めます。	B		
3 目標指標	現状値(R1)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R7年度調査結果 (R6年度実績)	R12目標値
教育委員会が実施する千歳の地域理解に関わる学習事業で、「千歳への理解が深まった」と回答した参加者の割合	—	100%(A)	100%(A)	70%以上
教育委員会が実施する千歳の地域理解や地域課題、現代的課題に関わる学習事業で、講座内容が「よく理解できた」と回答した参加者の割合	70%	72.3%(A)	82.9%(A)	70%以上
4 総括				
令和6年度の実績及び今後の方針・課題（目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）				
<p>地域理解に関わる学習事業については、高齢者学級開催事業において4講座を実施、のべ98名が出席し、いずれも参加者の100%が千歳への理解が深まったと回答しており、講座内容について適切であったと評価できる。</p> <p>今後は、引き続き地域理解や地域課題、現代的課題に関する学習事業について、幅広い世代の参加者が得られるよう、テーマの設定について検討していく。</p> <p>特に地域理解に関するものについては、参加者の年齢層が高くなる傾向にあることから、若い世代や千歳への転入者等に向けた学習事業について、開催を検討していく。</p>				
5 外部評価会議委員の意見				
<p>2つの指標のアンケート結果は別々の設問だが、下段の結果は、上段の結果（4講座、のべ98名）を含む8講座、のべ328名参加の集計であり、「千歳の地域理解」以外に関わる学習事業もおおむね「よく理解できた」と確認でき、学習効果は十分高いとわがえる。</p> <p>◆参考・前年度意見： 高齢者学級は、高齢者の参加がほとんどですが、市民教養セミナーには、テーマによるが、若い人が参加することがあるということはいいことだと思います。目標指標は、割合で実績が記載されている場合、分母がわからないため、参加者全員へのアンケートなのか、特定の人へのアンケートなのか見えにくい部分があるので、分母の数値を公表しづらい場合もあるとは思いますが、分母がわかるようになると良いと思います。</p>				

基本目標 5 各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実				
施策項目 3 2 社会教育施設機能と読書環境の充実		担当課	文化施設課	
1 施策の概要				
誰もが安全で快適に利用でき、社会の変化や市民の多様なニーズに対応した社会教育の場として公民館や図書館などの社会教育施設の機能の充実と子どもから大人まであらゆる世代の市民が読書に親しめる環境づくりに努めます。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
市民ニーズを反映した安全で快適に利用できる施設の整備	社会教育施設に関する多様なニーズの把握に努め、誰もが安全で快適に利用できるよう施設のユニバーサルデザイン化をはじめとした施設・設備の計画的な更新・改修を行い、社会教育施設の機能充実に努めます。	B		
公民館教室の実施	公民館の集い、学び、結ぶ機能を生かして、市民の教養の向上や健康の増進など、生活文化の振興や社会福祉の増進に役立つ短期・長期の公民館教室の充実に努めます。	B		
市民の誰もが親しめる読書環境の充実	図書の充実をはじめ、移動図書館車、検索サービスなど図書館機能の整備やおはなし会、ブックスタートにより、子どもから高齢者まで誰もが読書に親しめる読書環境の充実に努めます。	B		
3 目標指標	現状値(R1)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R7年度調査結果 (R6年度実績)	R12目標値
公民館の利用者アンケートで、施設設備などについて、「よい」「ややよい」「ふつう」と回答した人の割合	83%	75.5%(B)	83.9%(B)	85%以上
図書館の意見箱に投函された施設設備などに関する改善意見の件数	12件	7件(A)	13件(C)	10件以下
図書館まつりの参加者アンケートで、「よい」「ややよい」「ふつう」と回答した人の割合	94%	91.8%(B)	95.9%(A)	94%以上
4 総括				
令和6年度の実績及び今後の方針・課題（目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）				
<p>ヨガやダンス、英会話、書道など様々な公民館教室を開講し、図書館では、移動図書館の運行やブックスタート、おはなし会など読書環境の充実に向けた取り組みを実施した他、日常の清掃や点検・修繕などにより施設の維持管理に努めた。</p> <p>市民ニーズを反映しながら、各社会教育施設・設備等の修繕、改修等により機能の充実に努め、各世代が読書に親しめる図書の充実やおはなし会、図書館まつり、文学講座、講演会などの読書普及活動を推進し、市民が読書に親しめる環境づくりに努めていく。</p>				
5 外部評価会議委員の意見				
<p>公民館も図書館もともにアンケート実施や意見箱設置は行っているが、公民館の来館者は顔なじみが多い一方、図書館の利用者は不特定多数の傾向があるため、利用者の意見収集方法を変えて実施していることは理解する。</p> <p>イベントの感想や施設の改修要望、読書環境のサービスなど項目を可能ならば分けて総括できれば良いと考える。</p> <p>◆参考・前年度意見： 公民館も図書館も施設設備に関するアンケートになっていますが、この2つは機能が異なるので、同列に扱わないほうが良いと思います。図書館については、改善意見の件数となっていますが、図書館のサービスについての意見などもあると思いますので、こうした点も含めて改善することで、社会教育施設の機能の充実につながると思います。</p>				

基本目標6 まちの魅力を高め、心を豊かにする文化芸術の振興と文化財の保護・継承				
施策項目33 文化芸術に親しむ環境の整備		担当課	文化施設課	
1 施策の概要				
市民ニーズを反映した「自主文化事業」の実施や広域的な連携による文化芸術の鑑賞機会と情報提供の充実とともに、文化芸術施設の計画的な整備に努めます。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
自主文化事業の実施と子どもたちの文化芸術活動の充実	「市民文化センター自主文化事業」などの実施により、音楽、美術、メディア芸術、芸能などの鑑賞や創作活動の機会を提供するとともに、子どもたちの文化芸術活動に親しむ機会の充実に努めます。	B		
広域的な連携による文化芸術鑑賞機会の充実	近隣の市町村や文化団体と連携して、市民の文化芸術の鑑賞や創作機会を充実するとともに、市の関係部局などと連携して、地域の優れた文化芸術活動の広域的な情報発信に努めます。	B		
文化芸術情報の充実	市内で実施される各種文化芸術イベントの情報を情報紙やホームページなどで提供し、市民の文化芸術活動への参加を促進します。	B		
文化芸術施設の機能充実	市民が良好な施設環境で文化芸術に親しむことができるよう、市民文化センターや市民ギャラリーの施設・設備の計画的な更新・改修に努めます。	B		
3 目標指標	現状値(R1)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R7年度調査結果 (R6年度実績)	R12目標値
市民文化センターの自主文化事業アンケートにおける満足度で「満足」と回答した人の割合	75.8%	88.9%(A)	74.0%(B)	86%以上
文化芸術情報媒体（市民文化センターだよりなど）で情報発信した文化芸術イベント数	274件	167件(C)	166件(C)	280件以上
市民文化センター利用者アンケートにおける総合的な感想で「よい」「ややよい」と回答した人の割合	64%	62.6%(B)	56.8%(C)	75%以上
4 総括				
令和6年度の実績及び今後の方針・課題（目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）				
<p>コンサートや演劇、寄席、各種教室、展示会の開催など様々な自主文化事業を実施したほか、文化センターだよりなどで各種イベントの周知を図った。</p> <p>施設・設備の老朽化が進んでいることから、日常的な清掃や点検、修繕などを実施し、利用環境の整備に努めた。</p> <p>良質な文化鑑賞機会を提供するため、音楽鑑賞、演劇鑑賞、各種展覧会、体験学習など、多様な事業を継続して実施するとともに、老朽化により不具合や修繕が増えていることから、今後も必要な修繕や設備の更新・改修等を行いより良い利用環境の整備に努めていく。</p>				
5 外部評価会議委員の意見				
<p>指標のうち、市民文化センター自主文化事業アンケートの「満足」度は、イベントや行事の内容によって変動が大きくなると思われる、その際の回答結果から少しでも意見やニーズに沿う事業を検討する取組がわかる記述があれば良いと感じた。</p> <p>総括欄では施設・設備を中心とした記載がされているが、指標で評価した事業やイベントの現状分析や今後の方針の言及があったほうが実態がわかってよい。</p> <p>◆参考・前年度意見： 文化芸術情報媒体で情報発信した文化芸術イベントの数は、イベント数が少なく情報発信が少なかったのか、イベント数は多かったが情報発信数が少なかったのかの違いがあると思いますが、現状としては、ホールや会議室で対外的に開催されるものを集計しているとのことなので、施策としてどこを重視するのかにもよりますが、情報提供の充実とありますので、掲載する媒体を増やすことで件数の上昇は図れるものと思われます。</p>				

基本目標 6 まちの魅力を高め、心を豊かにする文化芸術の振興と文化財の保護・継承						
施策項目 3 4 地域に根差した文化芸術活動への支援充実			担当課	生涯学習課		
1 施策の概要						
地域に根差した文化芸術活動を行う文化団体の活動を支援するとともに、関係団体と連携して地域の文化芸術活動を支える人材の育成に努めます。						
2 主な取組及び具体的な内容						
主な取組		具体的な内容		市教委評価	学校評価	
文化芸術活動団体のネットワーク化と活動成果を発表する機会の支援		文化団体の連携による活動成果の発表機会である「文化芸術祭」をはじめ、地域に根差した文化の創造や継承・発展に取り組む文化団体の活動を支援します。		B		
文化芸術活動を支える人材の育成と活動意欲を高める取組の実施		団体運営や文化芸術イベントの企画立案のスキルなどを身に付け、地域の文化芸術活動を継承・発展に寄与する人材の育成に取り組むとともに、活動への意欲を高めるため、地域文化の発展に寄与した方への表彰を実施します。		B		
3 目標指標			現状値(R1)	R6年度調査結果(R5年度実績)	R7年度調査結果(R6年度実績)	R12目標値
教育委員会の支援（補助・共催・後援）により実施された文化芸術事業の実施回数			57回	49回(B)	48回(B)	57回以上
文化芸術に関わる団体数（社会教育関係団体（文化芸術分野）と文化団体連絡協議会加盟団体の数）			70団体	183団体(A)	232団体(A)	185団体以上
4 総括						
令和6年度の実績及び今後の方針・課題（目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）						
<p>文化芸術に関わる団体数については、社会教育関係団体が163団体（前年度122団体（新規登録6団体、登録区分見直し35団体）、文化団体連絡協議会加盟団体が69団体（前年度61団体（新規加入11団体、脱退3団体））と、昨年度を大きく上回っている。</p> <p>文化芸術事業の実施回数については、後援事業が目標値に対し少ない結果であったため、目標値を下回る結果となった。教育委員会主催事業としても、フレンドリーコンサートの再開や、音楽をテーマとした市民教養セミナーを開催するなど、文化芸術事業に積極的に取り組んだ。</p> <p>今後は引き続き、千歳市文化団体連絡協議会の補助事業やその他文化芸術団体による事業について、後援等により支援を行うほか、フレンドリーコンサート等の教育委員会主催事業により、文化芸術に触れる機会を増やすとともに、それらに関わる人材・団体の情報収集を進め、ネットワーク形成に取り組んでいく。</p>						
5 外部評価会議委員の意見						
<p>団体数は区分の見直しを含めて増加している一方、個人の会員数は高齢化やコロナ禍などを背景に減少している傾向があるとのことだが、様々な分野の文化活動が活発に展開されるよう取組を継続してほしい。</p> <p>◆参考・前年度意見： 文化芸術に関わる団体数について、実際に活動している団体を探すのが困難であるため、社会教育関係団体や文化団体連絡協議会に加盟している団体数を計算していること、団体数に増減が発生している要因として、新規の加入や協議会に加盟するのを止めた場合があるということはわかりました。この増減の結果に対して、どういう見方（判断）をすれば良いのかがわかるようにすると良いと思います。</p>						

基本目標 6 まちの魅力を高め、心を豊かにする文化芸術の振興と文化財の保護・継承				
施策項目 3 5 文化財の保存と調査・研究及び継承の支援		担当課	埋蔵文化財センター	
1 施策の概要				
埋蔵文化財をはじめとする文化財の保存及び調査・研究を行うとともに、市指定無形文化財である「泉郷獅子舞」及び「アイヌの伝統的芸能と工芸技術」の保存伝承活動を支援します。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
埋蔵文化財保護のための事前協議	埋蔵文化財包蔵地の保護と開発事業などの調整を適切・円滑に行うため、「土木工事等のための発掘に関する届出」を提出する前に、事業者と事前に協議を行い、必要に応じて所在調査、試掘調査などを行います。	A		
発掘調査	事前協議の結果、埋蔵文化財が破壊される可能性がある場合は、発掘調査を行い、報告書を刊行します。	A		
遺跡のパトロール	文化財である遺跡の現況を把握し、適切に保存することを目的に、市内に所在する305か所（令和2年（2020年）3月時点）の遺跡について計画的にパトロールを行います。	A		
市指定無形文化財の保持団体への支援	市指定無形文化財である「泉郷獅子舞」及び「アイヌの伝統的芸能と工芸技術」の保存伝承活動を実施している団体に対して補助金を交付します。	A		
3 目標指標	現状値(R1)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R7年度調査結果 (R6年度実績)	R12目標値
発掘調査を行った場合に遺跡情報や出土資料を記録・保存し後世に伝える割合	100%	100%(A)	100%(A)	100%
遺跡パトロールの年間実施箇所数	5か所	21か所(A)	21か所(A)	20か所以上
市指定無形文化財の保持団体への補助金交付件数	2件	2件(A)	2件(A)	2件以上
4 総括				
令和6年度の実績及び今後の方針・課題（目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）				
<p>事前協議が提出された開発計画及び試掘調査については届出に沿って確実に対応し、埋蔵文化財の保護・記録につなげた。遺跡のパトロールは計画的に行い、目標の件数を達成した。遺跡の現状を把握するとともに、土地所有者への啓蒙につなげることができた。</p> <p>指定無形文化財保持団体への支援については、2つの団体を対象として、後世への継承につながる取り組みを支援したが、支援対象のうち1団体については新型コロナウイルスの影響から活動を縮小したため、補助額が大幅に減額となっている。</p> <p>各取組とも今年度と同様に文化財の調査・研究や、無形文化財の保存・伝承のための支援などを継続的に行うことで、文化財を確実に未来へ保存・継承していく。</p>				
5 外部評価会議委員の意見				
<p>指標の実績は、年度ごとに増減する要素がない感じがするが問題はないと思われる。</p> <p>遺跡のパトロールを年次計画に沿って展開されているものは、全体で300を超える遺跡があり、さらに増加しているなかで限られた期間で見まわっている実態や最新状況も総括されれば良いと考える。</p> <p>◆参考・前年度意見： 主な取組・目標指標の状況は良いと思います。パトロール結果についても問題がなかったということなので、引き続き、事業の継続をお願いしたいと思います。</p>				

基本目標 6 まちの魅力を高め、心を豊かにする文化芸術の振興と文化財の保護・継承				
施策項目 3 6 文化財の活用の推進		担当課	埋蔵文化財センター	
1 施策の概要				
千歳市にある埋蔵文化財をはじめとする様々な文化財を活用し、積極的な公開や様々な市民ニーズに合わせた事業展開、情報発信を行い、市民が文化財に触れる機会の充実に努めます。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
埋蔵文化財センター常設展示室の運営	市内の遺跡から発見された市指定有形文化財を含む出土文化財や関連資料及び国指定重要文化財「動物形土製品」、「土面」の複製品などを展示した常設展示室を運営します。	A	/	
企画展示の実施	遺跡や文化財をテーマとする企画展を開催します。	A		
体験学習会や講演会の実施	「縄文まつり」をはじめ、土器、石器、勾玉づくりなどの体験学習会や、埋蔵文化財に関するテーマの講演会を開催します。	A		
広報資料の作成	市民が埋蔵文化財に関心を持ち、身近に感じてもらうことを目標に、パンフレットや解説カードなどの広報資料を作成し、配布します。	A		
3 目標指標	現状値(R1)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R7年度調査結果 (R6年度実績)	R12目標値
埋蔵文化財センター展示室の見学者数	1,667人	3,248人(A)	3,880人(A)	1,650人以上
体験学習会への参加者数	465人	496人(B)	592人(A)	500人以上
講演会への参加者数	71人	289人(A)	228人(A)	100人以上
4 総括				
令和6年度の実績及び今後の方針・課題（目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）				
<p>埋蔵文化財センターの展示室の見学者数は更に増加した。試行で休日開館を実施しているが、夏季休暇期間は251人(昨年度より69人増)及び毎月第2日曜日は231人(昨年度より100人増)となっており、いずれも昨年度より増加している。</p> <p>また、体験学習会への参加人数も昨年度より増加しており、その多様なプログラムは参加者からも好評である。</p> <p>講演会の参加人数については昨年度と比較して減少したものの、目標値を大幅に上回る状態は継続している。</p> <p>各取組とも目標値を大幅に上回る達成度を実現しており、この結果はキウス周堤墓群をはじめとする市内遺跡、埋蔵文化財の周知につながるものと評価できる。</p> <p>今後も魅力あるイベントを企画し、見学者・参加者の増加につながる普及活動を継続していく。</p>				
5 外部評価会議委員の意見				
<p>休日開館のほか、ホームページやSNSなどによるPR活動で見学者数は大きく上昇しており評価できる。</p> <p>キウス周堤墓群の見学者との相乗効果もあるが、令和7年度に6年ぶりに実施した重要文化財「動物形土製品（愛称・ビビちゃん）」の実物展示では約1,000人が来場しているようであり、次年度の点検評価を期待している。</p> <p>◆参考・前年度意見： 埋蔵文化財センターの見学者数が伸びていることについて、来館者の内訳としては、60歳代から70歳代が多く、夏季休業期間中は、子どもの来館が多かったこと、休日開館を行ったことによって増加したということで、良い結果につながっていると思います。見学者が増加した場合、その理由として、どのくらい休日開館で増加したのかの記載があると良いと思います。</p>				

基本目標 6 まちの魅力を高め、心を豊かにする文化芸術の振興と文化財の保護・継承				
施策項目 3 7 世界文化遺産登録と資産保護の取組			担当課	埋蔵文化財センター・主幹（国指定史跡担当）
1 施策の概要				
縄文遺跡群世界遺産登録推進本部・同推進会議の構成員として、登録審査に対応した取組を推進し、世界遺産としてユネスコが認める保護水準を維持した資産保護の取組を進めます。また、キウス周堤墓群が持つ普遍的価値を次世代に向けて確実に継承していくため、資産の適切な公開・活用を推進します。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
世界遺産登録に向けた取組の実施	「北海道・北東北の縄文遺跡群」に関係する4道県及び市町で組織する縄文遺跡群世界遺産登録推進本部に参画し、世界文化遺産登録に向けた取組を推進します。	A	/	
包括的保存管理計画に基づく資産の経過観察（モニタリング）	資産の保存状況を計測するため、包括的保存管理計画に定められたモニタリング指標に基づき、定期的かつ体系的に経過観察を実施します。	A		
遺産影響評価の実施	関係行政機関の相互連携の下、構成資産及びその周辺で行われる開発行為を早期に把握し、縄文遺跡群の顕著な普遍的価値に与える影響について、適切かつ円滑に調査、予測、評価し、必要な保全措置を講じることにより、資産の保全に努めます。	A		
市民団体等との連携・協働による公開・活用の取組の実施	地域住民や市民団体と市の協働により、北海道・北東北の縄文遺跡群の価値を分かりやすく伝えるため、市民ガイドの育成等の取組を推進します。	A		
3 目標指標	現状値(R1)	R6年度調査結果(R5年度実績)	R7年度調査結果(R6年度実績)	R12目標値
資産及び緩衝地帯のパトロール（遺構の状況について観察、写真撮影などにより記録する）回数	—	8回(A)	8回(A)	8回以上
構成資産及びその周辺で行われる開発行為などの事前把握	100%	100%(A)	100%(A)	100%
4 総括				
令和6年度の実績及び今後の方針・課題（目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）				
<p>資産周辺のパトロールや、開発などの情報収集を定期的・継続的に行った。</p> <p>これによって、資産や周辺環境に異変が生じる恐れがないかを事前に把握することで、保存管理を図ることができた。</p> <p>また、講演会や「キウス周堤墓群を守り活かす会」によるボランティアガイドを通じて、市内外からの見学者に資産の価値を伝えることができた。</p> <p>世界文化遺産への登録については既に実現しているため、今後は世界遺産としての価値を保持できるように、保全のための各種取り組みを実践するとともに、その価値を広く伝えるための啓発活動を継続していく。</p> <p>また、令和7年4月25日に史跡キウス周堤墓群ガイダンスセンターがオープンしたことに伴い、史跡の価値や魅力などを見学者に実感していただくとともに、体験型のイベントや史跡見学会を開催するなど、今後も一層の周知に努め、利用の促進を図っていく。</p> <p>更に、キウス周堤墓群の整備については、令和7年度に残りの外構工事(残りの園路及び駐車場)に着手する。</p>				
5 外部評価会議委員の意見				
<p>世界遺産を守るため、開発行為に関しては庁内関係機関と連携して事前把握されており、指標の実績は問題ないと思われる。令和7年度にオープンしたガイダンスセンター施設も順調と聞いており次回の点検評価を期待する。</p> <p>◆参考・前年度意見： 開発行為の事前把握も出来ているということで、指標の状況については、問題ないと思います。ガイダンス施設が完成することで、来場者数などの指標が追加されるかもしれませんが、多くの方に来てもらえることを期待します。</p>				

基本目標7 誰もがスポーツに親しめる生涯スポーツの推進					
施策項目38 スポーツ活動の啓発と参加促進			担当課	スポーツ振興課	
1 施策の概要					
スポーツ活動への参加を促進するため、スポーツに関する普及啓発と情報提供を行うとともに、スポーツ振興に係る功労者やスポーツ大会での成績優秀者の表彰を実施します。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容		市教委評価	学校評価	
スポーツ活動に関する情報提供	広報ちとせ、千歳市や（公財）千歳市スポーツ協会のホームページ、地域情報紙などを活用してスポーツ活動に関する啓発や情報提供を行うことで、市民のスポーツ活動への参加を促進します。		B		
千歳市スポーツ表彰制度	千歳市のスポーツ振興に寄与した個人・団体には「スポーツ賞」を、また、世界大会、全国大会などで優秀な成績を収めた個人・団体に「スポーツ奨励賞」を贈呈し、市民のスポーツ意識の高揚に努めます。		B		
3 目標指標		現状値(R1)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R7年度調査結果 (R6年度実績)	R12目標値
千歳市及び（公財）千歳市スポーツ協会が主催するスポーツ教室や行事などの定員に対する参加割合		93%	94.3%(A)	75.0%(B)	93%以上
千歳市スポーツ表彰被表彰者数		5人	2人(C)	3人(C)	4人以上
4 総括					
令和6年度の実績及び今後の方針・課題（目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）					
<p>現在、スポーツ活動に関する情報提供は広報紙やホームページの活用、千歳市スポーツ協会の加盟団体や指導者と連携して行っているが、千歳市スポーツ推進委員協議会、千歳市スポーツ指導員会主催事業の参加者数が減少しており参加割合の低下が認められることから、今後、種目や内容の変更等を含め検討を行う。また、幼稚園など各施設にポスターの掲示を依頼する等、参加割合の向上に努める。</p> <p>千歳市スポーツ表彰については、実績のない団体や推薦者数の少ない団体に対しても確実に周知を行うなど制度に対する理解を深め、幅広く表彰者の推薦が行われるよう取り組んでいく。</p>					
5 外部評価会議委員の意見					
<p>指標のうち、スポーツ教室や行事の定員に対する参加割合は、実施する種目によって認知度やハード面が違うため上下するのは理解できる。</p> <p>スポーツ表彰の被表彰者数は、努力して増やせる性格のものとは異なるが、活躍される選手が増えることを期待する。</p> <p>◆参考・前年度意見： スポーツ表彰の被表彰者数は、増やそうと思っても容易に増やすことができないものであることは理解していますので、制度の周知を進め、被表彰者数が増えることを期待しています。</p>					

基本目標7 誰もがスポーツに親しめる生涯スポーツの推進				
施策項目39 スポーツに親しめる機会の充実		担当課	スポーツ振興課	
1 施策の概要				
スポーツイベントやスポーツ教室などを通して、競技スポーツのほか、年齢や体力に応じて誰もがスポーツに親しめる機会の充実に努めます。また、既存のスポーツ施設の利用を促進するとともに、学校教育に配慮しながら、小中学校施設を幼児・児童の遊び場や地域開放の施設として活用します。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
各種スポーツイベントなどの開催	千歳ジュニアスポーツフェスティバル、秋の市民歩こう会、ホルメンコーレンマーチなどを開催し、スポーツに親しめる機会の充実に努めます。	B	/	
スポーツ教室の開催	スポーツ関係団体と連携して各種スポーツ教室を開催し、スポーツに親しめる機会の充実に努めます。	B		
千歳学出前講座（市役所スポーツ編）の実施	カローリング、キンボールなどのニュースポーツを千歳学出前講座で実施することにより、年齢と体力に応じて誰もがスポーツに親しめる機会の充実に努めます。	B		
学校施設開放の実施	学校教育に配慮しながら、小中学校施設を幼児・児童の遊び場や地域開放の施設として活用し、生涯スポーツ活動の推進に努めます。	A		
3 目標指標	現状値(R1)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R7年度調査結果 (R6年度実績)	R12目標値
千歳学出前講座（市役所スポーツ編）の実施回数	40回	38回(B)	37回(B)	40回以上
屋内外スポーツ施設及び学校施設開放利用者	751,952人	709,000人(B)	737,158人(B)	800,000人以上
学校施設開放のスポーツ利用回数	6,821回	5,317回(C)	5,769回(C)	7,500回以上
4 総括				
令和6年度の実績及び今後の方針・課題（目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）				
<p>現状として、学校開放の利用回数は着実に増加しておりスポーツ活動の利用の場を市民に提供できている。</p> <p>令和6年度の屋内外スポーツ施設の利用者数は610,863人、学校施設開放利用者数は126,295人となり、前年度に比べ増加している。</p> <p>また、出前講座の実績は目標値に近い数値を残しており市民に生涯スポーツ活動を推進することが出来ている。</p> <p>今後も各事業の取組を行い、スポーツ事業等の参加者や出前講座の実施回数、施設等の利用者の増加や維持に取り組んでいく。</p>				
5 外部評価会議委員の意見				
<p>指標の数値は順調であり、出前講座のなかでスポーツ種目の要望に柔軟に対応している点も評価できる。</p> <p>◆参考・前年度意見： 目標指標の2「屋内外スポーツ施設及び学校施設開放利用者数」の中に、目標指標の3「学校施設開放のスポーツ利用回数」の中で利用した人の総数が含まれていると思われませんが、目標指標の2について、内訳を示していただけると、指標の状況がわかりやすくなると思います。</p>				

基本目標7 誰もがスポーツに親しめる生涯スポーツの推進				
施策項目40 スポーツ活動を支える指導者の充実と団体の育成			担当課	スポーツ振興課
1 施策の概要				
将来のスポーツ活動を支える指導者の充実と団体の育成のため、スポーツ指導者の配置を行うとともに、公益財団法人千歳市スポーツ協会を通じてスポーツ関係団体への助成などを行います。				
2 主な取組及び具体的な内容				
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価	
スポーツ指導者の配置	スポーツイベントやスポーツ教室、スポーツセンターや総合武道館にスポーツ指導者の配置を行うことで、スポーツ活動を支援します。	A		
スポーツ関係団体への支援	(公財)千歳市スポーツ協会を通じてスポーツ関係団体へ助成などを行うことで、多様化するスポーツ活動を支える指導者の充実と団体の育成を促進します。	B		
3 目標指標	現状値(R1)	R6年度調査結果(R5年度実績)	R7年度調査結果(R6年度実績)	R12目標値
千歳市及び(公財)千歳市スポーツ協会が主催するスポーツ教室や行事におけるスポーツ指導者の支援人数(委託先指導者を含む)	1,130人	1,347人(A)	1,458人(A)	1,250人以上
(公財)千歳市スポーツ協会に登録しているスポーツ少年団指導者(各少年団認定員)の数	163人	147人(B)	115人(C)	165人以上
4 総括				
令和6年度の実績及び今後の方針・課題(目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。)				
<p>現状としてスポーツ指導者の配置は、千歳JAL国際マラソンなどの大規模なイベントやスポーツ行事への支援により目標値を達成することができた。</p> <p>スポーツ少年団指導者数は、少子化やコロナ化に伴う新規入団希望者数の減少等による少年団の廃止、指導者資格更新を断念された方や指導者の高齢化などにより減少することとなった。</p> <p>今後も各種スポーツ行事が継続的に開催されると考えられるので、支援人数の実績も一定数継続されるものとする。</p> <p>スポーツ少年団指導者数については、引き続き各団体への支援継続を行い、確保・育成に努めたい。</p>				
5 外部評価会議委員の意見				
<p>指標では、スポーツ指導者数がコロナ禍や高齢化などにより減少しているが、スタッフや支援する方々は増加傾向で少年団の団体数を維持している点は総括に加えて良いと考える。</p> <p>◆参考・前年度意見： スポーツ少年団指導者数は、大きく減少する要素はないと思いますが、減少することなく、目標値に近づくことを期待しています。</p>				

基本目標 7 誰もがスポーツに親しめる生涯スポーツの推進					
施策項目 4 1 スポーツ施設の機能充実と利便性向上		担当課	スポーツ振興課		
1 施策の概要					
既存のスポーツ施設を、誰もが安全・安心に利用できるよう、スポーツニーズに沿った計画的な整備改修、効率的な施設運営を行い、機能充実と利便性の向上に努めます。					
2 主な取組及び具体的な内容					
主な取組	具体的な内容	市教委評価	学校評価		
スポーツ施設の整備改修の実施	スポーツ施設を誰もが安全・安心に利用できるよう、スポーツニーズに沿って計画的に整備改修を推進します。	B	/		
スポーツ施設の備品整備の実施	利便性、安全性を向上するとともに、スポーツニーズの多様化、高度化に対応した備品整備を推進します。	B			
スポーツ施設運営	スポーツ施設利用者の利便性向上のため、利用者ニーズにあった効率的な施設運営に努めます。	B			
3 目標指標		現状値(R1)	R6年度調査結果 (R5年度実績)	R7年度調査結果 (R6年度実績)	R12目標値
施設利用者アンケートにおける「施設」に関する改善意見件数		52件	48件(B)	62件(C)	45件以下
施設利用者アンケートにおける「施設」に関する質問で、「とてもよい」「よい」「ふつう」と回答した人の割合		87%	90.0%(A)	93.8%(A)	90%以上
4 総括					
令和6年度の実績及び今後の方針・課題（目標指標の達成度を参考に、施策の現状について分析し、今後の方針や課題を記載する。）					
<p>現状として経年劣化で破損する施設が多い中、利便性や安全性を考慮して優先度を整理し計画的に各施設の修繕を行った。また、施設管理についても、利用者のニーズを把握しつつ、利用者がスポーツを楽しめる環境づくりを行った。今後も修繕が必要となる施設は多いことから、必要性を整理しつつ、計画的に修繕を行っていく。</p> <p>また、利用者アンケートでは、「とてもよい」が16.7%、「よい」が55.5%、「ふつう」が21.6%となっており、これらを参考にし、より良い環境づくりに励む。</p>					
5 外部評価会議委員の意見					
<p>指標のうち、利用者アンケートの評価では満足している方が多い一方、改善意見の件数が増加しているのは、機械設備など施設の安全性を重視した修繕を実施しているのに対し、特定の施設の利便性に関する意見が多い傾向があるという実態をわかりやすく総括すると良いと考える。</p> <p>◆参考・前年度意見： 目標指標の2「施設利用者アンケートにおける「施設」に関する質問で、「とてもよい」「よい」「ふつう」と回答した人の割合」の内訳がわかると思います。改善意見に対し、こういう改修を行ったという実績が記載されていると、改善意見に対して対応を行っているということがこの評価書の中でわかるようになるので、記載してほしいと思います。</p>					

## 資料

教育委員会は、教育に関する事務を行うことを目的とした行政機関で、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（第2条）に基づき設置しています。

この法律において、教育長及び教育委員、並びに教育委員会会議、事務局、教育委員会及び地方公共団体の長の職務権限など基本的な事項が規定されています。

なお、教育委員会会議やその他運営については、同法の規定によるほか、「千歳市教育委員会会議規則」「千歳市教育委員会事務委任等規則」に基づいて行われています。

### 1 教育委員会会議の開催概要

開催日	議事等	
令和6年第5回 (令和6年4月24日)	議案第1号	令和6年度学校運営協議会委員の委嘱について
	議案第2号	千歳市学校給食センター運営審議会委員の委嘱等について
	報告第1号	千歳市学校給食費条例施行規則の制定について
令和6年第6回 (令和6年5月22日)	議案第1号	千歳市議会第2回定例会教育行政報告について
	議案第2号	令和6年度一般会計補正予算（教育費関係予算）について
	議案第3号	千歳市教育支援委員会委員の委嘱又は任命について
	議案第4号	千歳市いじめ問題専門委員会委員の委嘱について
	議案第5号	千歳市社会教育委員の委嘱について
	報告第1号	令和5年度公益財団法人千歳青少年教育財団の経営状況を説明する書類の提出について
	報告第2号	令和5年度いじめの把握のためのアンケート調査（道調査第2回）及び千歳市いじめアンケート調査（市調査第2回）の結果について
令和6年第7回 (令和6年6月26日)	議案第1号	千歳市奨学生選考委員会委員の委嘱又は任命について
	議案第2号	令和6年度学校運営協議会委員の委嘱について
	議案第3号	千歳市文化財保護審議会委員の委嘱について
	議案第4号	千歳市立学校管理規則の一部を改正する規則の制定について
	報告第1号	第30回千歳市・指宿市青少年相互交流事業について
令和6年第8回 (令和6年7月18日)	議案第1号	千歳市奨学生の選考及び奨学金額の決定について
	報告第1号	令和5年度指定管理者モニタリング結果について
	報告第2号	令和6年度千歳市標準学力検査・知能検査の分析について
令和6年第9回 (令和6年8月21日)	議案第1号	令和7年度に使用する小学校用及び中学校用教科用図書等の採択について
	議案第2号	令和6年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載に係る同意について
	議案第3号	千歳市史跡キウス周堤墓群ガイダンスセンター条例の制定について
	議案第4号	令和6年度一般会計補正予算（教育費関係予算）について
	報告第1号	千歳市新学校給食センター整備基本計画（案）について
	報告第2号	令和6年度ハイパーQ U検査（1回目）の結果について

開催日	議事等	
令和6年第10回 (令和6年9月10日)	議案第1号	千歳市議会第3回定例会教育行政報告について
	議案第2号	令和6年度全国学力・学習状況調査結果の公表について
令和6年第11回 (令和6年9月20日)	議案第1号	教育委員会職員の任免について
令和6年第12回 (令和6年10月24日)	議案第1号	教育委員会職員の任免について
令和6年第13回 (令和6年10月29日)	議案第1号	千歳市学校給食センター運営審議会委員の委嘱又は任命について
	議案第2号	千歳市立学校における働き方改革推進計画(第3期)の策定について
	報告第1号	令和7年度千歳市教育予算要望について
	報告第2号	令和6年度教育委員会の事務に関する点検・評価報告書について
	報告第3号	令和6年度千歳市民文化表彰受賞者について
令和6年第14回 (令和6年11月21日)	議案第1号	千歳市議会第4回定例会教育行政報告について
	議案第2号	令和6年度一般会計補正予算(教育費関係予算)について
	議案第3号	指定管理者の指定について
	議案第4号	指定管理者の指定について
	報告第1号	令和6年度第30回千歳市・指宿市青少年相互交流事業(受入)について
	報告第2号	千歳市新学校給食センター整備基本計画(案)について
	報告第3号	令和6年度新体力テストの実施方法改善に向けた実践事業(報告)について
令和6年第15回 (令和6年12月26日)	議案第1号	令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載に係る同意について
	報告第1号	令和6年度いじめの把握のためのアンケート調査(道調査第1回)及び千歳市いじめアンケート調査(市調査第1回)の結果について
	報告第2号	令和7年「千歳市はたちのつどい」の開催について
令和7年第1回 (令和7年1月27日)	議案第1号	千歳市史跡キウス周堤墓群ガイダンスセンター条例の施行期日を定める規則の制定について
	報告第1号	令和6年度ハイパーQ U検査(2回目)の結果について
令和7年第2回 (令和7年2月17日)	議案第1号	千歳市議会第1回定例会教育行政執行方針及び教育行政報告について
	議案第2号	令和6年度一般会計補正予算(教育費関係予算)について
	議案第3号	令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の公表方法等について
	議案第4号	令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の公表について
	報告第1号	令和7年度公益財団法人千歳青少年教育財団事業計画及び予算について

開催日	議事等	
令和7年第3回 (令和7年2月20日)	議案第1号	教職員の異動内申について
令和7年第4回 (令和7年2月28日)	議案第1号	教職員の異動内申について
令和7年第5回 (令和7年3月25日)	議案第1号	教育委員会職員の任免について
	議案第2号	千歳市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について
	議案第3号	千歳市教育委員会会計年度任用職員の号俸を定める規則の一部を改正する規則の制定について
	議案第4号	千歳市立学校管理規則の一部を改正する規則の制定について

## 2 教育行政執行方針

### 【はじめに】

令和6年第1回定例市議会の開会にあたり、令和6年度の教育行政執行方針を申し上げます。

人口減少・少子高齢化の進行や産業構造の変化、ICTやグローバル化の進展など、社会を取り巻く環境は大きく変化しており、学校教育の推進にあたっては、学校・家庭・地域が一体となり、子どもたちが予測困難な将来において、たくましく生きていくために必要となる「資質・能力」の育成を一層推進する必要があります。

また、生涯学習の充実にあたっては、市民一人ひとりが生涯にわたり、あらゆる機会に、あらゆる場所で学習することができ、学びを通して、まちづくりで活躍する人材を育む「生涯学習社会の構築」を進めていく必要があります。

これらの状況を踏まえ、子どもたちが生き生きと学び成長し、市民一人ひとりが生涯にわたって学習し、その成果を地域で生かし、ふるさと千歳の未来につなげることができるよう、「千歳市教育振興基本計画」に基づき、教育活動のさらなる充実に取り組んでまいります。

### 【教育重点施策】

ここで、令和6年度の教育重点施策について申し上げます。

第1に、『確かな学力の向上』であります。

学力向上には、基礎的な「知識及び技能」、それらを活用して課題を解決するための「思考力、判断力、表現力」、さらには「主体的に学習に取り組む姿勢や人間性」といった資質・能力が必要とされております。

これらの資質・能力は、児童生徒一人ひとりが自身の考えを他者に説明したり、互いの意見を交換したりする「探究型・対話型」の授業の推進により、確実に育成・定着されるものであり、各小中学校においては、千歳市学力向上検討委員会の提言などを踏まえ、教職員研修や学習者用コンピュータ等のICT機器の活用を一層充実させるなど、授業改革を徹底してまいります。

第2に、『教育環境の整備』であります。

学校における安全・安心な教育環境を確保するため、校舎・講堂の計画的な改修に取り組むとともに、厳しい暑さの中で、児童生徒や教職員が熱中症等により体調を崩すことなく、集中して学習や勤務ができる環境を確保するため、小学校については令和7年の夏までに、中学校については令和8年の夏までに、普通教室等にエアコンを整備してまいります。

また、それまでの間の段階的な暑さ対策として、令和6年の夏までに、普通教室等にスポットクーラーを設置するほか、クーリングシェルター機能として、各校が指定する特別教室などにエアコンを整備してまいります。

第3に、『部活動地域移行の推進』であります。

将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に親しむことができる環境の整備や、部活動指導の負担軽減による教員の働き方改革に向け、引き続き、「千歳市部活動地域移行推進協議会」において検討を進めるとともに、地域移行に向けた段階的な取組として、教員の部活動指導を補完する「部活動指導員」の中学校への配置や指導者の人材発掘、育成に努めてまいります。

第4に、『生涯学習の推進』であります。

市民が活躍する生涯学習によるまちづくりを推進するため、各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実に努めてまいります。

また、まちの魅力を高め、心を豊かにする文化芸術の振興と文化財の保護・継承を進めてまいります。

### 【主な施策】

次に、「千歳市教育振興基本計画」の基本理念を実現するための6つの基本目標について、主な施策を申し上げます。

第1は、『社会で生きる力を育む教育の推進』であります。

「学年・学級経営」については、教員との信頼関係や学級内のより良い人間関係が、児童生徒を育成するための基盤であることから、ハイパーQU検査による客観的な分析を活用し、教職員による日常観察では把握しきれない児童生徒1人ひとりの状況や学級集団としての傾向を確認することで、個別支援や教育相談を充実させるなど、引き続き、互いに認め合い、高め合う親和的な学級づくりを進めてまいります。

「確かな学力の育成」については、「探究型・対話型」授業の推進のほか、基礎・基本の定着を図る「習得型・反復型」の授業として、学習支援員等による算数・数学科の習熟度別少人数指導を一層推進するとともに、電子黒板、デジタル教科書、AI搭載型デジタルドリルなどのICT機器を授業や家庭学習において有効活用し、個別学習や協働学習の充実に努めてまいります。

「特別支援教育」については、「千歳市の特別支援教育の推進に係る基本方針」に基づき、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導や支援を受けることができるよう、引き続き、研修などの実施により、教員の指導力向上に取り組むとともに、対象となる児童生徒の増加に応じて、児童生徒ヘルパーや特別支援教育支援員の増員を行うなど、特別支援教育の充実に努めてまいります。

「外国語教育」については、引き続き、デジタル教科書や外国人英語指導助手（ALT）の活用などにより、児童生徒の英語力の向上を図るとともに、小学校で一部導入されている英語専科教員による授業実践の成果を各校と共有することで、小学校教員の指導力向上や、中学校との英語教育の円滑な接続に取り組んでまいります。

第2は、『豊かな心と健やかな体を育む教育の推進』であります。

「いじめ・不登校」については、いじめは絶対に許されるものではなく、どの学校でも起こりうるものであるという確固たる認識のもと、いじめの未然防止、早期発見・迅速な対応に努め、その根絶に向けて学校・家庭・地域等と連携し、児童生徒一人ひとりの状況に応じた個別の相談や支援などに取り組んでまいります。

また、SNSの不適切な利用により、いじめや犯罪などのネットトラブルへと発展しないよう、インターネットの安全な使い方や、家庭でのルールづくりなどに関する指導・啓発の取組を継続してまいります。

不登校の児童生徒への対応については、不登校の未然防止や、教室には登校することができない児童生徒の学習保障などを図るため、「校内教育支援センター」の実証事業に着手し、別室登校の児童生徒を対象に、支援員による学習指導と教育相談を行ってまいります。

また、スクールソーシャルワーカーを増員し、児童生徒・保護者の悩み、不安等の情報を教員やスクールカウンセラーと共有するなど、児童生徒の学校復帰や学びの継続に向けた、組織的な支援を行ってまいります。

「ふるさと教育」については、小学校社会科副読本「私たちの千歳」を改訂し充実するほか、本市や北海道の歴史、文化、産業について、理解を深める学びや体験学習を推進するなど、郷土に対する愛着や誇りを育む機会の充実を図ってまいります。

「読書活動」については、「第3次千歳市子どもの読書活動推進計画」に基づき、子どもたちの読書活動の充実を図るほか、学校図書館司書については、計画的に配置日数を増やすなど、読書相談や調べ学習でのアドバイスをはじめとする学校図書館機能のさらなる充実を図ってまいります。

「体力・運動能力」については、新体力テストの結果などを踏まえ、効果的な体育活動を普及啓発するなど、児童生徒の健やかな身体の育成に努めてまいります。

「食育」については、食に対する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせるため、栄養教諭を中心とした食に関する指導を推進し、食育の充実を図ってまいります。

学校給食については、児童生徒が必要とするエネルギー量や栄養バランスが確保された給食

を安定的に提供するため、急激な物価高騰に対する市の負担を継続しながら、学校給食費を改定いたします。

また、学校給食費の取り扱いについては、保護者の利便性向上や教員の業務負担軽減のため、令和6年度から公会計へ移行いたします。

新学校給食センターの整備については、より安全で安心な学校給食の提供に向け、民間事業者からのサウンディング調査結果も参考とし、建設候補地や配送計画、各室の配置や調理機器のレイアウトなどをより具体的に取りまとめた「千歳市新学校給食センター整備基本計画」を策定してまいります。

第3は、『学びを支え、つなぐ教育環境の充実』であります。

「学校運営」については、学校組織マネジメントの充実による学校経営方針の着実な実施に向け、教育委員会の学校教育主事による学校訪問回数を増加し、学校改善プランの確実な実行や授業改革の推進、不登校などの課題に対し、組織的に対応するための指導・助言を行うほか、教職員の働き方改革を進めるため、引き続き、業務の平準化やICTを活用した業務の効率化などに取り組んでまいります。

「学びのセーフティネットの構築」については、経済的理由で教育の機会が失われることのないよう、引き続き、就学援助制度の周知を行うなど、必要な支援に努めてまいります。

また、給付型奨学金については、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して拡大した交付人数枠を維持し、修学・進学への意欲・能力がある学生生徒への支援を継続してまいります。

「家庭教育支援」については、児童生徒の生活習慣がスマートフォンやSNSの普及により変化していることなどを鑑み、平成26年度に策定した「家庭生活宣言」を改訂し、千歳市PTA連合会との連携による家庭への普及啓発等を通じ、児童生徒の規則正しい生活習慣や学習習慣、社会生活ルールやマナーの習得を目指してまいります。

「学校と地域の連携・協働」については、「学校運営協議会（コミュニティスクール）」において、保護者や地域住民が、学校と教育目標やビジョンを共有し、学校運営の改善を図るとともに、「地域学校協働活動」において、水泳、スケート、スキー等の授業を地域人材が支援するなど、地域と連携・協働した学校運営の推進に努めてまいります。

また、児童生徒を犯罪や事故から守り、登下校等の安全を確保するため、「千歳っ子見守り隊」の取組を推進するなど、子どもたちの安全確保に努めてまいります。

「学校段階等間の連携・交流」については、各学校段階を円滑に接続するため、子ども園等と小学校では、子どもの成長に関する情報共有や交流の機会を設けるなどの連携を図るとともに、小中学校においては、中学校区単位で目指す子ども像を共有し、現状における課題と、それに応じた学び方やICTの活用、学習習慣の改善などの方策について協議を行うなど、小中連携・一貫教育を進めてまいります。

第4は、『市民が活躍する生涯学習によるまちづくりの推進』であります。

「多様な主体の連携による学び合いと交流の場」については、「千歳学出前講座」の仕事編などの登録講座を拡充し、学習機会の充実を図るほか、生涯学習まちづくりフェスティバル「ふるさとポケット」を開催し、市民活動団体の活動成果の発表や交流の場を提供してまいります。

「市民活動交流センター」については、「市民活動講座」や「ミナクールサロン」の開催など、利用者のニーズにあわせて、市民活動の活性化を図ってまいります。

「地域と学校の連携による地域の教育力を高める活動」については、地域学校協働活動の取組を推進するため、協働活動コーディネーターを計画的に増員し、地域と学校の連携を深め、子どもたちの豊かな学びや健やかな成長を支える環境づくりに努めてまいります。

第5は、『各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実』であります。

「青少年の自立と成長を育む学び」については、公益財団法人千歳青少年教育財団と連携し、自然体験教室や宿泊学習など各種教育事業を実施するほか、引き続き、指宿市との青少年相互交流事業を実施してまいります。

「成人期や高齢期を誰もが豊かに過ごす学び」については、「市民教養セミナー」を開催するほか、高齢者の学習機会として、「千歳高星大学」や「千歳高星大学大学院」、「若返り学園」を実施してまいります。

「読書環境の充実」については、市立図書館の図書資料の充実に努めるほか、引き続き、移動図書館車「ブックくん」の運行、インターネットなどを活用した図書の貸し出し予約など、利用者の利便性向上に取り組むとともに、幅広い世代が読書に親しめるよう、おはなし会や図書館まつりなどのイベントの開催、ブックスタートの取組などを継続してまいります。

第6は、『まちの魅力を高め、心を豊かにする文化芸術の振興と文化財の保護・継承』であります。

「文化芸術に親しむ環境の整備」については、北ガス文化ホールにおける音楽・演劇などの公演や、市民ギャラリーにおける絵画・写真等の作品展など、市民ニーズを反映した魅力ある事業を実施するとともに、開館から40周年を迎える北ガス文化ホールにおいて、記念事業を実施してまいります。

「文化財の保存と調査・研究及び継承」については、開発行為に伴う調査業務の適切な実施など、引き続き、遺跡の保護に努めるとともに、市指定無形文化財である「アイヌの伝統的芸能と工芸技術」や「泉郷獅子舞」の保存・伝承活動を支援してまいります。

「文化財の活用」については、キウス周堤墓群来訪者や市民の利便性向上を図るため、昨年引き続き、埋蔵文化財センターの休日開館を試行的に実施するほか、「縄文まつり」や「史跡見学会」、「市内の遺跡等に関する企画展」などを開催し、身近に文化財に触れることができる機会の充実に努めてまいります。

「世界文化遺産登録と資産保護の取組」については、キウス周堤墓群のガイダンス施設や展示設備、園路の工事に着手し、令和7年4月のオープンに向け、着実に整備を進めてまいります。

**【むすび】**

以上、令和6年度の教育行政執行にあたっての重点施策と主な施策について申し上げます。

今後も、未来を担う子どもたちや市民一人ひとりが、これまで以上に学ぶことの喜びを実感することができるよう、学校や家庭、地域、関係機関・団体などと連携を図り、市民の期待と信頼に応えることができる教育行政を推進してまいります。

市民並びに議員各位のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。



令和7年度

教育委員会の事務に関する点検・評価報告書

千歳市教育委員会

千歳市東雲町2丁目34番地

電話0123-24-3131（代表）